

---

第4期高砂市地域福祉計画  
策定に向けた  
アンケート調査・地区意見交換会  
結果報告書

---

令和4年3月  
高砂市



---

<b>I. 市民対象アンケート調査</b> .....	1
調査概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の方法.....	1
3. 回収の結果.....	1
4. 調査データについて.....	1
調査結果.....	2
1. あなたご自身とご家族のことについて.....	2
2. 近所づきあいやお住まいの地域について.....	5
3. 地域活動などについて.....	15
4. 日常生活での不安・困りごと、情報入手などについて.....	25
5. 地域福祉に関する意識、動向などについて.....	37
6. 災害時に向けた意識・行動などについて.....	44
7. 成年後見制度について.....	50
8. 地域福祉に関連する仕組み・機関などについて.....	55
9. 地域福祉の推進に向けて.....	66
<b>II. 民生委員対象アンケート調査</b> .....	70
調査概要.....	70
1. 調査の目的.....	70
2. 調査の方法.....	70
3. 回収の結果.....	70
4. 調査データについて.....	70
調査結果.....	71
1. あなたご自身のことについて.....	71
2. 活動状況や活動に対する意識について.....	75
3. 地域の状況について.....	79
4. 関係機関・団体等との連携状況、福祉事業者の社会貢献等について.....	87
5. 地域福祉に関連する取り組みなどについて.....	89
6. 活動に関する課題について.....	91
7. これからの活動について.....	92

<b>Ⅲ. 福祉施設・事業所対象アンケート調査</b> .....	<b>94</b>
調査概要 .....	94
1. 調査の目的 .....	94
2. 調査の方法 .....	94
3. 回収の結果 .....	94
4. 調査データについて .....	94
調査結果 .....	95
1. 貴事業所のことについて .....	95
2. 貴事業所と地域との関わり、地域の状況について .....	97
3. 貴事業所の取り組みなどについて .....	106
4. 今後の取り組みに向けて .....	107
<b>Ⅳ. 地区意見交換会</b> .....	<b>108</b>
地区意見交換会の概要 .....	108
1. 目的 .....	108
2. 参加者 .....	108
3. 開催内容 .....	108
4. 開催状況 .....	109
地区毎の意見整理 .....	110
高砂地区 .....	110
荒井地区 .....	111
伊保地区 .....	113
中筋地区 .....	114
曾根地区 .....	115
米田地区 .....	117
阿弥陀地区 .....	118
北浜地区 .....	119
市全体の意見整理 .....	120

# I. 市民対象アンケート調査

## 調査概要

### 1. 調査の目的

第4期高砂市地域福祉計画策定の資料として、市民の近所づきあいや地域活動等に関する現状、意識、ニーズなどを把握するため、「第4期高砂市地域福祉計画策定に関する市民意識調査」を実施しました。

### 2. 調査の方法

調査対象	高砂市在住の20歳以上の市民 1,000人（無作為抽出）
調査方法	■郵便にて配布・回収 ■市ホームページからの回答
調査期間	令和3年8月2日～8月31日

### 3. 回収の結果

配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
1,000件	464件	46.4%	454件	45.4%

### 4. 調査データについて

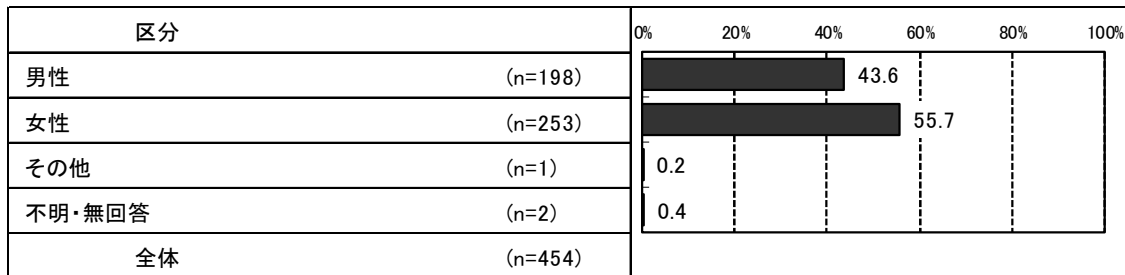
- 調査結果の項目に付加されている番号は関連する調査の設問番号です。
- 図表内に付加されている「n」は質問に対する回答者数です。
- 結果数値は少数点第2位を四捨五入してありますので、内訳の合計が100%にならないことがあります。
- 複数回答の場合、回答数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超えます。
- クロス集計の表内の「全体」には、性別不明、年齢不明、居住地区等、クロス項目が不明分も含まれます。
- クロス集計の表内の「合計」欄の単位は「件」、その他の項目は「%」となっています。
- クロス集計の表内の網掛けは、クロス項目（表側の項目）毎の上位3項目を示しており、数値が大きくなるに従って網掛けが濃くなります。

## 調査結果

### 1. あなたご自身とご家族のことについて

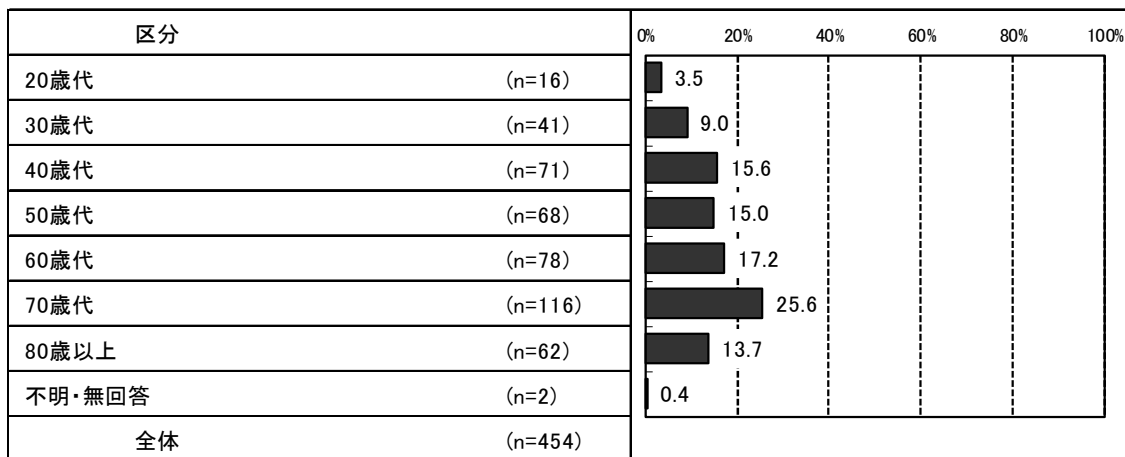
#### 1-1 あなたの性別は。【〇は1つだけ】

- 性別については、「女性」が55.7%で最も多く、「男性」(43.6%)、「その他」(0.2%)となっています。



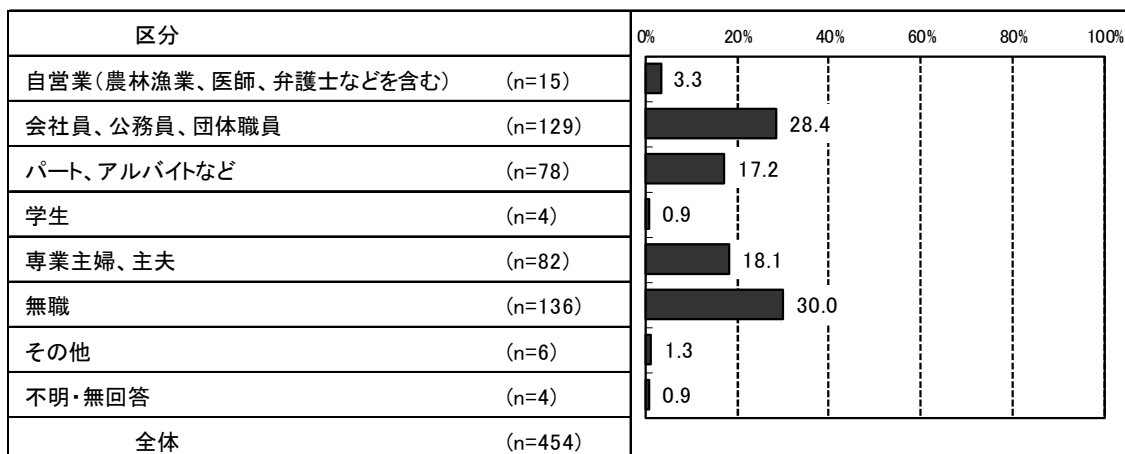
#### 1-2 あなたの年齢は。【〇は1つだけ】

- 年齢については、「70歳代」が25.6%で最も多く、「60歳代」(17.2%)、「40歳代」(15.6%)がつづいていきます。



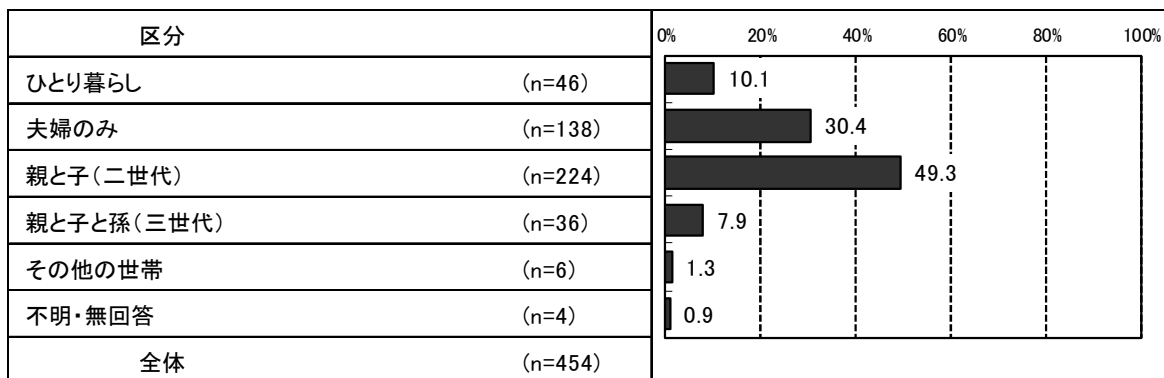
#### 1-3 あなたのご職業は。2つ以上のご職業をお持ちの場合は、収入が多い方をお答えください。【〇は1つだけ】

- 職業については、「無職」が30.0%で最も多く、「会社員、公務員、団体職員」(28.4%)、「専業主婦、主夫」(18.1%)がつづいています。



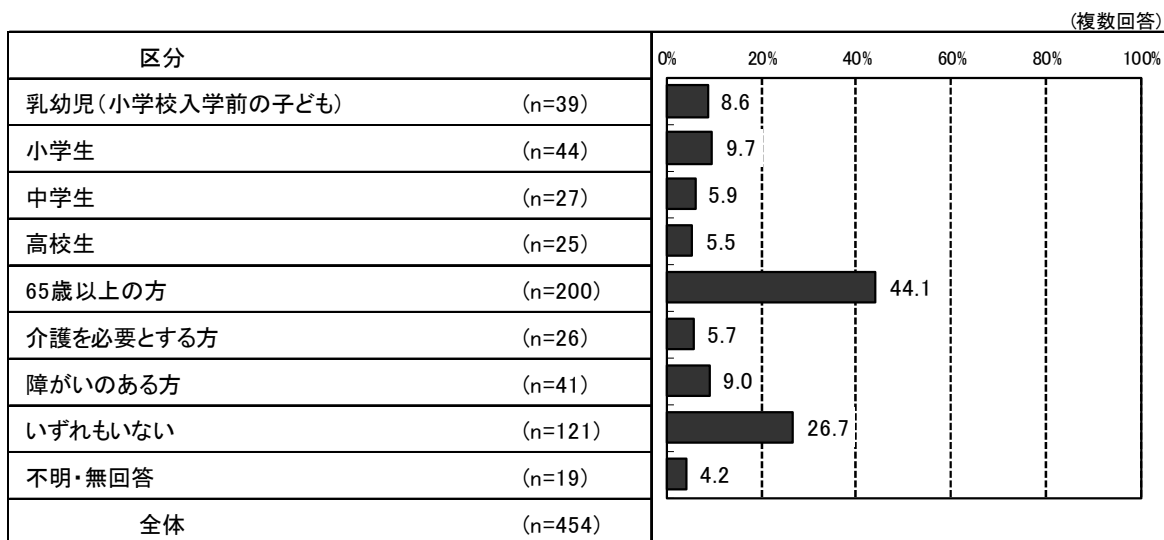
1-4 現在一緒に住んでいる家族構成は、次のうちどちらですか。【○は1つだけ】

- 家族構成については、「親と子（二世代）」が49.3%で最も多く、「夫婦のみ」（30.4%）、「ひとり暮らし」（10.1%）がつづいています。



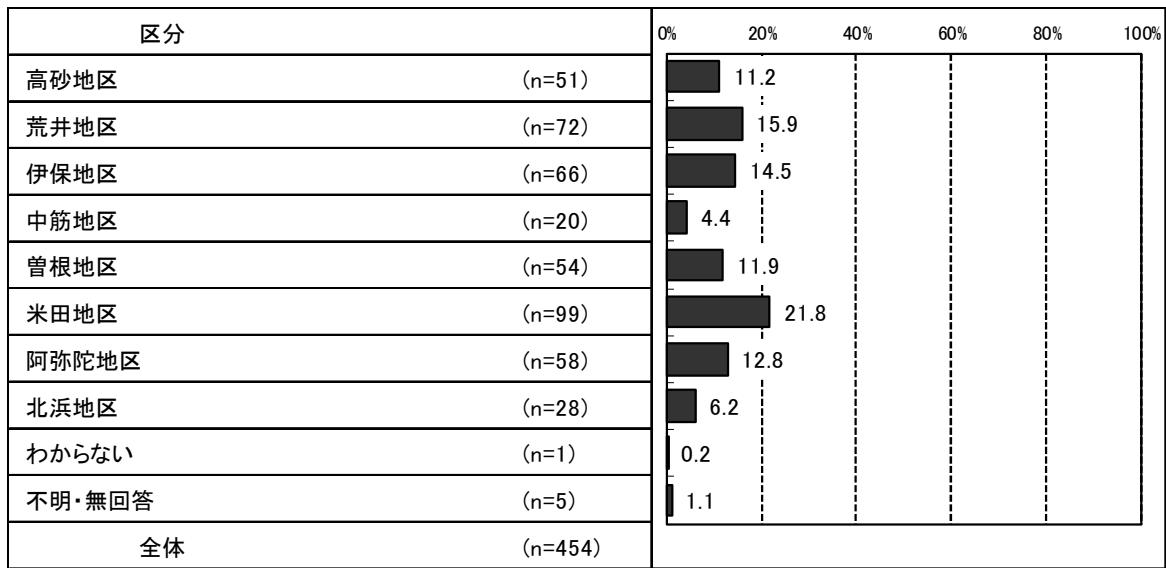
1-5 あなたが現在一緒に住んでいるご家族の中に、次のような方（あなた自身も含まます）はありますか。【あてはまるものすべてに○】

- 自身もしくは現在一緒に住んでいる人については、「65歳以上の方」が44.1%で最も多く、「いずれもない」（26.7%）、「小学生」（9.7%）がつづいています。



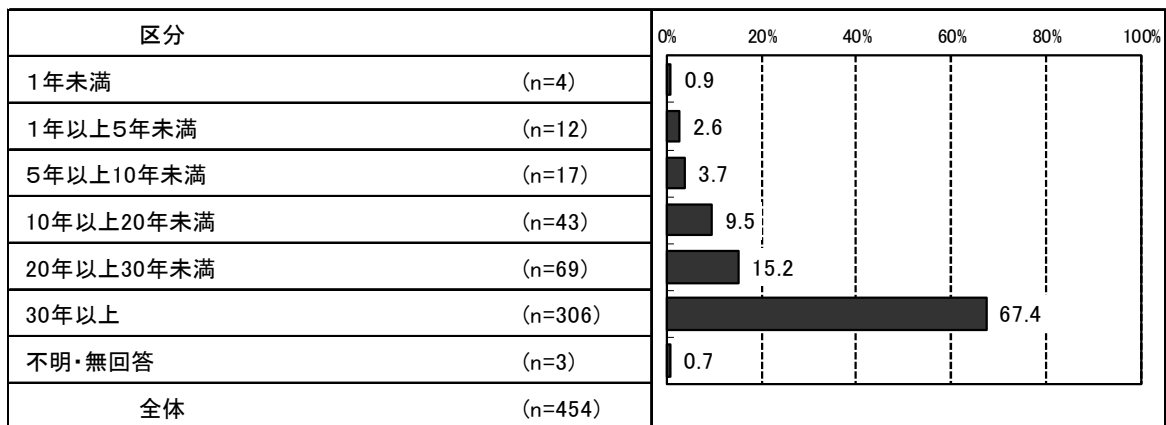
1-6 あなたのお住まいの地区はどこですか。【○は1つだけ】

■ 居住地区については、「米田地区」が21.8%で最も多く、「荒井地区」(15.9%)、「伊保地区」(14.5%)が  
つづいています。



1-7 あなたは、高砂市にお住まいになって何年（一旦離れて戻ってきた場合は、のべ年数）になりますか。【○は1つだけ】

■ 現在の居住地域での居住年数については、「30年以上」が67.4%で最も多く、「20年以上30年未満」  
(15.2%)、「10年以上20年未満」(9.5%)がつづいています。

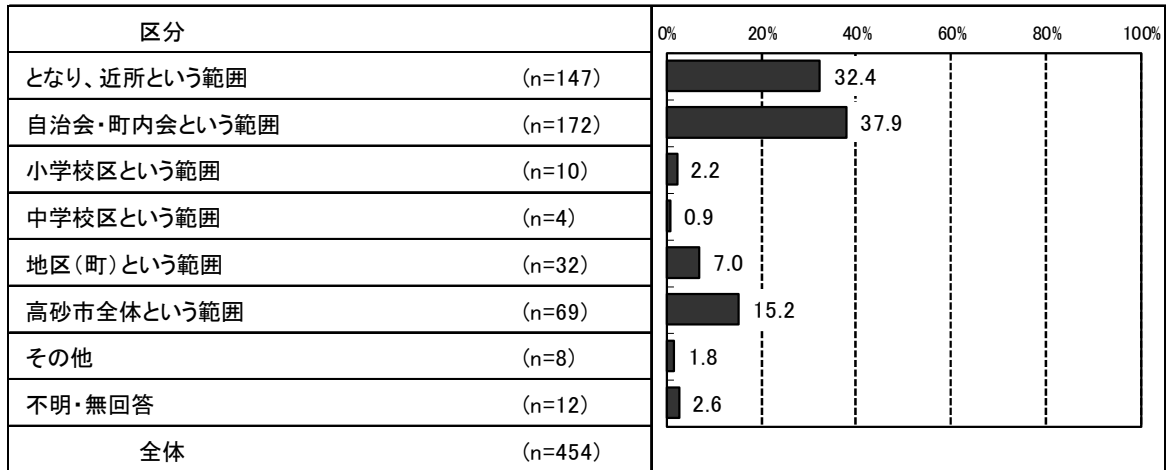




## 2. 近所づきあいやお住まいの地域について

### 2-1 あなたの考える「支えあい・助け合う地域」の範囲は。【○は1つだけ】

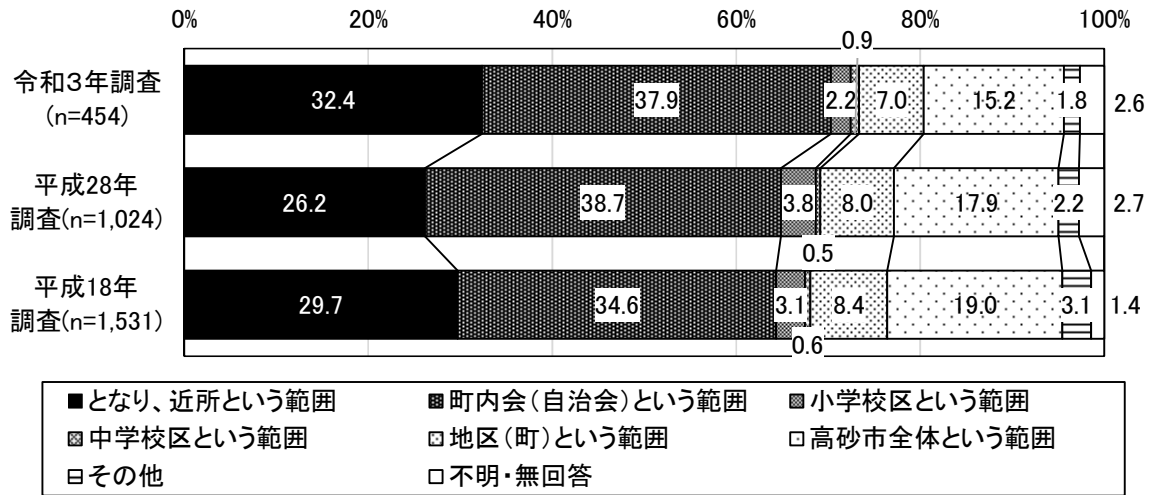
- 「支えあい・助け合う地域」の範囲については、「自治会・町内会という範囲」が37.9%で最も多く、「となり、近所という範囲」(32.4%)、「高砂市全体という範囲」(15.2%)がつづいており、身近な範囲(「となり、近所という範囲」+「自治会・町内会という範囲」)を「支えあい・助け合う地域」とする人は70.3%となっています。



		合計	となり、近所 という範囲	自治会・町内会 という範囲	小学校区 という範囲	中学校区 という範囲	地区(町) という範囲	高砂市全体 という範囲	その他	不明・無回答
単位：％ ※合計は「件」										
全体		454	32.4	37.9	2.2	0.9	7.0	15.2	1.8	2.6
性別	男性	198	33.3	41.4	1.5	0.0	6.6	14.6	2.0	0.5
	女性	253	32.0	35.2	2.8	1.6	7.5	15.8	1.6	3.6
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	43.8	12.5	6.3	6.3	12.5	12.5	6.3	0.0
	30歳代	41	24.4	29.3	2.4	2.4	9.8	29.3	2.4	0.0
	40歳代	71	26.8	33.8	7.0	1.4	8.5	21.1	1.4	0.0
	50歳代	68	33.8	30.9	1.5	1.5	10.3	17.6	4.4	0.0
	60歳代	78	33.3	48.7	0.0	0.0	5.1	12.8	0.0	0.0
	70歳代	116	33.6	44.0	1.7	0.0	4.3	12.1	0.0	4.3
	80歳以上	62	37.1	38.7	0.0	0.0	6.5	6.5	3.2	8.1
居住地区	高砂地区	51	33.3	39.2	3.9	2.0	7.8	11.8	0.0	2.0
	荒井地区	72	31.9	34.7	5.6	0.0	6.9	19.4	1.4	0.0
	伊保地区	66	30.3	33.3	4.5	0.0	7.6	13.6	3.0	7.6
	中筋地区	20	30.0	50.0	0.0	0.0	10.0	5.0	0.0	5.0
	曾根地区	54	40.7	33.3	0.0	0.0	7.4	16.7	1.9	0.0
	米田地区	99	35.4	35.4	0.0	1.0	8.1	17.2	3.0	0.0
	阿弥陀地区	58	27.6	46.6	1.7	1.7	5.2	13.8	0.0	3.4
	北浜地区	28	21.4	50.0	0.0	3.6	3.6	17.9	3.6	0.0

■ 「支えあい・助け合う地域」の範囲については、平成28年調査<sup>※1</sup>と比較すると、「となり、近所という範囲」は32.4%で平成28年調査（26.2%）から6ポイント程度増加しています。

また、身近な範囲（「となり、近所という範囲」＋「自治会・町内会という範囲」）とする人は70.3%となっており、平成28年調査（64.9%）及び平成18年調査<sup>※2</sup>（64.3%）からは5ポイント程度増加しています。



※1：平成28年調査について

「第3期高砂市地域福祉計画」を策定するにあたり、地域福祉に関する意識や日頃の地域活動の実態、ニーズ等を把握するために実施。

●調査の方法

調査対象	高砂市在住の20歳以上の市民2,981人（無作為抽出）
調査方法	郵便にて配布・回収
調査期間	平成28年8月2日～8月25日

●回収の結果

配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
2,981件	1,032件	34.6%	1,024件	34.4%

※2：平成18年調査について

「高砂市地域福祉計画」を策定するにあたり、地域福祉に関する意識や日頃の地域活動の実態、ニーズ等を把握するために実施。

●調査の方法

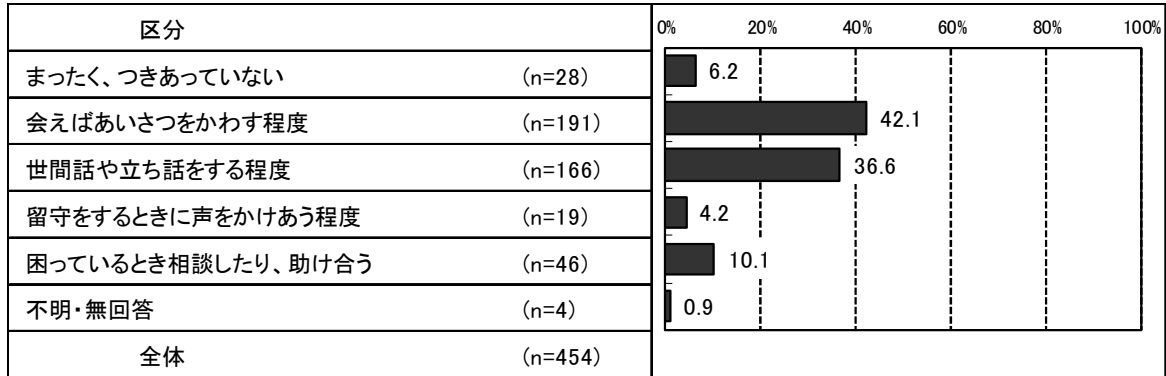
調査対象	高砂市在住の18歳以上の市民2,900人（無作為抽出）
調査方法	郵便にて配布・回収
調査期間	平成19年1月15日～1月31日

●回収の結果

配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
2,900件	1,531件	52.8%	1,531件	52.8%

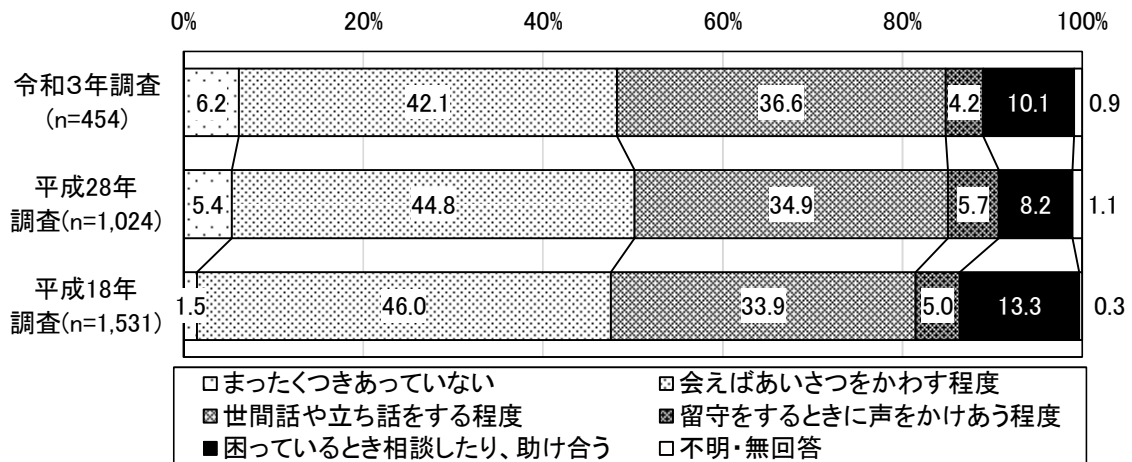
## 2-2 あなたはふだん、近所の人と、どの程度のつきあいをしていますか。【〇は1つだけ】

■ 近所の人と、どの程度のつきあいをしているかについては、「会えばあいさつをかわす程度」が42.1%で最も多く、「世間話や立ち話をする程度」(36.6%)、「困っているとき相談したり、助け合う」(10.1%)がつづいており、親密な近所づきあいをしている人(「困っているとき相談したり、助け合う」+「留守をするときに声をかけあう程度」)は14.3%となっています。



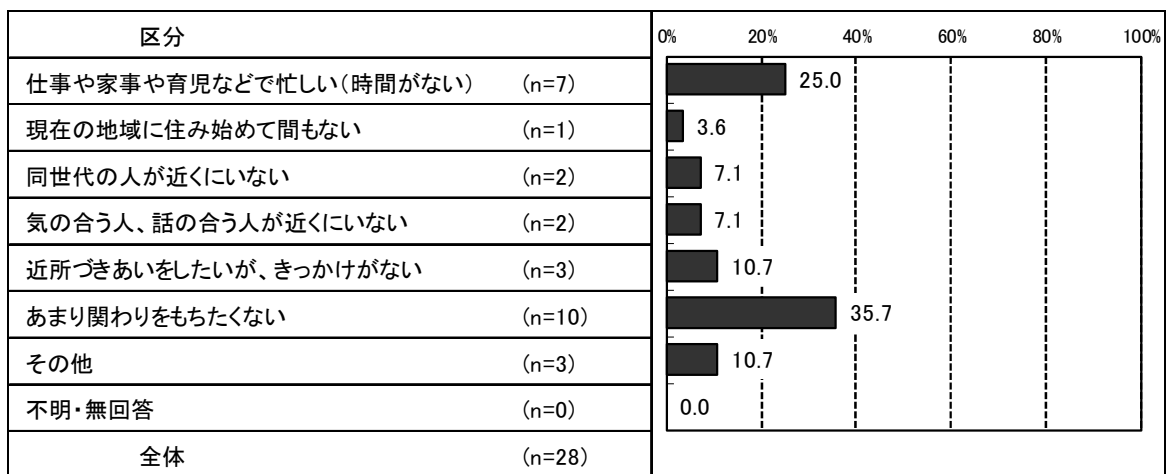
		合計	まったく、 つきあって いない	会えば あいさつを かわす程度	世間話や 立ち話を する程度	留守をする ときに声を かけあう 程度	困っている とき相談 したり、 助け合う	不明・ 無回答
単位: % ※合計は「件」								
全体		454	6.2	42.1	36.6	4.2	10.1	0.9
性別	男性	198	5.1	50.0	31.3	3.5	9.6	0.5
	女性	253	7.1	36.4	40.7	4.7	10.7	0.4
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	18.8	68.8	6.3	0.0	6.3	0.0
	30歳代	41	9.8	65.9	17.1	0.0	7.3	0.0
	40歳代	71	11.3	49.3	33.8	0.0	5.6	0.0
	50歳代	68	11.8	47.1	32.4	0.0	8.8	0.0
	60歳代	78	1.3	38.5	43.6	1.3	15.4	0.0
	70歳代	116	1.7	29.3	43.1	12.9	12.9	0.0
	80歳以上	62	3.2	35.5	45.2	4.8	8.1	3.2
居住地区	高砂地区	51	3.9	39.2	35.3	7.8	13.7	0.0
	荒井地区	72	11.1	38.9	36.1	2.8	11.1	0.0
	伊保地区	66	6.1	45.5	33.3	1.5	12.1	1.5
	中筋地区	20	0.0	50.0	20.0	10.0	20.0	0.0
	曾根地区	54	5.6	48.1	33.3	5.6	7.4	0.0
	米田地区	99	7.1	44.4	34.3	4.0	10.1	0.0
	阿弥陀地区	58	1.7	36.2	50.0	3.4	6.9	1.7
	北浜地区	28	10.7	42.9	42.9	3.6	0.0	0.0

■ 近所づきあいの状況については、平成 28 年調査と比較すると大きな差異はありませんが、平成 18 年調査と比較すると近所づきあいは希薄化していることがうかがえます。



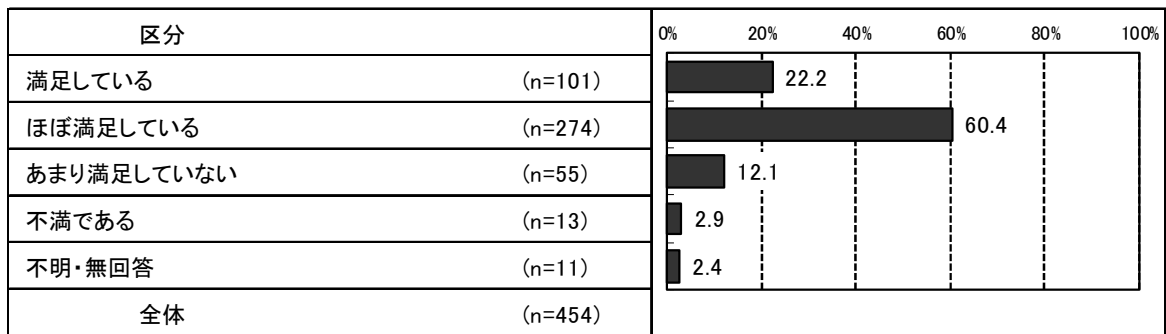
2-3 2-2で「1. まったく、つきあっていない」と回答した方におうかがいします。近所づきあいが無い理由は何ですか。【○は最もあてはまるものに1つだけ】

■ まったく近所づきあいが無い人について、その理由をみると、「あまり関わりをもちたくない」が 35.7%で最も多く、「仕事や家事や育児などで忙しい（時間がない）」(25.0%)、「近所づきあいをしたいが、きっかけがない」と「その他」が、ともに 10.7%でつづいています。



## 2-4 あなたは、現在のご近所の人とのつきあいに満足していますか。【〇は1つだけ】

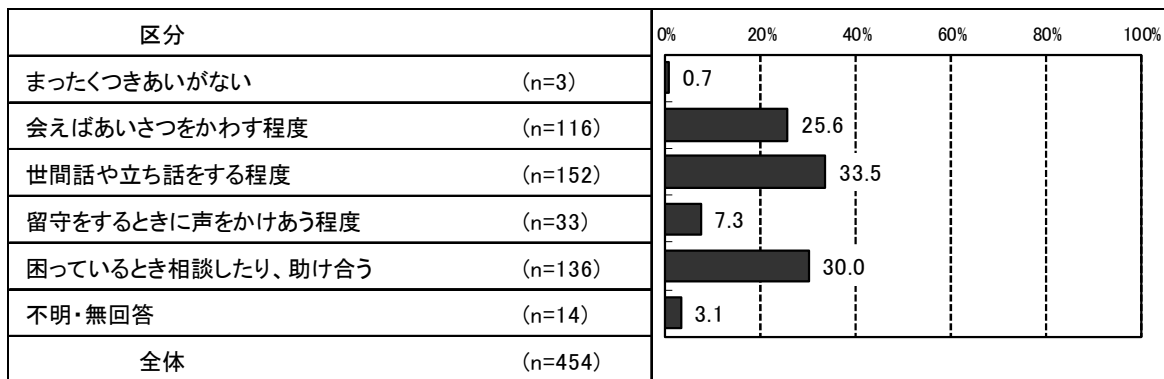
- 現在のご近所の人とのつきあいに満足しているかについては、「ほぼ満足している」が60.4%で最も多く、「満足している」(22.2%)、「あまり満足していない」(12.1%)がつづいており、満足度(「満足している」+「ほぼ満足している」)は82.6%となっています。



単位:% ※合計は「件」		合計	満足している	ほぼ満足している	あまり満足していない	不満である	不明・無回答
全体		454	22.2	60.4	12.1	2.9	2.4
性別	男性	198	21.7	58.1	14.1	3.5	2.5
	女性	253	22.5	62.8	10.7	2.4	1.6
	その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	31.3	50.0	6.3	12.5	0.0
	30歳代	41	29.3	58.5	4.9	7.3	0.0
	40歳代	71	26.8	54.9	11.3	4.2	2.8
	50歳代	68	11.8	76.5	5.9	4.4	1.5
	60歳代	78	16.7	65.4	14.1	1.3	2.6
	70歳代	116	21.6	63.8	12.9	0.9	0.9
	80歳以上	62	30.6	41.9	22.6	0.0	4.8
居住地区	高砂地区	51	27.5	52.9	15.7	2.0	2.0
	荒井地区	72	23.6	56.9	11.1	6.9	1.4
	伊保地区	66	22.7	60.6	13.6	1.5	1.5
	中筋地区	20	25.0	55.0	20.0	0.0	0.0
	曾根地区	54	24.1	63.0	11.1	0.0	1.9
	米田地区	99	25.3	55.6	12.1	5.1	2.0
	阿弥陀地区	58	17.2	72.4	8.6	0.0	1.7
	北浜地区	28	7.1	71.4	10.7	3.6	7.1

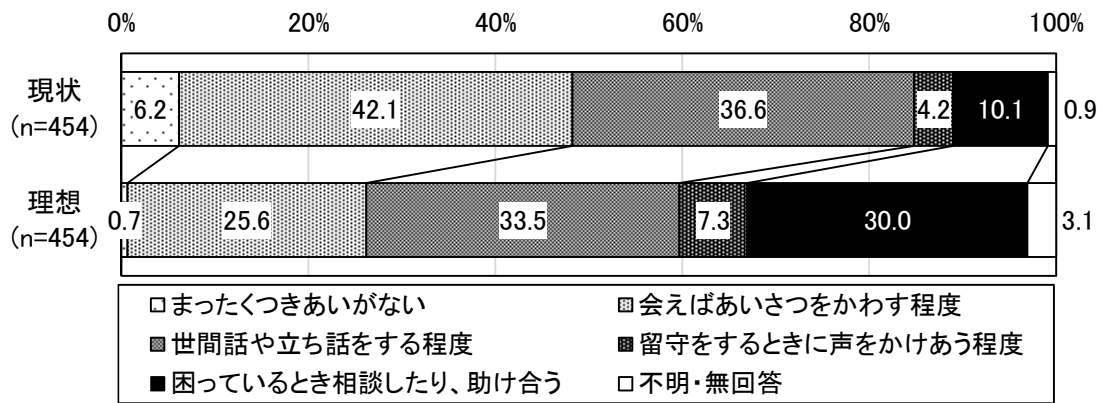
## 2-5 あなたが理想とするご近所の人とのつきあいの程度は。【〇は1つだけ】

■ 理想とするご近所の人とのつきあいの程度については、「世間話や立ち話をする程度」が33.5%で最も多く、「困っているとき相談したり、助け合う」(30.0%)、「会えばあいさつをかわす程度」(25.6%)がつづいており、親密な近所づきあいを理想とする人(「困っているとき相談したり、助け合う」+「留守をするときに声をかけあう程度」)は37.3%となっています。

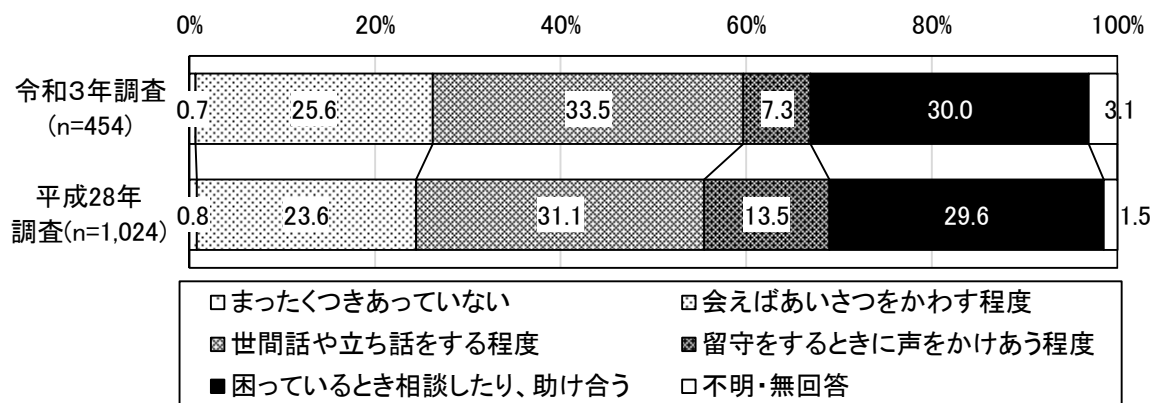


		合計	まったくつきあいがいい	会えばあいさつをかわす程度	世間話や立ち話をする程度	留守をするときに声をかけあう程度	困っているとき相談したり、助け合う	不明・無回答
単位: % ※合計は「件」								
全体		454	0.7	25.6	33.5	7.3	30.0	3.1
性別	男性	198	1.0	29.3	32.3	7.6	27.8	2.0
	女性	253	0.4	22.9	34.4	7.1	32.0	3.2
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	6.3	56.3	18.8	0.0	18.8	0.0
	30歳代	41	2.4	46.3	22.0	7.3	22.0	0.0
	40歳代	71	0.0	29.6	39.4	4.2	26.8	0.0
	50歳代	68	1.5	26.5	29.4	2.9	39.7	0.0
	60歳代	78	0.0	16.7	38.5	9.0	33.3	2.6
	70歳代	116	0.0	19.0	28.4	13.8	33.6	5.2
	80歳以上	62	0.0	22.6	46.8	3.2	21.0	6.5
居住地区	高砂地区	51	0.0	37.3	17.6	13.7	29.4	2.0
	荒井地区	72	1.4	23.6	36.1	6.9	29.2	2.8
	伊保地区	66	1.5	30.3	31.8	6.1	25.8	4.5
	中筋地区	20	0.0	30.0	20.0	10.0	40.0	0.0
	曾根地区	54	1.9	18.5	37.0	9.3	31.5	1.9
	米田地区	99	0.0	24.2	32.3	3.0	38.4	2.0
	阿弥陀地区	58	0.0	24.1	39.7	12.1	22.4	1.7
	北浜地区	28	0.0	21.4	50.0	0.0	21.4	7.1

■ 近所づきあいに関して、「理想」と「現状（現実）」について比較すると、実際に親密な近所づきあいをしている人は 14.3%に留まっていますが、親密な近所づきあいを理想としている人は 37.3%にもものぼっており、理想と現状にギャップが生じていることがわかります。

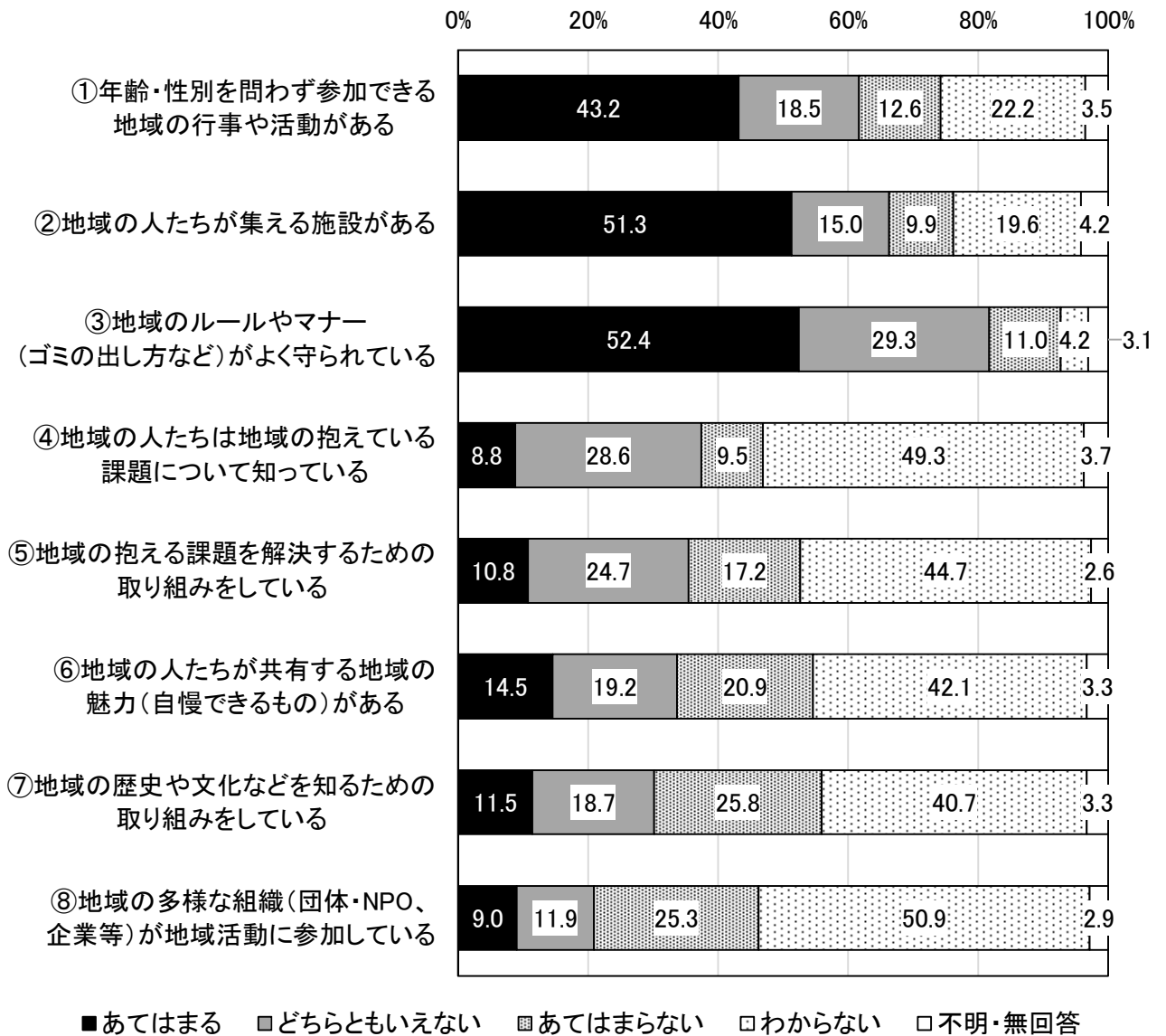


■ 理想の近所づきあいの状況については、平成 28 年調査と比較すると、「困っているとき相談したり、助け合う」は大きな差異はありませんが、「留守をするときに声をかけあう程度」は 7.3%で平成 28 年調査（13.5%）から 6 ポイント程度減少しています。



2-6 あなたがお住まいの地域の様子はどうですか。それぞれの項目で一番近いものをお教えてください。【①～⑧それぞれで、○を1つだけ】

■ 「③地域のルールやマナー（ゴミの出し方など）がよく守られている」や「②地域の人たちが集える施設がある」「①年齢・性別を問わず参加できる地域の行事や活動がある」については、「あてはまる」が4～5割程度を占めて最も多くなっています。一方で、それ以外の項目については「わからない」が4～5割程度を占めて最も多くなっています。





①年齢・性別を問わず参加できる地域の行事や活動がある

単位:% ※合計は「件」	合計	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	わからない	不明・無回答	
全体	454	43.2	18.5	12.6	22.2	3.5	
居住地区	高砂地区	51	43.1	17.6	19.6	13.7	5.9
	荒井地区	72	44.4	13.9	18.1	20.8	2.8
	伊保地区	66	47.0	13.6	9.1	25.8	4.5
	中筋地区	20	25.0	10.0	15.0	45.0	5.0
	曾根地区	54	42.6	22.2	9.3	24.1	1.9
	米田地区	99	33.3	28.3	14.1	23.2	1.0
	阿弥陀地区	58	55.2	13.8	10.3	15.5	5.2
	北浜地区	28	57.1	21.4	0.0	21.4	0.0

②地域の人たちが集える施設がある

単位:% ※合計は「件」	合計	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	わからない	不明・無回答	
全体	454	51.3	15.0	9.9	19.6	4.2	
居住地区	高砂地区	51	43.1	27.5	11.8	9.8	7.8
	荒井地区	72	51.4	12.5	12.5	20.8	2.8
	伊保地区	66	54.5	13.6	10.6	18.2	3.0
	中筋地区	20	20.0	20.0	10.0	35.0	15.0
	曾根地区	54	51.9	9.3	11.1	25.9	1.9
	米田地区	99	46.5	16.2	11.1	25.3	1.0
	阿弥陀地区	58	62.1	15.5	6.9	8.6	6.9
	北浜地区	28	82.1	3.6	0.0	14.3	0.0

③地域のルールやマナー（ゴミの出し方など）がよく守られている

単位:% ※合計は「件」	合計	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	わからない	不明・無回答	
全体	454	52.4	29.3	11.0	4.2	3.1	
居住地区	高砂地区	51	62.7	27.5	3.9	2.0	3.9
	荒井地区	72	44.4	27.8	16.7	9.7	1.4
	伊保地区	66	56.1	25.8	10.6	3.0	4.5
	中筋地区	20	60.0	15.0	15.0	5.0	5.0
	曾根地区	54	46.3	33.3	13.0	3.7	3.7
	米田地区	99	46.5	35.4	13.1	4.0	1.0
	阿弥陀地区	58	65.5	24.1	5.2	1.7	3.4
	北浜地区	28	53.6	35.7	7.1	3.6	0.0

④地域の人たちは地域の抱えている課題について知っている

単位:% ※合計は「件」	合計	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	わからない	不明・無回答	
全体	454	8.8	28.6	9.5	49.3	3.7	
居住地区	高砂地区	51	9.8	31.4	11.8	39.2	7.8
	荒井地区	72	9.7	31.9	9.7	47.2	1.4
	伊保地区	66	9.1	22.7	6.1	57.6	4.5
	中筋地区	20	5.0	15.0	10.0	65.0	5.0
	曾根地区	54	5.6	27.8	7.4	55.6	3.7
	米田地区	99	7.1	25.3	15.2	51.5	1.0
	阿弥陀地区	58	15.5	39.7	5.2	34.5	5.2
	北浜地区	28	7.1	32.1	7.1	53.6	0.0

⑤地域の抱える課題を解決するための取り組みをしている

単位:% ※合計は「件」		合計	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	わからない	不明・無回答
全体		454	10.8	24.7	17.2	44.7	2.6
居住地区	高砂地区	51	13.7	27.5	19.6	35.3	3.9
	荒井地区	72	12.5	27.8	11.1	47.2	1.4
	伊保地区	66	9.1	33.3	13.6	40.9	3.0
	中筋地区	20	10.0	20.0	15.0	45.0	10.0
	曾根地区	54	1.9	20.4	24.1	50.0	3.7
	米田地区	99	8.1	19.2	19.2	52.5	1.0
	阿弥陀地区	58	17.2	24.1	20.7	34.5	3.4
	北浜地区	28	21.4	25.0	10.7	42.9	0.0

⑥地域の人たちが共有する地域の魅力（自慢できるもの）がある

単位:% ※合計は「件」		合計	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	わからない	不明・無回答
全体		454	14.5	19.2	20.9	42.1	3.3
居住地区	高砂地区	51	11.8	21.6	25.5	35.3	5.9
	荒井地区	72	16.7	16.7	25.0	40.3	1.4
	伊保地区	66	13.6	19.7	16.7	45.5	4.5
	中筋地区	20	10.0	20.0	10.0	50.0	10.0
	曾根地区	54	31.5	18.5	18.5	27.8	3.7
	米田地区	99	9.1	15.2	23.2	51.5	1.0
	阿弥陀地区	58	15.5	20.7	17.2	41.4	5.2
	北浜地区	28	7.1	35.7	25.0	32.1	0.0

⑦地域の歴史や文化などを知るための取り組みをしている

単位:% ※合計は「件」		合計	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	わからない	不明・無回答
全体		454	11.5	18.7	25.8	40.7	3.3
居住地区	高砂地区	51	11.8	17.6	35.3	29.4	5.9
	荒井地区	72	11.1	23.6	19.4	44.4	1.4
	伊保地区	66	1.5	21.2	24.2	48.5	4.5
	中筋地区	20	10.0	10.0	25.0	50.0	5.0
	曾根地区	54	20.4	20.4	22.2	33.3	3.7
	米田地区	99	9.1	17.2	27.3	44.4	2.0
	阿弥陀地区	58	13.8	17.2	27.6	36.2	5.2
	北浜地区	28	25.0	17.9	21.4	35.7	0.0

⑧地域の多様な組織（団体・NPO、企業等）が地域活動に参加している

単位:% ※合計は「件」		合計	あてはまる	どちらとも いえない	あてはまらない	わからない	不明・無回答
全体		454	9.0	11.9	25.3	50.9	2.9
居住地区	高砂地区	51	7.8	5.9	39.2	43.1	3.9
	荒井地区	72	8.3	12.5	22.2	55.6	1.4
	伊保地区	66	9.1	10.6	24.2	51.5	4.5
	中筋地区	20	5.0	5.0	25.0	60.0	5.0
	曾根地区	54	13.0	14.8	14.8	53.7	3.7
	米田地区	99	6.1	11.1	25.3	56.6	1.0
	阿弥陀地区	58	10.3	12.1	31.0	41.4	5.2
	北浜地区	28	17.9	28.6	17.9	35.7	0.0

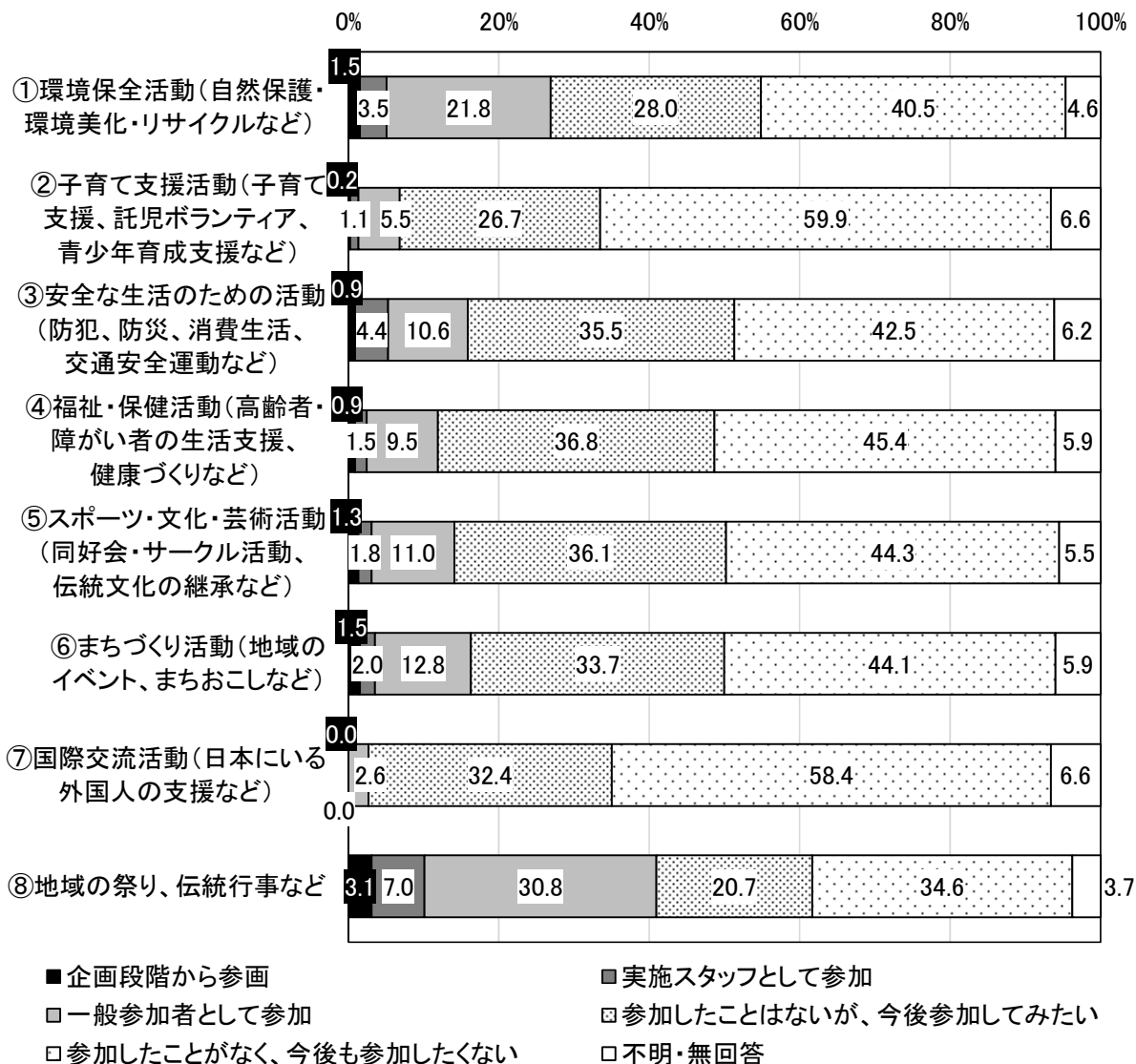
### 3. 地域活動などについて

3-1 お住まいの地域の団体やグループでの地域活動についてお聞きします。過去おおむね1年間に、次の①～⑧の活動に参加したことがありますか。また、どのような立場で参加したか等を含め、あなたの状況に一番近いものをお教えてください。【①～⑧それぞれで、○を1つだけ】

■ すべての活動で「参加したことがなく、今後も参加したくない」が最も多くなっています。特に、「②子育て支援活動（子育て支援、託児ボランティア、青少年育成支援など）」と「⑦国際交流活動（日本にいる外国人の支援など）」では「参加したことがなく、今後も参加したくない」が6割程度を占めており、他の活動より多くなっています。

また、担い手としての参加（「企画段階から参画」＋「実施スタッフとして参加」）については、「⑧地域の祭り、伝統行事など」が10.1%で他の活動と比べて最も多く、「①環境保全活動（自然保護・環境美化・リサイクルなど）」と「③安全な生活のための活動（防犯、防災、消費生活、交通安全運動など）」が5%程度でつづいています。

なお、「一般参加者として参加」については、「⑧地域の祭り、伝統行事など」と「①環境保全活動（自然保護・環境美化・リサイクルなど）」が2～3割台半ばを占めて、他の活動より多くなっています。



①環境保全活動（自然保護・環境美化・リサイクルなど）

		合計	企画段階 から参画	実施スタッフ として参加	一般参加者 として参加	参加したこと はないが、 今後参加 してみたい	参加したこと がなく、 今後も参加 したくない	不明・ 無回答
単位：％ ※合計は「件」								
全体		454	1.5	3.5	21.8	28.0	40.5	4.6
性別	男性	198	2.5	6.1	26.8	23.7	36.9	4.0
	女性	253	0.8	1.6	18.2	31.2	43.1	5.1
	その他	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	0.0	0.0	12.5	31.3	56.3	0.0
	30歳代	41	0.0	4.9	14.6	36.6	39.0	4.9
	40歳代	71	0.0	2.8	19.7	25.4	50.7	1.4
	50歳代	68	0.0	0.0	13.2	42.6	44.1	0.0
	60歳代	78	2.6	3.8	23.1	28.2	39.7	2.6
	70歳代	116	4.3	6.0	31.0	22.4	29.3	6.9
	80歳以上	62	0.0	3.2	22.6	19.4	41.9	12.9
居住地区	高砂地区	51	0.0	2.0	19.6	29.4	43.1	5.9
	荒井地区	72	2.8	2.8	18.1	29.2	44.4	2.8
	伊保地区	66	1.5	1.5	24.2	30.3	36.4	6.1
	中筋地区	20	0.0	0.0	0.0	35.0	50.0	15.0
	曾根地区	54	1.9	1.9	27.8	25.9	38.9	3.7
	米田地区	99	0.0	6.1	19.2	28.3	44.4	2.0
	阿弥陀地区	58	3.4	5.2	32.8	29.3	22.4	6.9
	北浜地区	28	3.6	3.6	21.4	17.9	50.0	3.6

②子育て支援活動（子育て支援、託児ボランティア、青少年育成支援など）

		合計	企画段階 から参画	実施スタッフ として参加	一般参加者 として参加	参加したこと はないが、 今後参加 してみたい	参加したこと がなく、 今後も参加 したくない	不明・ 無回答
単位：％ ※合計は「件」								
全体		454	0.2	1.1	5.5	26.7	59.9	6.6
性別	男性	198	0.0	2.5	6.6	22.2	63.1	5.6
	女性	253	0.4	0.0	4.7	30.4	56.9	7.5
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢	20歳代	16	0.0	0.0	12.5	56.3	31.3	0.0
	30歳代	41	0.0	0.0	7.3	48.8	39.0	4.9
	40歳代	71	0.0	0.0	7.0	25.4	66.2	1.4
	50歳代	68	0.0	0.0	1.5	35.3	63.2	0.0
	60歳代	78	0.0	3.8	5.1	20.5	65.4	5.1
	70歳代	116	0.9	1.7	6.9	24.1	55.2	11.2
	80歳以上	62	0.0	0.0	3.2	9.7	71.0	16.1
居住地区	高砂地区	51	0.0	0.0	3.9	25.5	62.7	7.8
	荒井地区	72	0.0	2.8	5.6	27.8	61.1	2.8
	伊保地区	66	1.5	1.5	3.0	30.3	54.5	9.1
	中筋地区	20	0.0	0.0	0.0	25.0	60.0	15.0
	曾根地区	54	0.0	0.0	5.6	25.9	63.0	5.6
	米田地区	99	0.0	2.0	8.1	23.2	61.6	5.1
	阿弥陀地区	58	0.0	0.0	8.6	32.8	48.3	10.3
	北浜地区	28	0.0	0.0	0.0	25.0	71.4	3.6

③安全な生活のための活動（防犯、防災、消費生活、交通安全運動など）

		合計	企画段階 から参画	実施スタッフ として参加	一般参加者 として参加	参加したこと はないが、 今後参加 してみたい	参加したこと がなく、 今後も参加 したくない	不明・ 無回答
単位：％ ※合計は「件」								
全体		454	0.9	4.4	10.6	35.5	42.5	6.2
性別	男性	198	2.0	6.6	14.1	32.8	39.4	5.1
	女性	253	0.0	2.8	7.9	37.5	44.7	7.1
	その他	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	30歳代	41	0.0	0.0	2.4	43.9	48.8	4.9
	40歳代	71	0.0	4.2	5.6	38.0	50.7	1.4
	50歳代	68	0.0	1.5	7.4	42.6	48.5	0.0
	60歳代	78	1.3	7.7	19.2	26.9	39.7	5.1
	70歳代	116	1.7	7.8	14.7	37.9	28.4	9.5
	80歳以上	62	1.6	1.6	9.7	22.6	48.4	16.1
居住地区	高砂地区	51	0.0	2.0	9.8	37.3	43.1	7.8
	荒井地区	72	0.0	5.6	6.9	40.3	45.8	1.4
	伊保地区	66	0.0	10.6	19.7	27.3	31.8	10.6
	中筋地区	20	0.0	5.0	5.0	40.0	40.0	10.0
	曾根地区	54	0.0	0.0	9.3	40.7	42.6	7.4
	米田地区	99	1.0	3.0	7.1	36.4	48.5	4.0
	阿弥陀地区	58	5.2	5.2	15.5	32.8	32.8	8.6
	北浜地区	28	0.0	3.6	7.1	35.7	50.0	3.6

④福祉・保健活動（高齢者・障がい者の生活支援、健康づくりなど）

		合計	企画段階 から参画	実施スタッフ として参加	一般参加者 として参加	参加したこと はないが、 今後参加 してみたい	参加したこと がなく、 今後も参加 したくない	不明・ 無回答
単位：％ ※合計は「件」								
全体		454	0.9	1.5	9.5	36.8	45.4	5.9
性別	男性	198	1.5	1.5	11.6	31.8	47.5	6.1
	女性	253	0.4	1.6	7.9	40.3	43.9	5.9
	その他	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	30歳代	41	0.0	0.0	2.4	39.0	53.7	4.9
	40歳代	71	0.0	0.0	5.6	36.6	56.3	1.4
	50歳代	68	0.0	0.0	1.5	47.1	51.5	0.0
	60歳代	78	0.0	3.8	10.3	41.0	39.7	5.1
	70歳代	116	3.4	3.4	17.2	33.6	33.6	8.6
	80歳以上	62	0.0	0.0	14.5	21.0	48.4	16.1
居住地区	高砂地区	51	0.0	0.0	5.9	33.3	51.0	9.8
	荒井地区	72	1.4	0.0	4.2	41.7	51.4	1.4
	伊保地区	66	0.0	0.0	16.7	36.4	37.9	9.1
	中筋地区	20	5.0	0.0	5.0	40.0	40.0	10.0
	曾根地区	54	0.0	3.7	5.6	37.0	48.1	5.6
	米田地区	99	0.0	3.0	8.1	39.4	45.5	4.0
	阿弥陀地区	58	3.4	1.7	17.2	29.3	39.7	8.6
	北浜地区	28	0.0	3.6	10.7	39.3	42.9	3.6

⑤スポーツ・文化・芸術活動（同好会・サークル活動、伝統文化の継承など）

		合計	企画段階 から参画	実施スタッフ として参加	一般参加者 として参加	参加したこと はないが、 今後参加 してみたい	参加したこと がなく、 今後も参加 したくない	不明・ 無回答
単位：％ ※合計は「件」								
全体		454	1.3	1.8	11.0	36.1	44.3	5.5
性別	男性	198	3.0	2.0	12.6	35.4	41.9	5.1
	女性	253	0.0	1.6	9.9	36.8	45.8	5.9
	その他	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	0.0	6.3	12.5	50.0	31.3	0.0
	30歳代	41	0.0	0.0	2.4	61.0	31.7	4.9
	40歳代	71	0.0	2.8	8.5	45.1	42.3	1.4
	50歳代	68	0.0	1.5	4.4	42.6	51.5	0.0
	60歳代	78	3.8	1.3	9.0	37.2	44.9	3.8
	70歳代	116	2.6	1.7	20.7	25.0	41.4	8.6
	80歳以上	62	0.0	1.6	11.3	19.4	53.2	14.5
居住地区	高砂地区	51	0.0	0.0	13.7	27.5	51.0	7.8
	荒井地区	72	2.8	2.8	9.7	38.9	44.4	1.4
	伊保地区	66	1.5	3.0	15.2	36.4	37.9	6.1
	中筋地区	20	0.0	0.0	0.0	40.0	45.0	15.0
	曾根地区	54	0.0	1.9	13.0	29.6	50.0	5.6
	米田地区	99	2.0	1.0	8.1	42.4	42.4	4.0
	阿弥陀地区	58	1.7	3.4	13.8	34.5	37.9	8.6
	北浜地区	28	0.0	0.0	7.1	42.9	46.4	3.6

⑥まちづくり活動（地域のイベント、まちおこしなど）

		合計	企画段階 から参画	実施スタッフ として参加	一般参加者 として参加	参加したこと はないが、 今後参加 してみたい	参加したこと がなく、 今後も参加 したくない	不明・ 無回答
単位：％ ※合計は「件」								
全体		454	1.5	2.0	12.8	33.7	44.1	5.9
性別	男性	198	3.5	3.5	15.2	30.8	41.4	5.6
	女性	253	0.0	0.8	11.1	36.0	45.8	6.3
	その他	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	0.0	0.0	6.3	56.3	37.5	0.0
	30歳代	41	0.0	0.0	2.4	58.5	34.1	4.9
	40歳代	71	0.0	4.2	5.6	40.8	47.9	1.4
	50歳代	68	0.0	1.5	7.4	35.3	54.4	1.5
	60歳代	78	2.6	3.8	20.5	28.2	41.0	3.8
	70歳代	116	4.3	1.7	19.0	27.6	37.9	9.5
	80歳以上	62	0.0	0.0	14.5	21.0	50.0	14.5
居住地区	高砂地区	51	0.0	0.0	13.7	31.4	47.1	7.8
	荒井地区	72	2.8	1.4	12.5	36.1	44.4	2.8
	伊保地区	66	0.0	4.5	15.2	34.8	37.9	7.6
	中筋地区	20	0.0	0.0	0.0	30.0	55.0	15.0
	曾根地区	54	0.0	0.0	11.1	35.2	48.1	5.6
	米田地区	99	2.0	2.0	9.1	35.4	45.5	6.1
	阿弥陀地区	58	5.2	3.4	19.0	31.0	34.5	6.9
	北浜地区	28	0.0	3.6	17.9	35.7	42.9	0.0

⑦国際交流活動（日本にいる外国人の支援など）

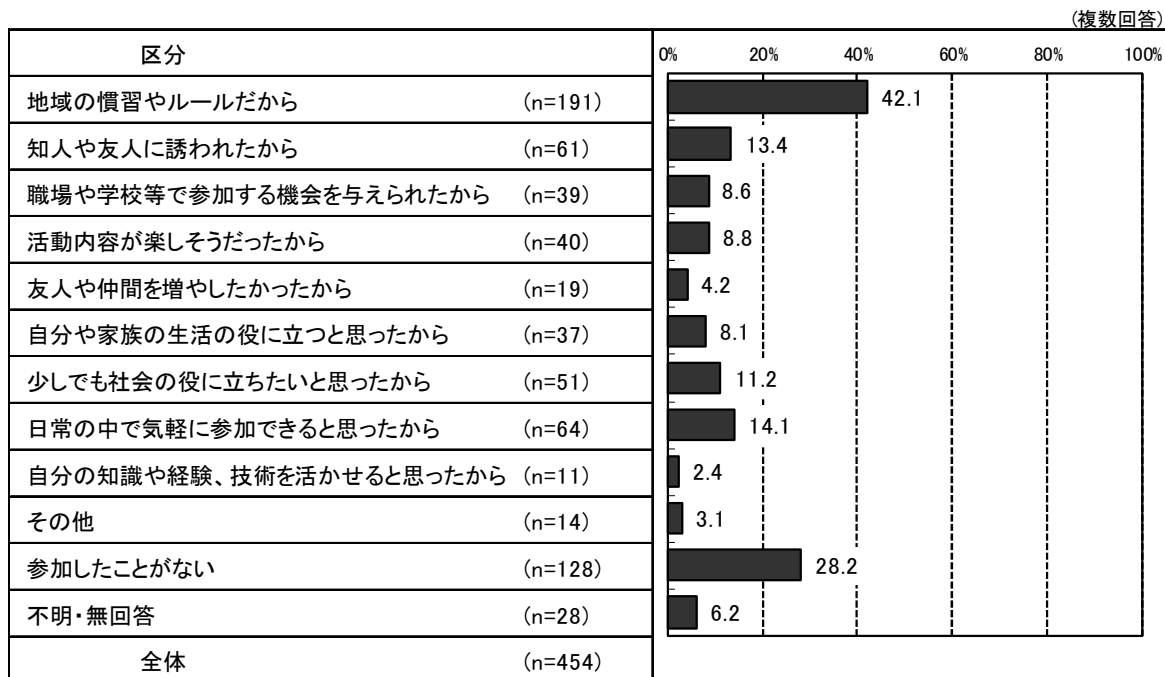
		合計	企画段階 から参画	実施スタッフ として参加	一般参加者 として参加	参加したこと はないが、 今後参加 してみたい	参加したこと がなく、 今後も参加 したくない	不明・ 無回答
単位：％ ※合計は「件」								
全体		454	0.0	0.0	2.6	32.4	58.4	6.6
性別	男性	198	0.0	0.0	4.0	31.3	58.6	6.1
	女性	253	0.0	0.0	1.6	33.6	57.7	7.1
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢	20歳代	16	0.0	0.0	6.3	50.0	43.8	0.0
	30歳代	41	0.0	0.0	0.0	41.5	53.7	4.9
	40歳代	71	0.0	0.0	1.4	40.8	56.3	1.4
	50歳代	68	0.0	0.0	1.5	38.2	58.8	1.5
	60歳代	78	0.0	0.0	3.8	29.5	62.8	3.8
	70歳代	116	0.0	0.0	5.2	30.2	54.3	10.3
	80歳以上	62	0.0	0.0	0.0	14.5	67.7	17.7
居住地区	高砂地区	51	0.0	0.0	3.9	25.5	62.7	7.8
	荒井地区	72	0.0	0.0	2.8	33.3	59.7	4.2
	伊保地区	66	0.0	0.0	3.0	31.8	56.1	9.1
	中筋地区	20	0.0	0.0	0.0	25.0	60.0	15.0
	曾根地区	54	0.0	0.0	3.7	24.1	66.7	5.6
	米田地区	99	0.0	0.0	2.0	41.4	51.5	5.1
	阿弥陀地区	58	0.0	0.0	0.0	37.9	53.4	8.6
	北浜地区	28	0.0	0.0	3.6	28.6	64.3	3.6

⑧地域の祭り、伝統行事など

		合計	企画段階 から参画	実施スタッフ として参加	一般参加者 として参加	参加したこと はないが、 今後参加 してみたい	参加したこと がなく、 今後も参加 したくない	不明・ 無回答
単位：％ ※合計は「件」								
全体		454	3.1	7.0	30.8	20.7	34.6	3.7
性別	男性	198	5.6	11.6	28.8	15.2	34.3	4.5
	女性	253	1.2	3.6	32.4	25.3	34.4	3.2
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	6.3	0.0	18.8	50.0	25.0	0.0
	30歳代	41	4.9	12.2	26.8	31.7	24.4	0.0
	40歳代	71	2.8	9.9	21.1	31.0	35.2	0.0
	50歳代	68	1.5	8.8	23.5	23.5	42.6	0.0
	60歳代	78	3.8	5.1	41.0	14.1	32.1	3.8
	70歳代	116	3.4	7.8	38.8	14.7	30.2	5.2
	80歳以上	62	1.6	1.6	29.0	11.3	43.5	12.9
居住地区	高砂地区	51	0.0	3.9	27.5	27.5	35.3	5.9
	荒井地区	72	4.2	5.6	38.9	16.7	31.9	2.8
	伊保地区	66	4.5	10.6	39.4	13.6	28.8	3.0
	中筋地区	20	5.0	5.0	20.0	25.0	35.0	10.0
	曾根地区	54	1.9	11.1	31.5	14.8	35.2	5.6
	米田地区	99	3.0	6.1	19.2	28.3	41.4	2.0
	阿弥陀地区	58	5.2	8.6	34.5	24.1	22.4	5.2
	北浜地区	28	0.0	3.6	39.3	14.3	42.9	0.0

### 3-2 お住まいの地域での地域活動に参加したきっかけは何ですか。【あてはまるもの3つまでに○】

■ 地域活動に参加したきっかけについては、「地域の慣習やルールだから」が 42.1%で最も多く、「参加したことがない」(28.2%)、「日常の中で気軽に参加できると思ったから」(14.1%)がつづいています。

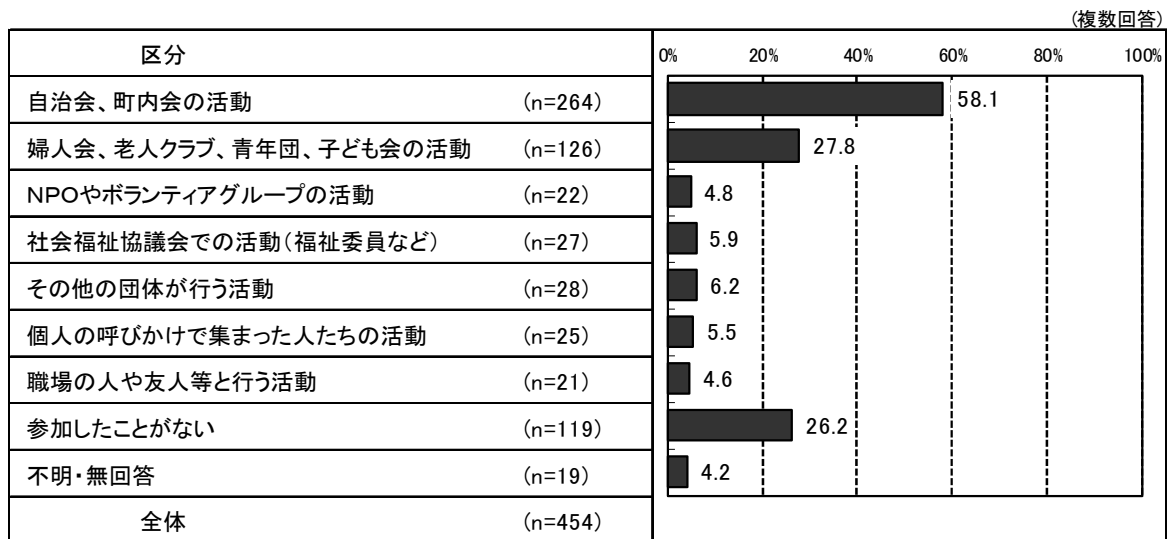


	合計	地域の慣習やルールだから	知人や友人に誘われたから	職場や学校等で参加する機会を与えられたから	活動内容が楽しそうだったから	友人や仲間を増やしたかったから	自分や家族の生活の役に立つと思ったから	少しでも社会の役に立ちたいと思ったから	日常の中で気軽に参加できると思ったから	自分の知識や経験、技術を活かせると思ったから	その他	参加したことがない	不明・無回答	
		42.1	13.4	8.6	8.8	4.2	8.1	11.2	14.1	2.4	3.1	28.2	6.2	
全体	454	42.1	13.4	8.6	8.8	4.2	8.1	11.2	14.1	2.4	3.1	28.2	6.2	
性別	男性	198	48.5	15.2	7.1	7.1	4.5	9.1	13.1	13.1	4.0	3.0	24.2	3.5
	女性	253	37.5	12.3	9.9	10.3	4.0	7.5	9.5	14.6	1.2	3.2	31.2	7.9
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	25.0	12.5	12.5	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	6.3	50.0	0.0
	30歳代	41	36.6	19.5	12.2	17.1	2.4	9.8	4.9	9.8	0.0	4.9	31.7	2.4
	40歳代	71	43.7	9.9	18.3	12.7	1.4	7.0	4.2	9.9	1.4	0.0	38.0	1.4
	50歳代	68	44.1	11.8	10.3	5.9	2.9	1.5	2.9	1.5	1.5	2.9	38.2	4.4
	60歳代	78	44.9	15.4	7.7	6.4	3.8	11.5	12.8	12.8	3.8	2.6	29.5	2.6
	70歳代	116	45.7	10.3	5.2	8.6	6.0	11.2	19.8	23.3	4.3	4.3	19.0	8.6
	80歳以上	62	37.1	19.4	0.0	6.5	8.1	8.1	17.7	22.6	1.6	3.2	12.9	16.1
居住地区	高砂地区	51	39.2	15.7	2.0	9.8	3.9	13.7	11.8	13.7	0.0	3.9	29.4	7.8
	荒井地区	72	38.9	13.9	8.3	11.1	4.2	6.9	9.7	12.5	4.2	1.4	29.2	2.8
	伊保地区	66	43.9	25.8	10.6	6.1	4.5	9.1	12.1	12.1	1.5	4.5	18.2	9.1
	中筋地区	20	40.0	0.0	10.0	5.0	0.0	5.0	0.0	10.0	0.0	5.0	30.0	0.0
	曾根地区	54	40.7	14.8	11.1	13.0	9.3	11.1	5.6	18.5	1.9	5.6	24.1	3.7
	米田地区	99	36.4	11.1	9.1	12.1	2.0	8.1	11.1	15.2	4.0	2.0	37.4	6.1
	阿弥陀地区	58	55.2	6.9	5.2	5.2	5.2	5.2	17.2	12.1	3.4	3.4	25.9	6.9
	北浜地区	28	50.0	10.7	17.9	0.0	3.6	3.6	17.9	21.4	0.0	0.0	25.0	7.1



### 3-3 今までに参加された地域活動は、どのような形で行う活動でしたか。【あてはまるものすべてに○】

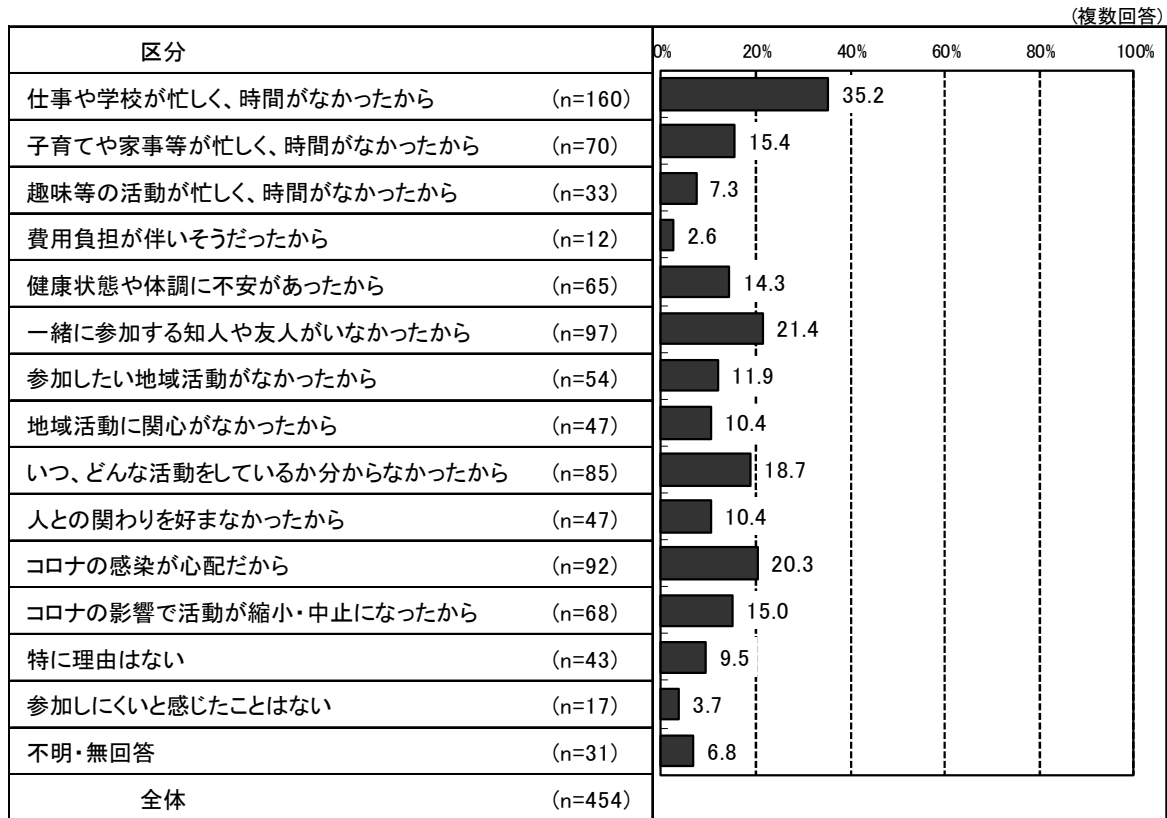
■ 今までに参加した地域活動については、「自治会、町内会の活動」が 58.1%で最も多く、「婦人会、老人クラブ、青年団、子ども会の活動」(27.8%)、「参加したことがない」(26.2%)がつついています。



	合計	自治会、町内会の活動	婦人会、老人クラブ、青年団、子ども会の活動	NPOやボランティアグループの活動	社会福祉協議会での活動(福祉委員など)	その他の団体が行う活動	個人の呼びかけで集まった人たちの活動	職場の人や友人等と行う活動	参加したことがない	不明・無回答	
											単位: %
全体	454	58.1	27.8	4.8	5.9	6.2	5.5	4.6	26.2	4.2	
性別	男性	198	63.6	23.2	4.5	6.1	9.6	7.6	6.1	23.7	3.0
	女性	253	54.2	31.2	5.1	5.9	3.6	4.0	3.6	28.1	5.1
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	50.0	6.3	0.0	0.0	0.0	12.5	6.3	43.8	0.0
	30歳代	41	46.3	12.2	0.0	0.0	4.9	4.9	4.9	34.1	4.9
	40歳代	71	50.7	36.6	1.4	0.0	4.2	1.4	5.6	39.4	0.0
	50歳代	68	58.8	25.0	7.4	5.9	1.5	2.9	1.5	29.4	4.4
	60歳代	78	65.4	30.8	5.1	3.8	11.5	3.8	5.1	17.9	6.4
	70歳代	116	69.8	29.3	8.6	12.1	6.0	9.5	4.3	19.0	2.6
	80歳以上	62	45.2	30.6	3.2	9.7	9.7	6.5	6.5	21.0	9.7
居住地区	高砂地区	51	52.9	19.6	5.9	2.0	3.9	5.9	3.9	33.3	5.9
	荒井地区	72	62.5	26.4	9.7	5.6	9.7	6.9	4.2	25.0	5.6
	伊保地区	66	69.7	42.4	0.0	1.5	7.6	6.1	4.5	16.7	4.5
	中筋地区	20	60.0	20.0	0.0	5.0	0.0	5.0	0.0	20.0	10.0
	曾根地区	54	61.1	20.4	3.7	13.0	7.4	3.7	7.4	22.2	1.9
	米田地区	99	45.5	32.3	7.1	7.1	6.1	6.1	7.1	33.3	4.0
	阿弥陀地区	58	70.7	20.7	3.4	8.6	5.2	1.7	0.0	22.4	1.7
	北浜地区	28	42.9	32.1	3.6	0.0	3.6	10.7	7.1	28.6	3.6

3-4 これまで地域活動に参加しなかったり、参加しにくいと感じたことがある場合、その理由は何ですか。【あてはまるもの5つまでに○】

■ これまで地域活動に参加しなかったり、参加しにくいと感じた理由については、「仕事や学校が忙しく、時間がなかったから」が35.2%で最も多く、「一緒に参加する知人や友人がいなかったから」(21.4%)、「コロナの感染が心配だから」(20.3%)がつづいています。



		合計	仕事や学校が忙しく、時間がなかったから	子育てや家事等が忙しく、時間がなかったから	趣味等の活動が忙しく、時間がなかったから	費用負担が伴いそうだったから	健康状態や体調に不安があったから	一緒に参加する知人や友人がいなかったから	参加したい地域活動がなかったから	地域活動に関心がなかったから
単位: % ※合計は「件」										
全体		454	35.2	15.4	7.3	2.6	14.3	21.4	11.9	10.4
性別	男性	198	33.3	5.1	8.6	2.0	13.1	19.7	12.6	11.1
	女性	253	36.8	23.7	6.3	3.2	15.0	22.9	11.5	9.9
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

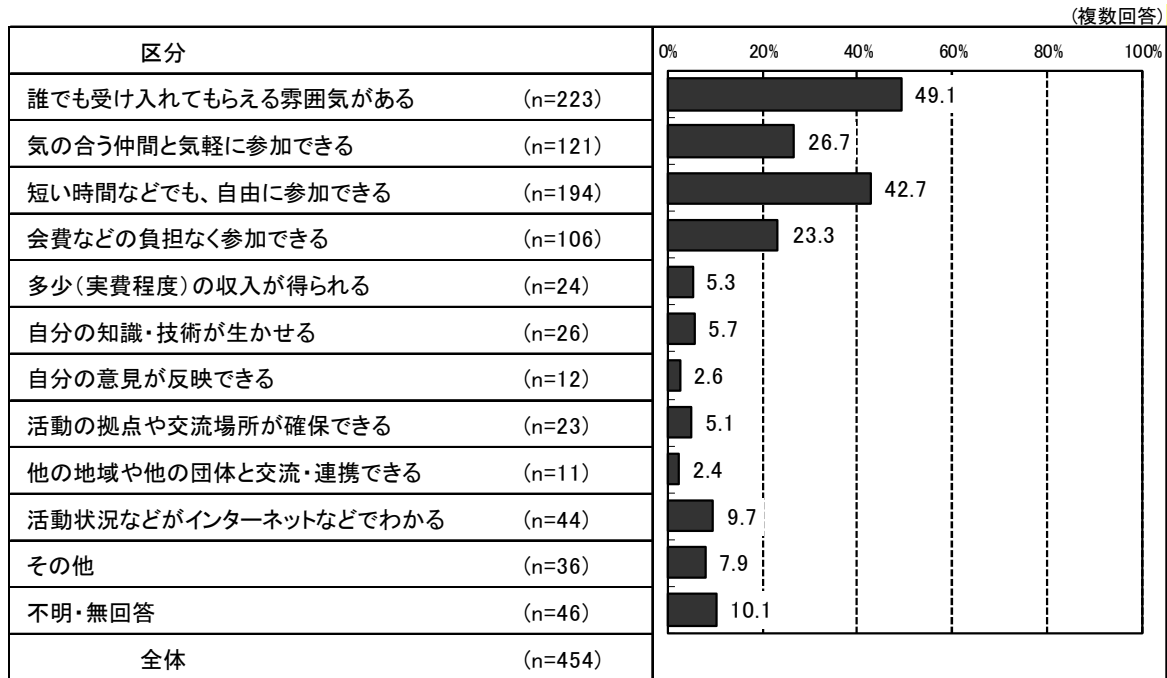
		合計	いつ、どんな活動をしているか分からなかったから	人との関わりを好まなかったから	コロナの感染が心配だから	コロナの影響で活動が縮小・中止になったから	特に理由はない	参加しにくいと感じたことはない	不明・無回答
単位: % ※合計は「件」									
全体		454	18.7	10.4	20.3	15.0	9.5	3.7	6.8
性別	男性	198	17.2	12.1	18.2	15.2	10.1	7.6	7.6
	女性	253	20.2	9.1	22.1	15.0	8.7	0.8	6.3
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		合計	仕事や学校が忙しく、時間がなかったから	子育てや家事等が忙しく、時間がなかったから	趣味等の活動が忙しく、時間がなかったから	費用負担が伴いそうだったから	健康状態や体調に不安があったから	一緒に参加する知人や友人がいなかったから	参加したい地域活動がなかったから	地域活動に関心がなかったから
単位：％ ※合計は「件」										
全体		454	35.2	15.4	7.3	2.6	14.3	21.4	11.9	10.4
年齢	20歳代	16	56.3	6.3	6.3	12.5	6.3	25.0	6.3	6.3
	30歳代	41	48.8	39.0	4.9	4.9	2.4	22.0	9.8	17.1
	40歳代	71	50.7	35.2	4.2	2.8	7.0	23.9	21.1	9.9
	50歳代	68	54.4	19.1	5.9	4.4	4.4	36.8	16.2	11.8
	60歳代	78	43.6	10.3	10.3	0.0	10.3	19.2	6.4	10.3
	70歳代	116	18.1	5.2	8.6	2.6	19.8	13.8	10.3	8.6
	80歳以上	62	3.2	1.6	8.1	0.0	38.7	17.7	9.7	9.7
居住地区	高砂地区	51	29.4	13.7	5.9	2.0	21.6	11.8	5.9	5.9
	荒井地区	72	30.6	19.4	5.6	2.8	12.5	26.4	12.5	9.7
	伊保地区	66	39.4	15.2	4.5	0.0	12.1	22.7	7.6	9.1
	中筋地区	20	20.0	10.0	0.0	5.0	15.0	35.0	20.0	15.0
	曾根地区	54	25.9	3.7	5.6	3.7	13.0	13.0	9.3	14.8
	米田地区	99	41.4	21.2	12.1	3.0	16.2	27.3	18.2	11.1
	阿弥陀地区	58	43.1	12.1	10.3	1.7	6.9	17.2	12.1	10.3
	北浜地区	28	42.9	25.0	7.1	7.1	21.4	21.4	10.7	7.1

		合計	いつ、どんな活動をしているか分からなかったから	人との関わりを好まなかったから	コロナの感染が心配だから	コロナの影響で活動が縮小・中止になったから	特に理由はない	参加しにくいと感じたことはない	不明・無回答
単位：％ ※合計は「件」									
全体		454	18.7	10.4	20.3	15.0	9.5	3.7	6.8
年齢	20歳代	16	25.0	18.8	12.5	6.3	25.0	6.3	0.0
	30歳代	41	26.8	7.3	24.4	26.8	9.8	4.9	0.0
	40歳代	71	21.1	12.7	16.9	19.7	9.9	1.4	1.4
	50歳代	68	22.1	11.8	22.1	10.3	5.9	0.0	1.5
	60歳代	78	19.2	15.4	20.5	12.8	6.4	6.4	6.4
	70歳代	116	16.4	7.8	21.6	16.4	9.5	5.2	12.1
	80歳以上	62	9.7	4.8	19.4	9.7	11.3	3.2	16.1
居住地区	高砂地区	51	19.6	7.8	23.5	19.6	11.8	3.9	7.8
	荒井地区	72	19.4	6.9	27.8	12.5	8.3	5.6	5.6
	伊保地区	66	16.7	7.6	18.2	19.7	9.1	4.5	6.1
	中筋地区	20	20.0	15.0	20.0	10.0	15.0	0.0	0.0
	曾根地区	54	22.2	14.8	14.8	13.0	11.1	0.0	11.1
	米田地区	99	22.2	9.1	22.2	15.2	6.1	3.0	5.1
	阿弥陀地区	58	17.2	12.1	15.5	12.1	10.3	8.6	10.3
	北浜地区	28	7.1	17.9	14.3	10.7	10.7	0.0	7.1

### 3-5 地域活動について、どのような活動形態であれば参加したいと思いますか。【あてはまるもの3つまでに〇】

■ どのような活動形態であれば地域活動に参加したいと思うかについては、「誰でも受け入れてもらえる雰囲気がある」が49.1%で最も多く、「短い時間などでも、自由に参加できる」(42.7%)、「気の合う仲間と気軽に参加できる」(26.7%)がつづいています。

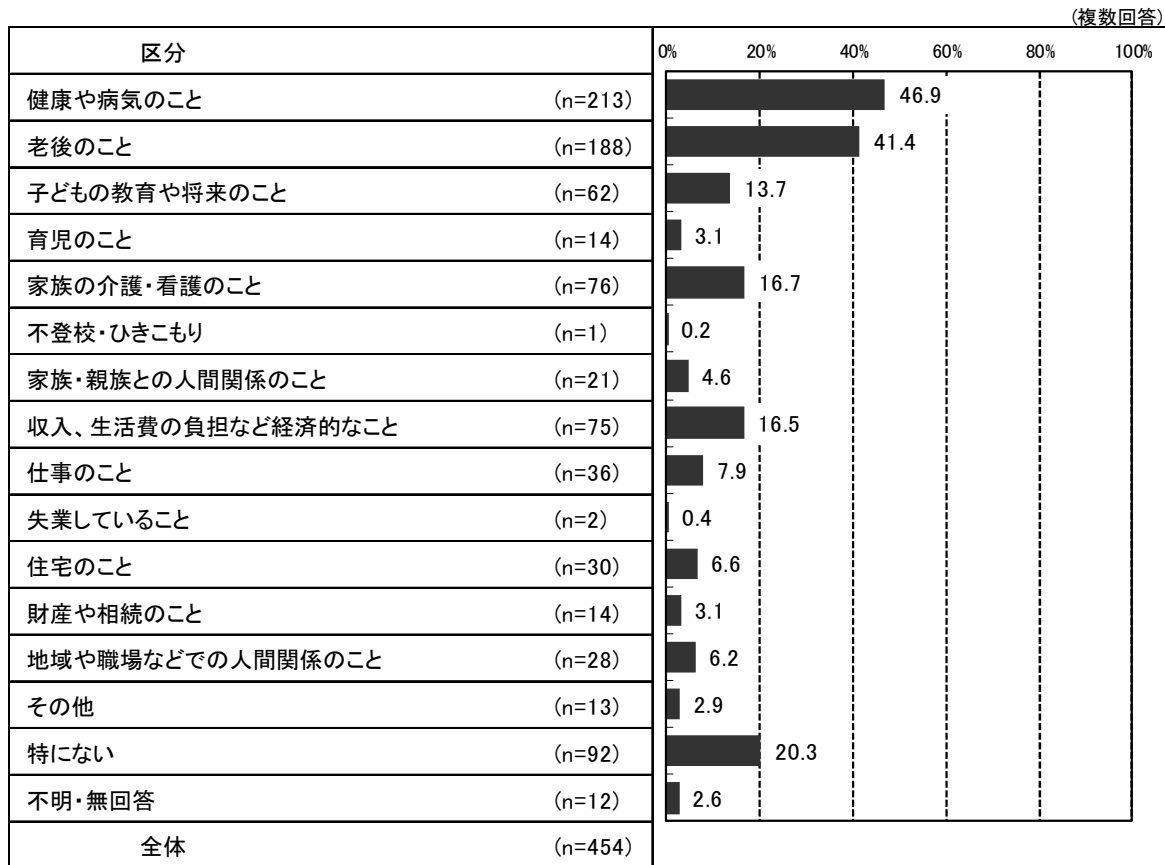


	合計	誰でも受け入れてもらえる雰囲気がある	気の合う仲間と気軽に参加できる	短い時間などでも、自由に参加できる	会費などの負担なく参加できる	多少(実費程度)の収入が得られる	自分の知識・技術が生かせる	自分の意見が反映できる	活動の拠点や交流場所が確保できる	他の地域や他の団体と交流・連携できる	活動状況などがインターネットなどでわかる	その他	不明・無回答
		49.1	26.7	42.7	23.3	5.3	5.7	2.6	5.1	2.4	9.7	7.9	10.1
全体	454	49.1	26.7	42.7	23.3	5.3	5.7	2.6	5.1	2.4	9.7	7.9	10.1
性別	男性	198	52.5	25.8	38.4	22.2	6.1	9.6	4.5	6.6	4.5	9.1	7.1
	女性	253	46.2	27.7	46.6	24.1	4.7	2.8	1.2	4.0	0.8	10.3	12.3
	その他	1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	75.0	31.3	25.0	43.8	6.3	18.8	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0
	30歳代	41	48.8	31.7	53.7	34.1	14.6	2.4	2.4	2.4	29.3	2.4	0.0
	40歳代	71	56.3	25.4	47.9	36.6	14.1	4.2	1.4	5.6	0.0	15.5	1.4
	50歳代	68	41.2	26.5	48.5	33.8	4.4	4.4	1.5	2.9	0.0	8.8	10.3
	60歳代	78	50.0	23.1	42.3	19.2	1.3	6.4	6.4	6.4	3.8	12.8	5.1
	70歳代	116	47.4	21.6	38.8	12.9	2.6	6.9	0.9	7.8	3.4	2.6	10.3
	80歳以上	62	45.2	38.7	37.1	9.7	0.0	4.8	4.8	3.2	3.2	1.6	14.5
居住地	高砂地区	51	41.2	31.4	31.4	23.5	7.8	11.8	5.9	3.9	3.9	13.7	15.7
	荒井地区	72	54.2	33.3	58.3	27.8	4.2	5.6	1.4	2.8	1.4	12.5	1.4
	伊保地区	66	47.0	28.8	45.5	34.8	6.1	7.6	1.5	1.5	4.5	10.6	10.6
	中筋地区	20	55.0	30.0	30.0	25.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	5.0
	曾根地区	54	59.3	24.1	29.6	14.8	1.9	1.9	3.7	5.6	3.7	5.6	16.7
	米田地区	99	38.4	25.3	49.5	21.2	4.0	4.0	4.0	9.1	2.0	13.1	13.1
	阿弥陀地区	58	51.7	22.4	48.3	15.5	1.7	3.4	0.0	8.6	1.7	12.1	5.2
	北浜地区	28	64.3	14.3	21.4	28.6	21.4	10.7	3.6	3.6	0.0	7.1	7.1

#### 4. 日常生活での不安・困りごと、情報入手などについて

##### 4-1 最近、生活で不安なこと、困っていることはありますか。【あてはまるもの3つまでに○】

■ 最近、不安なこと、困っていることについては、「健康や病気のこと」が 46.9%で最も多く、「老後のこと」(41.4%)、「特にない」(20.3%)がつづいています。



		合計	健康や病気のこと	老後のこと	子どもの教育や将来のこと	育児のこと	家族の介護・看護のこと	不登校・ひきこもり	家族・親族との人間関係のこと	収入、生活費の負担など経済的なこと
単位：% ※合計は「件」										
全体		454	46.9	41.4	13.7	3.1	16.7	0.2	4.6	16.5
性別	男性	198	49.0	43.4	11.6	2.5	16.2	0.5	6.6	21.2
	女性	253	44.7	39.5	15.4	3.6	17.4	0.0	3.2	13.0
	その他	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

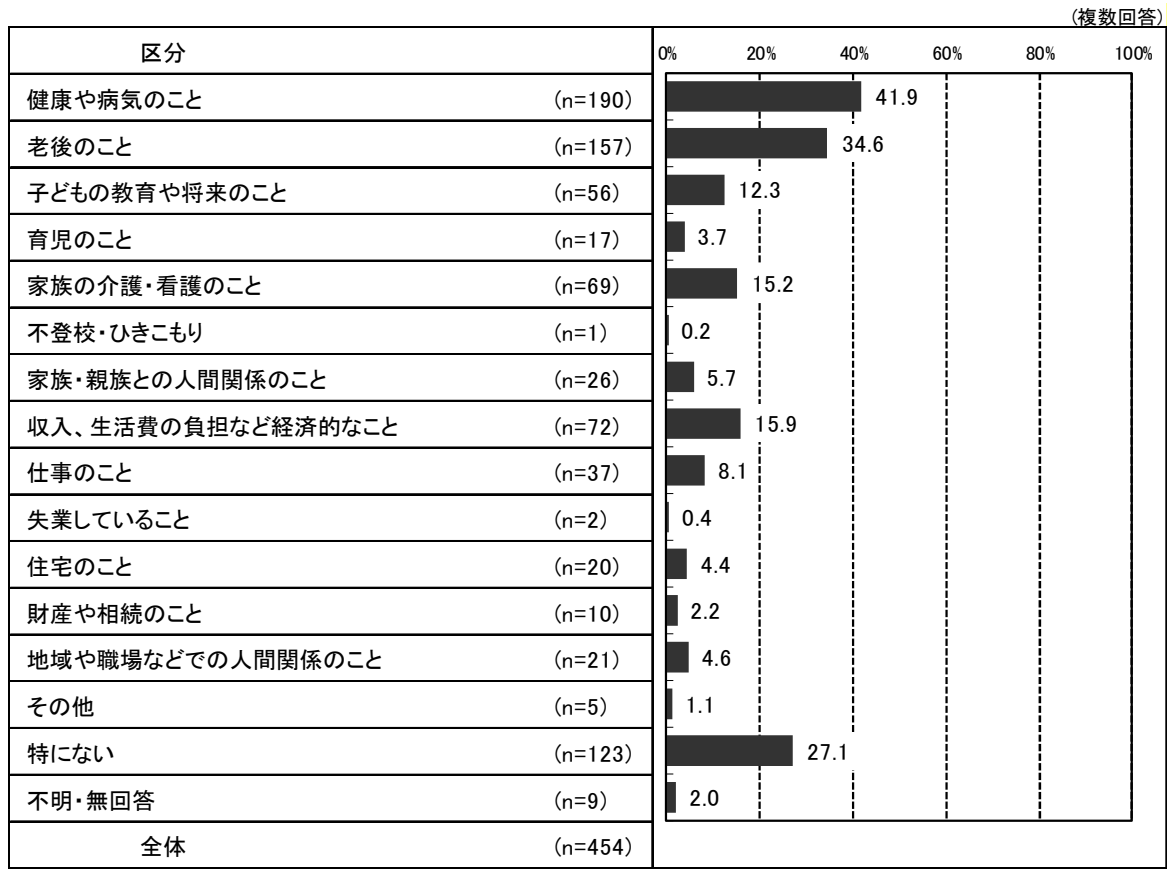
		合計	仕事のこと	失業していること	住宅のこと	財産や相続のこと	地域や職場などでの人間関係のこと	その他	特にない	不明・無回答
単位：% ※合計は「件」										
全体		454	7.9	0.4	6.6	3.1	6.2	2.9	20.3	2.6
性別	男性	198	11.6	0.0	6.6	4.5	7.6	4.0	16.2	2.5
	女性	253	5.1	0.8	6.7	2.0	4.7	2.0	23.7	2.8
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		合計	健康や病気の こと	老後のこと	子どもの教育 や将来のこと	育児のこと	家族の介護・ 看護のこと	不登校・ ひきこもり	家族・親族との 人間関係の こと	収入、生活費 の負担など 経済的なこと
単位：％ ※合計は「件」										
全体		454	46.9	41.4	13.7	3.1	16.7	0.2	4.6	16.5
年齢	20歳代	16	6.3	6.3	18.8	12.5	12.5	0.0	0.0	31.3
	30歳代	41	31.7	9.8	43.9	19.5	4.9	0.0	7.3	26.8
	40歳代	71	43.7	42.3	36.6	5.6	23.9	0.0	7.0	15.5
	50歳代	68	41.2	52.9	13.2	0.0	27.9	0.0	5.9	29.4
	60歳代	78	41.0	48.7	7.7	0.0	11.5	1.3	2.6	11.5
	70歳代	116	55.2	43.1	0.0	0.0	9.5	0.0	2.6	14.7
	80歳以上	62	67.7	45.2	0.0	0.0	25.8	0.0	6.5	3.2
居住地区	高砂地区	51	41.2	37.3	9.8	0.0	15.7	2.0	3.9	19.6
	荒井地区	72	55.6	33.3	9.7	8.3	15.3	0.0	5.6	19.4
	伊保地区	66	43.9	37.9	16.7	1.5	12.1	0.0	3.0	18.2
	中筋地区	20	65.0	40.0	15.0	0.0	20.0	0.0	0.0	5.0
	曾根地区	54	50.0	53.7	7.4	1.9	25.9	0.0	1.9	16.7
	米田地区	99	43.4	40.4	18.2	4.0	12.1	0.0	5.1	18.2
	阿弥陀地区	58	37.9	43.1	12.1	3.4	17.2	0.0	6.9	12.1
	北浜地区	28	50.0	57.1	25.0	0.0	32.1	0.0	10.7	10.7

		合計	仕事のこと	失業して いること	住宅のこと	財産や相続の こと	地域や職場 などでの人間 関係のこと	その他	特にな い	不明・無回 答
単位：％ ※合計は「件」										
全体		454	7.9	0.4	6.6	3.1	6.2	2.9	20.3	2.6
年齢	20歳代	16	37.5	0.0	6.3	6.3	6.3	0.0	37.5	0.0
	30歳代	41	17.1	0.0	7.3	4.9	9.8	9.8	14.6	2.4
	40歳代	71	11.3	0.0	9.9	2.8	9.9	1.4	15.5	0.0
	50歳代	68	16.2	2.9	10.3	1.5	7.4	2.9	17.6	0.0
	60歳代	78	2.6	0.0	3.8	2.6	3.8	1.3	30.8	1.3
	70歳代	116	1.7	0.0	5.2	3.4	4.3	2.6	22.4	6.0
	80歳以上	62	0.0	0.0	4.8	3.2	3.2	3.2	11.3	4.8
居住地区	高砂地区	51	15.7	0.0	5.9	3.9	0.0	5.9	27.5	0.0
	荒井地区	72	4.2	0.0	2.8	1.4	4.2	2.8	25.0	1.4
	伊保地区	66	7.6	3.0	7.6	4.5	7.6	4.5	19.7	6.1
	中筋地区	20	15.0	0.0	5.0	5.0	10.0	5.0	15.0	0.0
	曾根地区	54	7.4	0.0	7.4	0.0	0.0	1.9	18.5	1.9
	米田地区	99	7.1	0.0	9.1	2.0	11.1	2.0	17.2	3.0
	阿弥陀地区	58	6.9	0.0	6.9	3.4	5.2	1.7	24.1	1.7
	北浜地区	28	7.1	0.0	7.1	10.7	10.7	0.0	7.1	3.6

4-2 新型コロナウイルス感染症の影響が広がる前（令和2年2月以前）に、生活で不安なこと、困っていることはありましたか。【あてはまるもの3つまでに○】

■ 新型コロナウイルス感染症の影響が広がる前の生活で、不安だったこと、困ったことについては、「健康や病気のこと」が41.9%で最も多く、「老後のこと」（34.6%）、「特にない」（27.1%）がつづいています。



		合計	健康や病気のこと	老後のこと	子どもの教育や将来のこと	育児のこと	家族の介護・看護のこと	不登校・ひきこもり	家族・親族との人間関係のこと	収入、生活費の負担など経済的なこと
単位：% ※合計は「件」										
全体		454	41.9	34.6	12.3	3.7	15.2	0.2	5.7	15.9
性別	男性	198	45.5	34.3	11.1	2.0	16.2	0.5	6.1	22.2
	女性	253	38.7	34.8	13.4	5.1	14.6	0.0	5.5	11.1
	その他	1	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		合計	仕事のこと	失業していること	住宅のこと	財産や相続のこと	地域や職場などでの人間関係のこと	その他	特にない	不明・無回答
単位：% ※合計は「件」										
全体		454	8.1	0.4	4.4	2.2	4.6	1.1	27.1	2.0
性別	男性	198	10.6	0.5	3.0	3.5	6.6	2.0	22.7	1.5
	女性	253	6.3	0.4	5.1	1.2	2.8	0.4	30.4	2.4
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

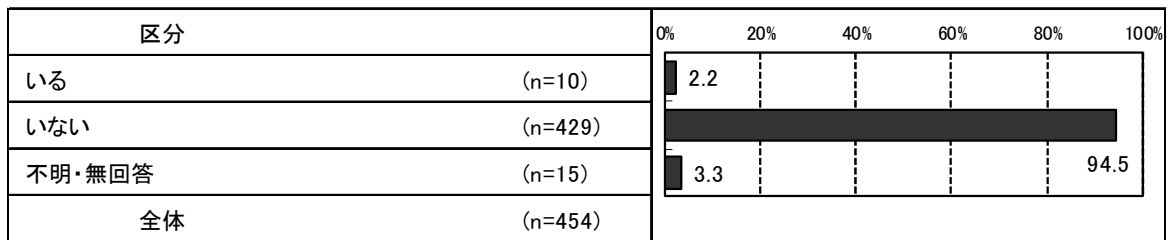
		合計	健康や病気の こと	老後のこと	子どもの教育 や将来のこと	育児のこと	家族の介護・看 護のこと	不登校・ひきこ もり	家族・親族との 人間関係のこ と	収入、生活費 の負担など経 済的なこと
単位：％ ※合計は「件」										
全体		454	41.9	34.6	12.3	3.7	15.2	0.2	5.7	15.9
年齢	20歳代	16	6.3	6.3	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	18.8
	30歳代	41	24.4	7.3	36.6	22.0	7.3	0.0	9.8	17.1
	40歳代	71	29.6	36.6	33.8	8.5	18.3	0.0	8.5	18.3
	50歳代	68	35.3	39.7	13.2	0.0	25.0	0.0	10.3	23.5
	60歳代	78	39.7	35.9	10.3	0.0	7.7	1.3	2.6	14.1
	70歳代	116	52.6	35.3	0.0	0.9	10.3	0.0	0.9	15.5
	80歳以上	62	66.1	50.0	0.0	0.0	27.4	0.0	9.7	6.5
居住地区	高砂地区	51	43.1	35.3	9.8	0.0	13.7	2.0	5.9	21.6
	荒井地区	72	40.3	26.4	9.7	9.7	15.3	0.0	4.2	15.3
	伊保地区	66	34.8	34.8	12.1	1.5	13.6	0.0	7.6	19.7
	中筋地区	20	50.0	30.0	15.0	5.0	25.0	0.0	0.0	15.0
	曾根地区	54	51.9	44.4	9.3	0.0	14.8	0.0	1.9	14.8
	米田地区	99	42.4	33.3	16.2	5.1	16.2	0.0	8.1	16.2
	阿弥陀地区	58	34.5	31.0	10.3	3.4	13.8	0.0	8.6	12.1
	北浜地区	28	42.9	50.0	21.4	3.6	17.9	0.0	3.6	7.1

		合計	仕事のこと	失業している こと	住宅のこと	財産や相続の こと	地域や職場な どでの人間関 係のこと	その他	特にな い	不明・無回 答
単位：％ ※合計は「件」										
全体		454	8.1	0.4	4.4	2.2	4.6	1.1	27.1	2.0
年齢	20歳代	16	25.0	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	56.3	0.0
	30歳代	41	22.0	0.0	2.4	2.4	9.8	2.4	31.7	0.0
	40歳代	71	11.3	0.0	7.0	1.4	5.6	1.4	21.1	0.0
	50歳代	68	10.3	1.5	7.4	2.9	5.9	0.0	23.5	1.5
	60歳代	78	6.4	1.3	2.6	1.3	1.3	0.0	37.2	1.3
	70歳代	116	3.4	0.0	2.6	1.7	5.2	0.9	28.4	5.2
	80歳以上	62	0.0	0.0	4.8	3.2	1.6	3.2	11.3	1.6
居住地区	高砂地区	51	11.8	0.0	2.0	2.0	0.0	2.0	35.3	0.0
	荒井地区	72	5.6	0.0	2.8	0.0	1.4	0.0	37.5	1.4
	伊保地区	66	4.5	1.5	6.1	1.5	9.1	1.5	22.7	4.5
	中筋地区	20	10.0	0.0	5.0	5.0	5.0	0.0	20.0	0.0
	曾根地区	54	9.3	0.0	5.6	1.9	0.0	1.9	22.2	0.0
	米田地区	99	10.1	1.0	4.0	2.0	7.1	2.0	21.2	2.0
	阿弥陀地区	58	6.9	0.0	3.4	1.7	1.7	0.0	34.5	3.4
	北浜地区	28	10.7	0.0	10.7	10.7	10.7	0.0	14.3	3.6



4-3 あなたもしくは同居するご家族で、自宅に社会的ひきこもりの状態にある人はいますか。【○は1つだけ】

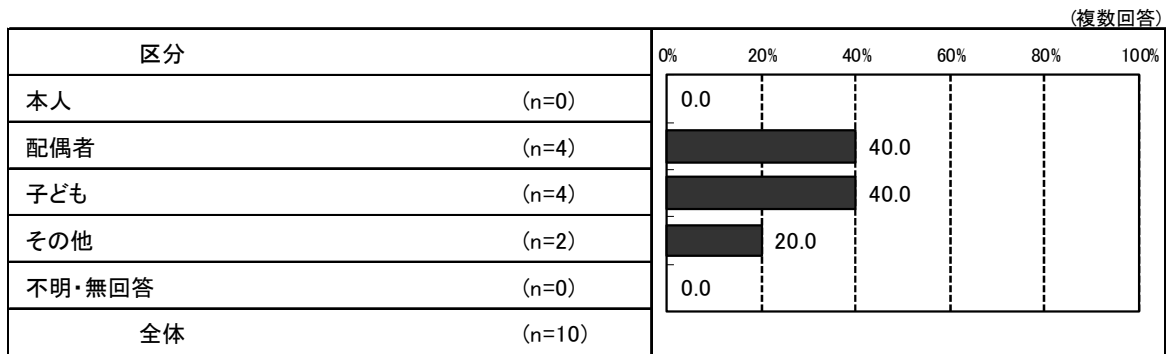
■ 自宅に社会的ひきこもりの状態にある人がいるかについては、「いない」が94.5%、「いる」が2.2%となっています。



単位: % ※合計は「件」		合計	いる	いない	不明・無回答
全体		454	2.2	94.5	3.3
性別	男性	198	2.0	93.9	4.0
	女性	253	2.4	94.9	2.8
	その他	1	0.0	100.0	0.0
年齢	20歳代	16	0.0	100.0	0.0
	30歳代	41	0.0	100.0	0.0
	40歳代	71	0.0	97.2	2.8
	50歳代	68	0.0	100.0	0.0
	60歳代	78	2.6	96.2	1.3
	70歳代	116	5.2	90.5	4.3
	80歳以上	62	3.2	85.5	11.3
居住地区	高砂地区	51	3.9	90.2	5.9
	荒井地区	72	1.4	98.6	0.0
	伊保地区	66	4.5	90.9	4.5
	中筋地区	20	5.0	95.0	0.0
	曾根地区	54	0.0	96.3	3.7
	米田地区	99	0.0	96.0	4.0
	阿弥陀地区	58	1.7	93.1	5.2
	北浜地区	28	3.6	96.4	0.0

4-4 4-3で「1. いる」と回答した方におうかがいします。社会的ひきこもりの状態にあるのは、どのような方ですか。記載できる範囲でお答えください。【あてはまるものすべてに○】

■ 社会的ひきこもりの状態にあるのは、どのような人かについては、「配偶者」と「子ども」が、ともに40.0%で最も多く、「その他」(20.0%)がつづいています。



配偶者

①性別

■ 社会的ひきこもりの状態にある配偶者の性別については、「男性」が50.0%(2人)、「女性」が25.0%(1人)となっています。

②年齢

■ 社会的ひきこもりの状態にある配偶者の年齢については、「80歳以上」が50.0%(2人)で最も多く、「40歳代」(25.0%)(1人)がつづいています。

子ども

①性別

■ 社会的ひきこもりの状態にある子どもの性別については、「男性」が100.0%(4人)となっています。

②年齢

■ 社会的ひきこもりの状態にある子どもの年齢については、「20歳代」が50.0%(2人)で最も多く、「30歳代」と「40歳代」が、ともに25.0%(1人)でつづいています。

その他

①性別

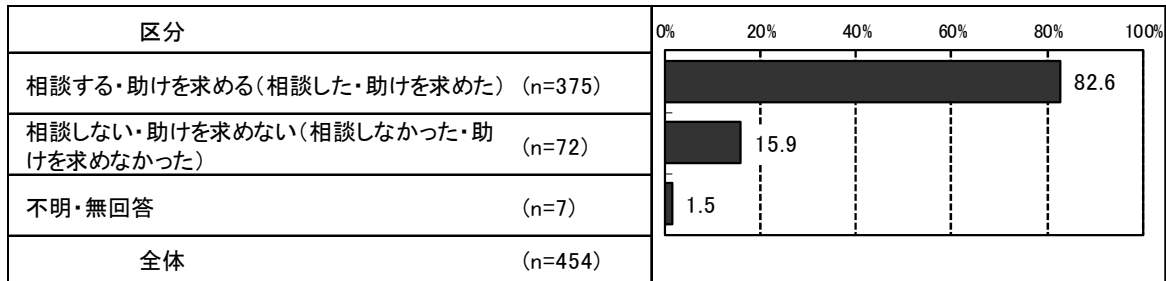
■ 社会的ひきこもりの状態にあるその他の人の性別については、「男性」が50.0%(1人)となっています。

②年齢

■ 社会的ひきこもりの状態にあるその他の人の年齢については、「50歳代」が50.0%(1人)となっています。

#### 4-5 生活で不安なこと、困っていることが起こったとき、あなたは、誰かに相談したり、助けを求めますか。【○は1つだけ】

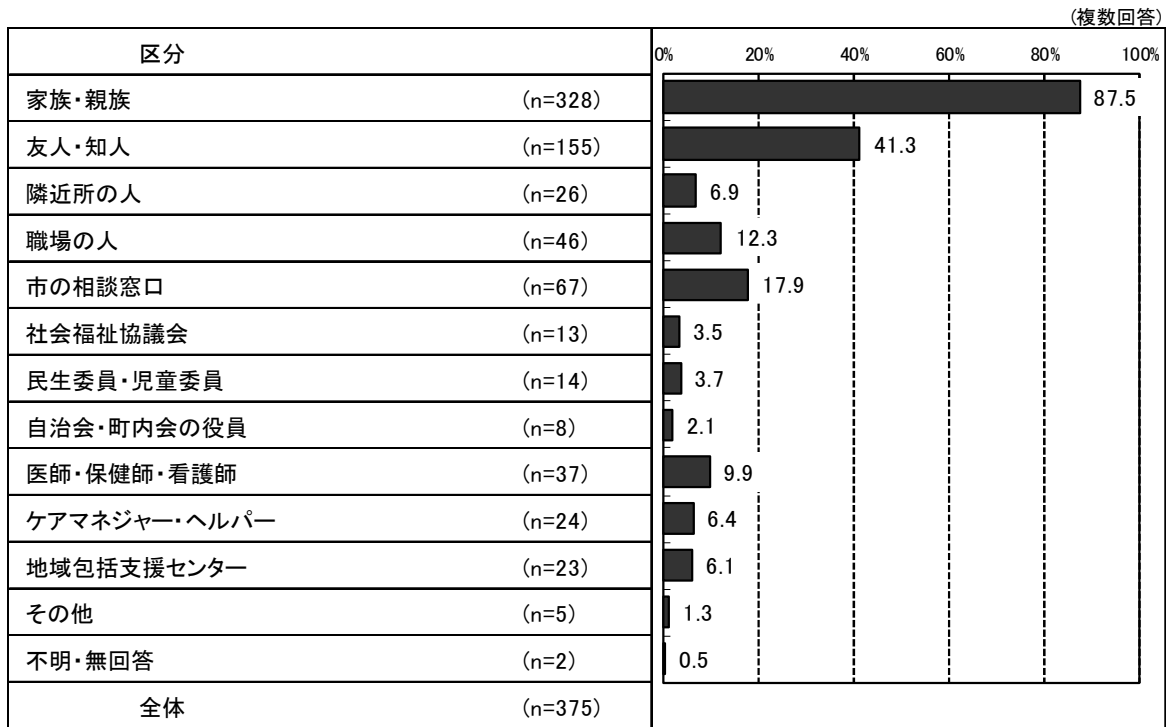
- 生活で不安や困りごとが起こったとき、誰かに相談したり、助けを求めるかについては、「相談する・助けを求める（相談した・助けを求めた）」が 82.6%、「相談しない・助けを求めない（相談しなかった・助けを求めなかった）」が 15.9%となっています。



		合計	相談する・助けを求める (相談した・助けを求めた)	相談しない・助けを求めない (相談しなかった・助けを求めなかった)	不明・無回答
単位: % ※合計は「件」					
全体		454	82.6	15.9	1.5
性別	男性	198	78.3	20.7	1.0
	女性	253	85.8	12.3	2.0
	その他	1	100.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	81.3	18.8	0.0
	30歳代	41	97.6	2.4	0.0
	40歳代	71	88.7	9.9	1.4
	50歳代	68	79.4	20.6	0.0
	60歳代	78	82.1	17.9	0.0
	70歳代	116	75.9	21.6	2.6
	80歳以上	62	82.3	12.9	4.8
居住地区	高砂地区	51	74.5	19.6	5.9
	荒井地区	72	93.1	4.2	2.8
	伊保地区	66	86.4	13.6	0.0
	中筋地区	20	75.0	25.0	0.0
	曾根地区	54	83.3	16.7	0.0
	米田地区	99	84.8	14.1	1.0
	阿弥陀地区	58	75.9	22.4	1.7
	北浜地区	28	71.4	28.6	0.0

4-6 4-5で「1. 相談する・助けを求める（相談した・助けを求めた）」と回答した方におうかがいします。その際の相談先はどこ・誰ですか。【あてはまるもの3つまでに○】

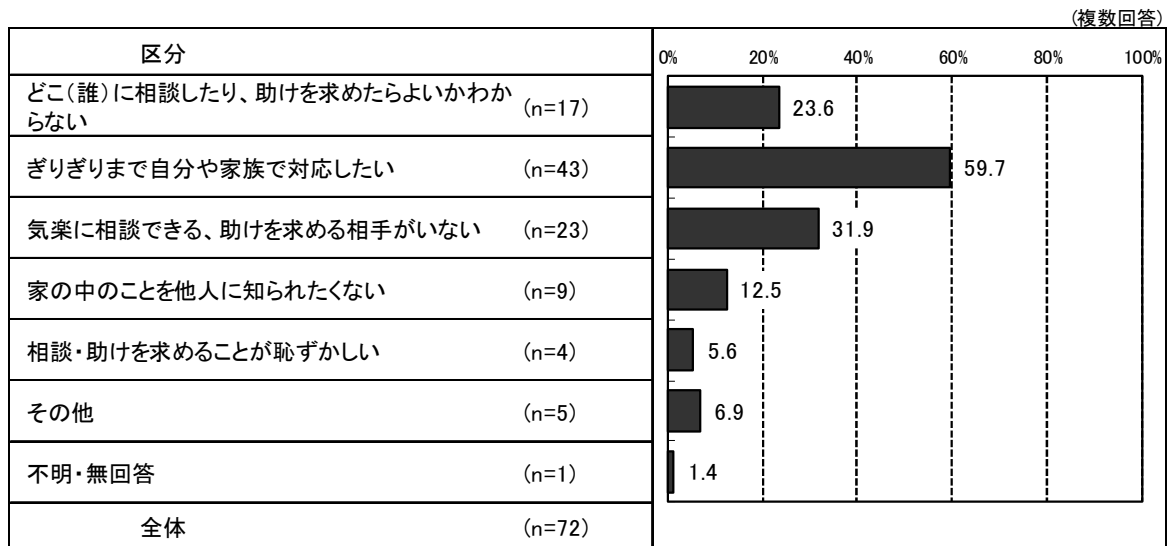
■ 相談する・助けを求めると回答した人について、その相談先をみると、「家族・親族」が87.5%で最も多く、「友人・知人」(41.3%)、「市の相談窓口」(17.9%)がつづいています。



		合計	家族・親族	友人・知人	隣近所の人	職場の人	市の相談窓口	社会福祉協議会	児童委員・民生委員	町内会の役員	自治会・自治会	医師・保健師・看護師	ヘルパー	ケアマネジャー・ヘルパー	地域包括支援センター	その他	不明・無回答
単位:% ※合計は「件」																	
全体		375	87.5	41.3	6.9	12.3	17.9	3.5	3.7	2.1	9.9	6.4	6.1	6.1	1.3	0.5	
性別	男性	155	83.9	32.9	7.7	12.9	19.4	4.5	5.2	3.2	11.6	4.5	5.2	5.2	1.9	0.0	
	女性	217	89.9	47.9	6.5	12.0	16.6	2.8	2.8	1.4	8.3	7.8	6.9	6.9	0.9	0.9	
	その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
年齢	20歳代	13	84.6	69.2	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	30歳代	40	95.0	62.5	7.5	25.0	7.5	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	
	40歳代	63	92.1	63.5	6.3	30.2	17.5	0.0	1.6	0.0	12.7	1.6	1.6	1.6	3.2	0.0	
	50歳代	54	83.3	44.4	3.7	13.0	18.5	1.9	0.0	1.9	7.4	11.1	9.3	9.3	1.9	1.9	
	60歳代	64	89.1	42.2	6.3	10.9	25.0	1.6	4.7	0.0	6.3	6.3	4.7	4.7	0.0	1.6	
	70歳代	88	84.1	26.1	10.2	1.1	22.7	8.0	5.7	4.5	11.4	8.0	11.4	11.4	0.0	0.0	
	80歳以上	51	84.3	13.7	7.8	0.0	11.8	7.8	9.8	5.9	13.7	11.8	7.8	7.8	0.0	0.0	
居住地区	高砂地区	38	86.8	42.1	10.5	10.5	10.5	5.3	2.6	5.3	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	
	荒井地区	67	91.0	46.3	7.5	14.9	19.4	3.0	3.0	1.5	13.4	6.0	1.5	1.5	1.5	0.0	
	伊保地区	57	86.0	35.1	5.3	7.0	19.3	7.0	1.8	0.0	5.3	5.3	8.8	8.8	1.8	0.0	
	中筋地区	15	93.3	53.3	20.0	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	曾根地区	45	82.2	37.8	4.4	8.9	15.6	2.2	2.2	2.2	17.8	11.1	8.9	8.9	0.0	2.2	
	米田地区	84	89.3	47.6	7.1	20.2	23.8	2.4	2.4	2.4	10.7	4.8	8.3	8.3	1.2	0.0	
	阿弥陀地区	44	86.4	29.5	4.5	9.1	11.4	0.0	9.1	4.5	6.8	13.6	4.5	4.5	0.0	0.0	
	北浜地区	20	80.0	50.0	5.0	15.0	20.0	10.0	5.0	0.0	10.0	5.0	5.0	5.0	5.0	0.0	

4-7 4-5で「2. 相談しない・助けを求めない（相談しなかった・助けを求めなかった）」と回答した方におうかがいします。その理由は何ですか。【あてはまるもの2つまでに○】

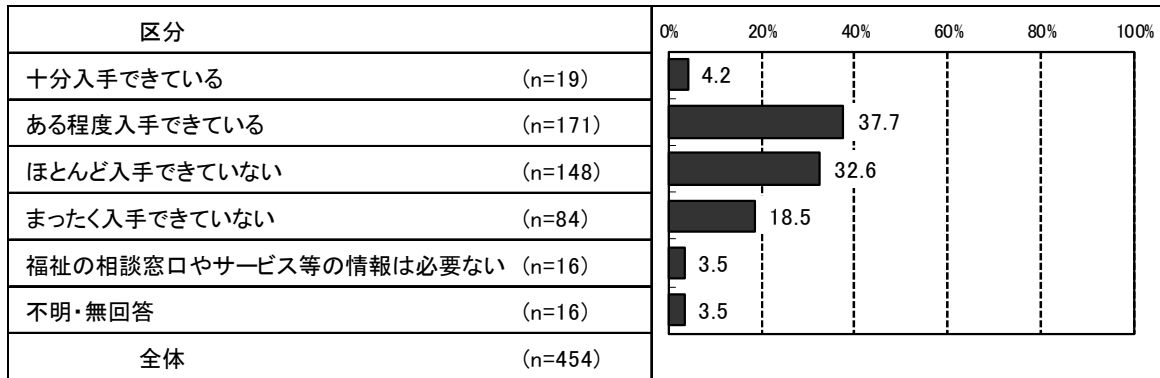
■ 相談しない・助けを求めないと回答した人について、その理由をみると、「ぎりぎりまで自分や家族で対応したい」が59.7%で最も多く、「気楽に相談できる、助けを求める相手がいない」(31.9%)、「どこ(誰)に相談したり、助けを求めたらよいかわからない」(23.6%)がつづいています。



4-8 あなたは、福祉の相談窓口や福祉サービスなどに関する情報を、十分入手できていますか。

【○は1つだけ】

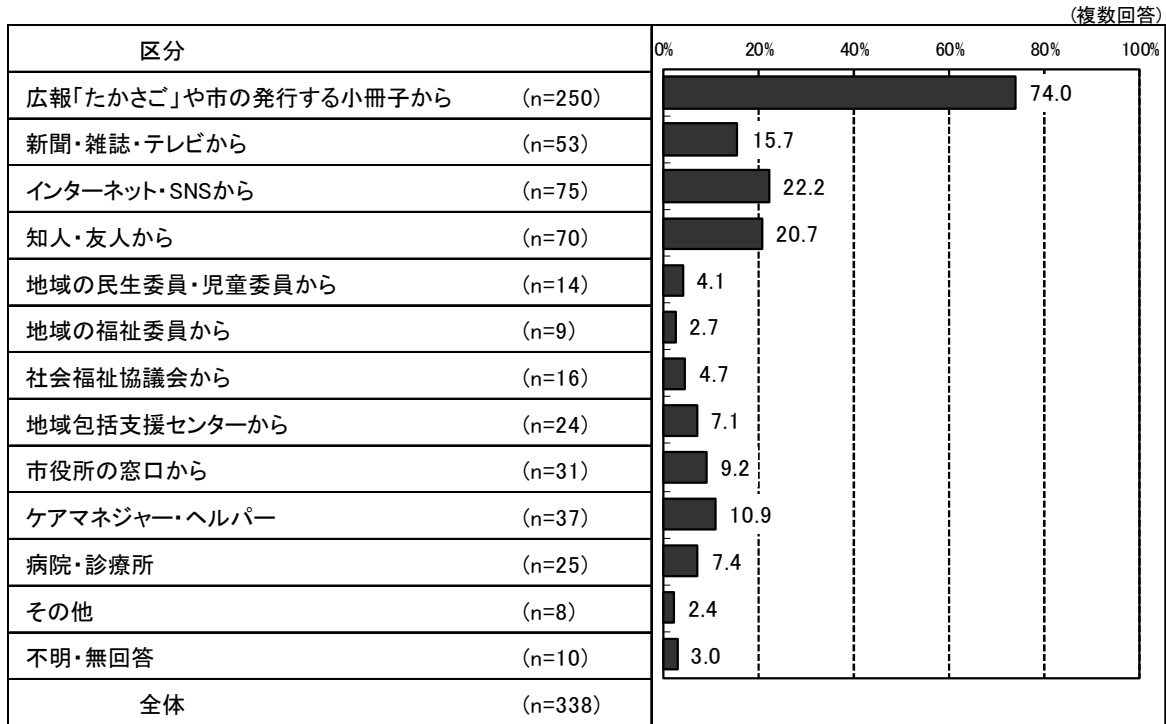
- 福祉の相談窓口や福祉サービスなどに関する情報を、十分入手できているかについては、「ある程度入手できている」が37.7%で最も多く、「ほとんど入手できていない」(32.6%)、「まったく入手できていない」(18.5%)がづづいています。



		合計	十分入手できている	ある程度入手できている	ほとんど入手できていない	まったく入手できていない	福祉の相談窓口やサービス等の情報は必要ない	不明・無回答
単位: % ※合計は「件」								
全体		454	4.2	37.7	32.6	18.5	3.5	3.5
性別	男性	198	4.5	33.3	33.3	21.7	4.0	3.0
	女性	253	4.0	41.1	31.6	16.2	3.2	4.0
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	0.0	31.3	6.3	56.3	6.3	0.0
	30歳代	41	4.9	29.3	36.6	19.5	9.8	0.0
	40歳代	71	1.4	33.8	32.4	25.4	4.2	2.8
	50歳代	68	2.9	27.9	38.2	30.9	0.0	0.0
	60歳代	78	5.1	37.2	35.9	12.8	7.7	1.3
	70歳代	116	6.9	45.7	28.4	11.2	0.9	6.9
	80歳以上	62	3.2	46.8	32.3	8.1	1.6	8.1
居住地区	高砂地区	51	3.9	49.0	27.5	13.7	2.0	3.9
	荒井地区	72	4.2	31.9	38.9	22.2	2.8	0.0
	伊保地区	66	6.1	40.9	27.3	21.2	1.5	3.0
	中筋地区	20	5.0	25.0	25.0	30.0	5.0	10.0
	曾根地区	54	7.4	29.6	40.7	14.8	3.7	3.7
	米田地区	99	2.0	38.4	28.3	21.2	4.0	6.1
	阿弥陀地区	58	3.4	36.2	37.9	12.1	6.9	3.4
	北浜地区	28	3.6	46.4	32.1	14.3	3.6	0.0

4-9 4-8で1~3と回答した方におうかがいします。あなたは、福祉の相談窓口や福祉サービスなどに関する情報をどのように入手していますか。【あてはまるものすべてに○】

■ 必要な情報を入手できている人について、どのように入手しているかをみると、「広報「たかさご」や市の発行する小冊子から」が74.0%で最も多く、「インターネット・SNSから」(22.2%)、「知人・友人から」(20.7%)がつづいています。



		合計	広報「たかさご」 や市の発行する 小冊子から	新聞・雑誌・ テレビから	インターネット・ SNSから	知人・友人から	地域の 民生委員・ 児童委員から	地域の福祉委員 から	社会福祉 協議会から
単位：％ ※合計は「件」									
全体		338	74.0	15.7	22.2	20.7	4.1	2.7	4.7
性別	男性	141	75.9	17.7	24.8	16.3	5.0	4.3	4.3
	女性	194	72.7	14.4	20.6	24.2	3.6	1.5	5.2
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		合計	地域包括支援 センターから	市役所の窓 口から	ケアマネジャー・ ヘルパー	病院・診療所	その他	不明・無回答
単位：％ ※合計は「件」								
全体		338	7.1	9.2	10.9	7.4	2.4	3.0
性別	男性	141	6.4	9.9	7.1	5.0	2.8	1.4
	女性	194	7.7	8.8	13.9	9.3	2.1	3.6
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

		合計	広報「たかさご」 や市の発行する 小冊子から	新聞・雑誌・ テレビから	インターネット・ SNSから	知人・友人から	地域の 民生委員・ 児童委員から	地域の福祉委員 から	社会福祉 協議会から
単位：％ ※合計は「件」									
全体		338	74.0	15.7	22.2	20.7	4.1	2.7	4.7
年齢	20歳代	6	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
	30歳代	29	82.8	0.0	37.9	10.3	0.0	0.0	3.4
	40歳代	48	72.9	16.7	41.7	20.8	0.0	0.0	0.0
	50歳代	47	76.6	10.6	31.9	21.3	0.0	0.0	4.3
	60歳代	61	85.2	23.0	23.0	27.9	1.6	0.0	3.3
	70歳代	94	72.3	18.1	13.8	19.1	8.5	6.4	8.5
	80歳以上	51	62.7	13.7	2.0	21.6	9.8	5.9	5.9
居住地区	高砂地区	41	70.7	22.0	9.8	14.6	9.8	4.9	4.9
	荒井地区	54	85.2	14.8	22.2	31.5	3.7	3.7	7.4
	伊保地区	49	69.4	12.2	32.7	24.5	4.1	4.1	6.1
	中筋地区	11	81.8	9.1	36.4	27.3	0.0	0.0	9.1
	曾根地区	42	73.8	21.4	23.8	26.2	2.4	0.0	4.8
	米田地区	68	79.4	13.2	17.6	16.2	1.5	2.9	1.5
	阿弥陀地区	45	71.1	17.8	28.9	15.6	6.7	0.0	4.4
	北浜地区	23	52.2	8.7	17.4	8.7	4.3	4.3	4.3

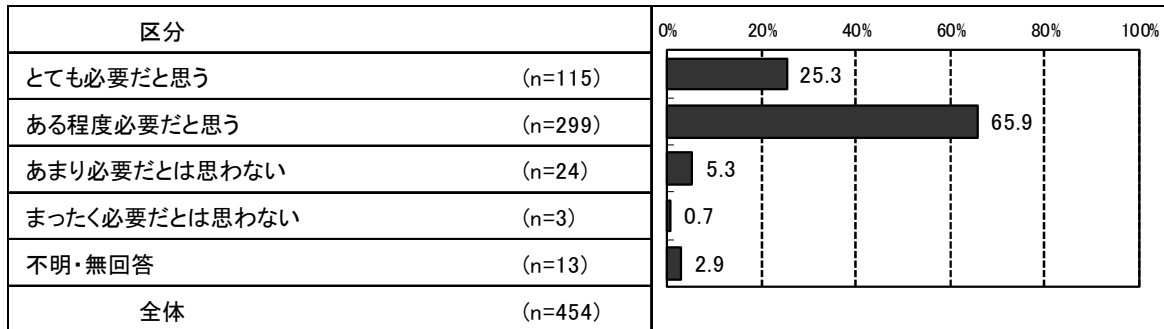
		合計	地域包括支援 センターから	市役所の窓 口から	ケアマネジャー・ ヘルパー	病院・診療所	その他	不明・無回答
単位：％ ※合計は「件」								
全体		338	7.1	9.2	10.9	7.4	2.4	3.0
年齢	20歳代	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	30歳代	29	3.4	6.9	0.0	3.4	0.0	3.4
	40歳代	48	6.3	4.2	6.3	8.3	2.1	4.2
	50歳代	47	2.1	6.4	17.0	8.5	6.4	0.0
	60歳代	61	4.9	11.5	3.3	4.9	0.0	3.3
	70歳代	94	9.6	14.9	11.7	7.4	1.1	2.1
	80歳以上	51	13.7	5.9	25.5	11.8	3.9	5.9
居住地区	高砂地区	41	7.3	0.0	12.2	7.3	0.0	0.0
	荒井地区	54	7.4	5.6	7.4	7.4	1.9	1.9
	伊保地区	49	10.2	16.3	10.2	12.2	4.1	4.1
	中筋地区	11	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	18.2
	曾根地区	42	7.1	9.5	9.5	2.4	2.4	2.4
	米田地区	68	5.9	11.8	14.7	7.4	1.5	0.0
	阿弥陀地区	45	2.2	6.7	8.9	8.9	4.4	2.2
	北浜地区	23	13.0	17.4	17.4	4.3	4.3	13.0



## 5. 地域福祉に関する意識、動向などについて

### 5-1 あなたは、「地域福祉」を進めていくうえで、住民相互の自主的な支え合いや助け合いが必要であると思いますか。【○は1つだけ】

- 地域福祉を進めていくうえで、住民相互の自主的な支え合いや助け合いが必要であると思うかについては、住民相互の自主的な支え合いや助け合いへの「ある程度必要だと思う」が65.9%で最も多く、「とても必要だと思う」(25.3%)、「あまり必要だとは思わない」(5.3%)がつづいています。

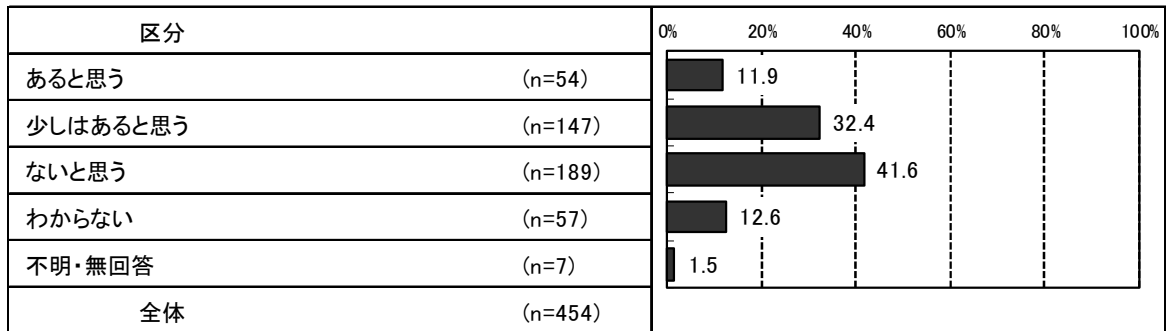


単位: % ※合計は「件」	合計	とても必要 だと思う	ある程度 必要だと思う	あまり必要 だとは思 わない	まったく必要 だとは思 わない	不明・無回答	
全体	454	25.3	65.9	5.3	0.7	2.9	
性別	男性	198	24.7	66.7	4.5	1.0	3.0
	女性	253	25.3	65.6	5.9	0.4	2.8
	その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	18.8	75.0	0.0	6.3	0.0
	30歳代	41	29.3	68.3	2.4	0.0	0.0
	40歳代	71	22.5	70.4	7.0	0.0	0.0
	50歳代	68	11.8	77.9	7.4	1.5	1.5
	60歳代	78	28.2	65.4	6.4	0.0	0.0
	70歳代	116	24.1	62.1	6.0	0.9	6.9
	80歳以上	62	40.3	51.6	1.6	0.0	6.5
居住地区	高砂地区	51	23.5	66.7	3.9	2.0	3.9
	荒井地区	72	31.9	63.9	2.8	1.4	0.0
	伊保地区	66	25.8	59.1	10.6	0.0	4.5
	中筋地区	20	25.0	60.0	10.0	0.0	5.0
	曾根地区	54	35.2	55.6	7.4	0.0	1.9
	米田地区	99	19.2	70.7	6.1	1.0	3.0
	阿弥陀地区	58	15.5	79.3	0.0	0.0	5.2
	北浜地区	28	35.7	64.3	0.0	0.0	0.0

5-2 あなたは、ふだんの生活の中で、高齢者や障がいのある人への差別や偏見があると思いますか。【①②それぞれで○は1つだけ】

①高齢者への差別・偏見

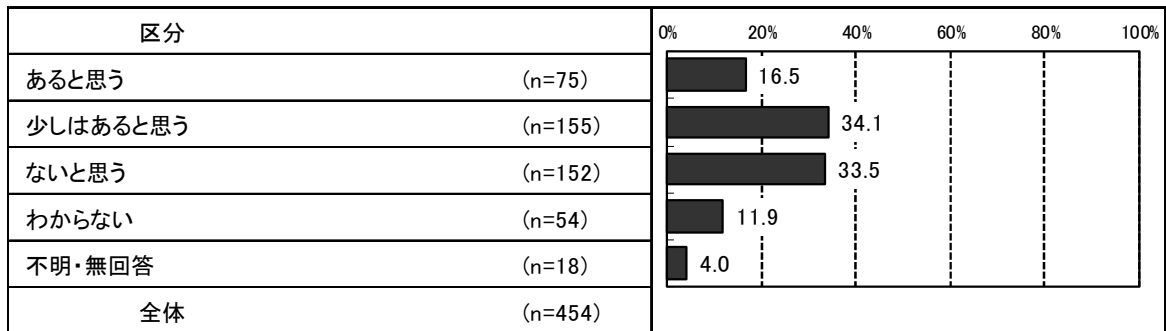
■ 高齢者への差別や偏見があると思うかについては、「ないと思う」が41.6%で最も多く、「少しはあると思う」(32.4%)、「わからない」(12.6%)がつづいており、高齢者への何らかの差別・偏見があると思う人(「あると思う」+「少しはあると思う」)は44.3%となっています。



単位:% ※合計は「件」		合計	あると思う	少しは あると思う	ないと思う	わからない	不明・無回答
全体		454	11.9	32.4	41.6	12.6	1.5
性別	男性	198	15.2	33.3	39.4	11.6	0.5
	女性	253	9.5	31.6	43.5	13.4	2.0
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	12.5	6.3	56.3	25.0	0.0
	30歳代	41	14.6	41.5	41.5	2.4	0.0
	40歳代	71	16.9	29.6	47.9	5.6	0.0
	50歳代	68	14.7	36.8	32.4	16.2	0.0
	60歳代	78	15.4	32.1	41.0	11.5	0.0
	70歳代	116	4.3	31.9	44.8	17.2	1.7
	80歳以上	62	11.3	33.9	35.5	12.9	6.5
居住地区	高砂地区	51	7.8	21.6	52.9	15.7	2.0
	荒井地区	72	13.9	25.0	52.8	8.3	0.0
	伊保地区	66	13.6	36.4	33.3	12.1	4.5
	中筋地区	20	10.0	45.0	30.0	10.0	5.0
	曾根地区	54	11.1	35.2	38.9	14.8	0.0
	米田地区	99	13.1	39.4	37.4	10.1	0.0
	阿弥陀地区	58	10.3	29.3	41.4	17.2	1.7
	北浜地区	28	14.3	35.7	32.1	17.9	0.0

## ②障がいのある人への差別・偏見

- 障がいのある人への差別や偏見があると思うかについては、「少しはあると思う」が34.1%で最も多く、「ないと思う」(33.5%)、「あると思う」(16.5%)がつづいており、障がいのある人への何らかの差別・偏見があると思う人(「あると思う」+「少しはあると思う」)は50.6%となっています。

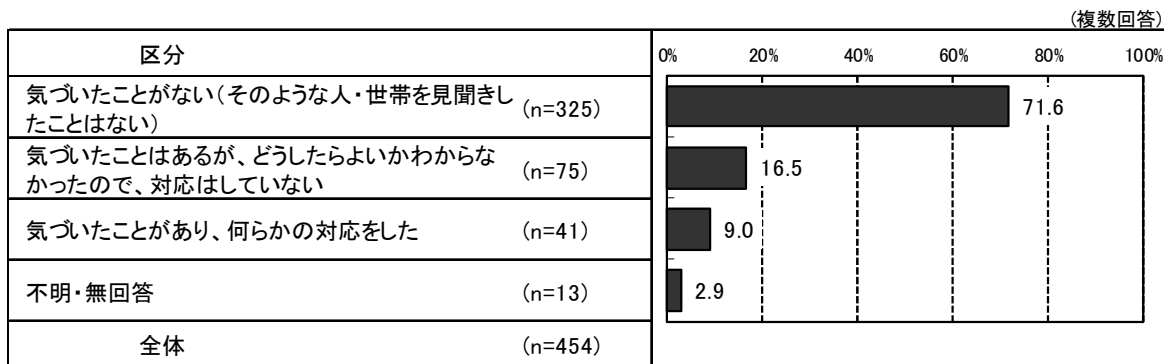


単位:% ※合計は「件」		合計	あると思う	少しは あると思う	ないと思う	わからない	不明・無回答
全体		454	16.5	34.1	33.5	11.9	4.0
性別	男性	198	19.2	34.8	31.3	10.1	4.5
	女性	253	14.6	33.6	35.2	13.4	3.2
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	18.8	37.5	31.3	12.5	0.0
	30歳代	41	26.8	43.9	24.4	4.9	0.0
	40歳代	71	18.3	39.4	35.2	7.0	0.0
	50歳代	68	23.5	33.8	29.4	13.2	0.0
	60歳代	78	19.2	29.5	37.2	11.5	2.6
	70歳代	116	9.5	29.3	40.5	13.8	6.9
	80歳以上	62	9.7	37.1	24.2	17.7	11.3
居住地区	高砂地区	51	15.7	19.6	47.1	13.7	3.9
	荒井地区	72	18.1	34.7	37.5	8.3	1.4
	伊保地区	66	19.7	36.4	25.8	12.1	6.1
	中筋地区	20	15.0	45.0	30.0	5.0	5.0
	曾根地区	54	20.4	33.3	24.1	16.7	5.6
	米田地区	99	16.2	41.4	30.3	11.1	1.0
	阿弥陀地区	58	8.6	32.8	39.7	13.8	5.2
	北浜地区	28	21.4	32.1	25.0	14.3	7.1

5-3 あなたは、地域で、複合的な課題を抱える世帯や社会的孤立状態にある人・世帯、生活困窮者・世帯、虐待など、支援が必要な人・世帯に気づいた場合、どのように対応していますか。

【あてはまるものすべてに○】

- 地域で支援が必要な人・世帯に気づいた場合の対応については、「気づいたことがない（そのような人・世帯を見聞きしたことはない）」が 71.6%で最も多く、「気づいたことはあるが、どうしたらよいかわからなかったので、対応はしていない」（16.5%）、「気づいたことがあり、何らかの対応をした」（9.0%）がつついています。

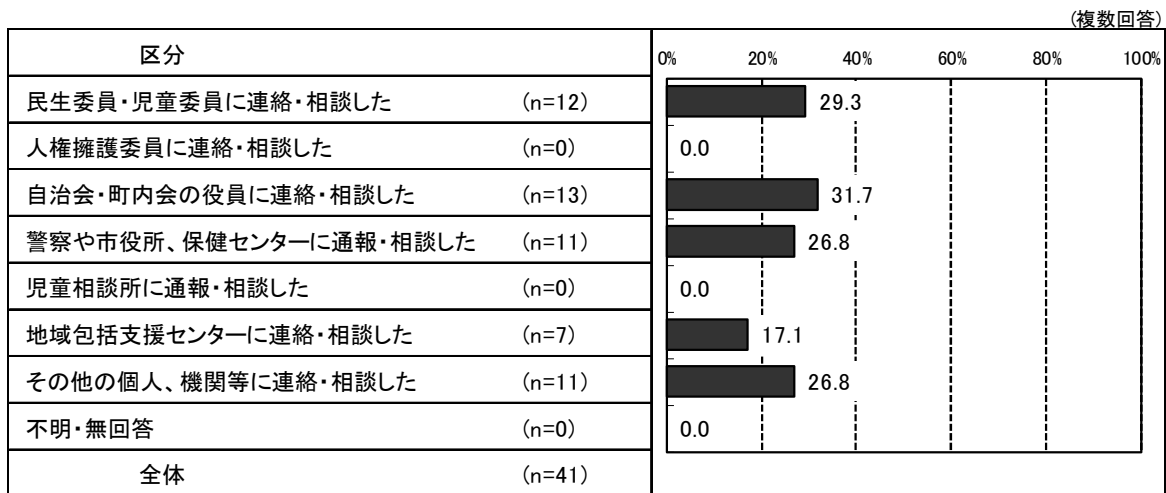


		合計	気づいたことがない(そのような人・世帯を見聞きしたことはない)	気づいたことはあるが、どうしたらよいかわからなかったので、対応はしていない	気づいたことがあり、何らかの対応をした	不明・無回答
単位: % ※合計は「件」						
全体		454	71.6	16.5	9.0	2.9
性別	男性	198	68.2	22.7	7.1	2.0
	女性	253	73.9	11.9	10.7	3.6
	その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	81.3	12.5	6.3	0.0
	30歳代	41	78.0	17.1	4.9	0.0
	40歳代	71	73.2	21.1	5.6	0.0
	50歳代	68	76.5	14.7	7.4	1.5
	60歳代	78	74.4	12.8	11.5	1.3
	70歳代	116	63.8	16.4	15.5	4.3
	80歳以上	62	67.7	19.4	3.2	9.7
居住地区	高砂地区	51	68.6	23.5	3.9	3.9
	荒井地区	72	80.6	9.7	9.7	0.0
	伊保地区	66	66.7	16.7	10.6	6.1
	中筋地区	20	85.0	10.0	0.0	5.0
	曾根地区	54	70.4	16.7	11.1	1.9
	米田地区	99	70.7	18.2	7.1	4.0
	阿弥陀地区	58	65.5	19.0	13.8	1.7
	北浜地区	28	67.9	17.9	14.3	0.0

5-4 5-3で「3. 気づいたことがあり、何らかの対応をした」と回答した方におうかがいします。

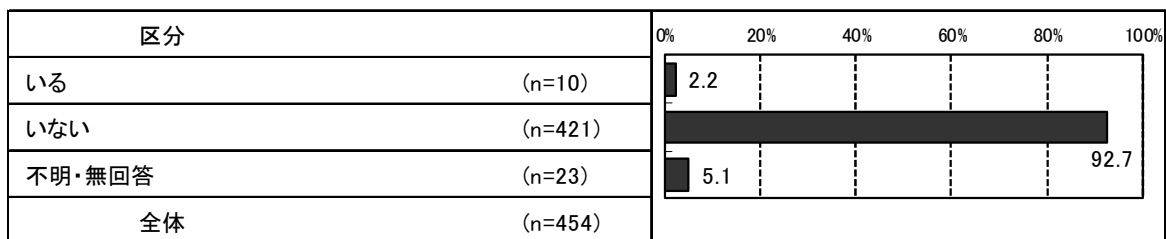
あなたは、どのように対応されましたか。【あてはまるものすべてに○】

- 支援が必要な人・世帯に気づいたことがあり、何らかの対応をした人について、どのように対応したかをみると、「自治会・町内会の役員に連絡・相談した」が31.7%で最も多く、「民生委員・児童委員に連絡・相談した」(29.3%)、「警察や市役所、保健センターに通報・相談した」と「その他の個人、機関等に連絡・相談した」が、ともに26.8%でつづいています。



5-5 あなたの周りに「ヤングケアラー」と思われる人はいますか。「ヤングケアラー」とは、本来大人がすると想定されているような家事、家族の世話などを日常的に行っている子ども（18歳未満の若者）のこと（例えば、5-6の②の選択肢に示すような内容を日常的に行っている子ども）をいいます。

- 「ヤングケアラー」と思われる人については、「いない」が92.7%、「いる」が2.2%となっています。

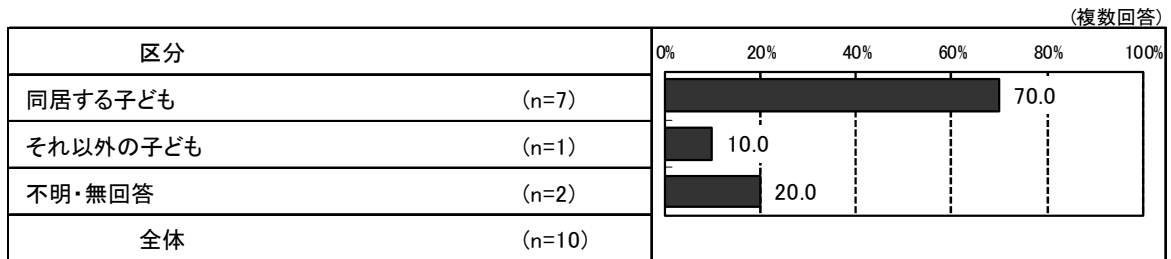


単位：% ※合計は「件」		合計	いる	いない	不明・無回答
全体		454	2.2	92.7	5.1
居住地区	高砂地区	51	0.0	94.1	5.9
	荒井地区	72	1.4	98.6	0.0
	伊保地区	66	6.1	86.4	7.6
	中筋地区	20	0.0	95.0	5.0
	曾根地区	54	3.7	90.7	5.6
	米田地区	99	3.0	92.9	4.0
	阿弥陀地区	58	0.0	89.7	10.3
	北浜地区	28	0.0	96.4	3.6

5-6 5-5で「1. いる」と回答した方におうかがいします。ヤングケアラーと思われる子どもの①属性と②状況は下記のうちどれですか。

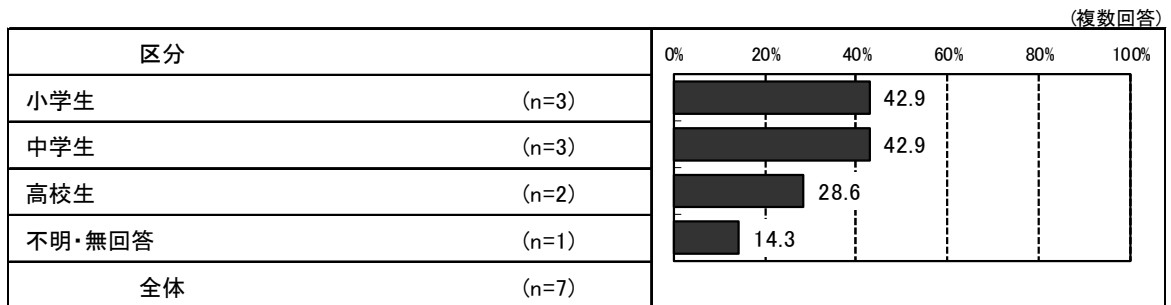
①属性【あてはまるものすべてに○】

- 「ヤングケアラー」と思われる人の属性については、「同居する子ども」が70.0%、「それ以外の子ども」が10.0%となっています。



同居する子ども属性

- 同居する子ども属性については、「小学生」と「中学生」が、ともに42.9%で最も多く、「高校生」(28.6%)がつづいています。

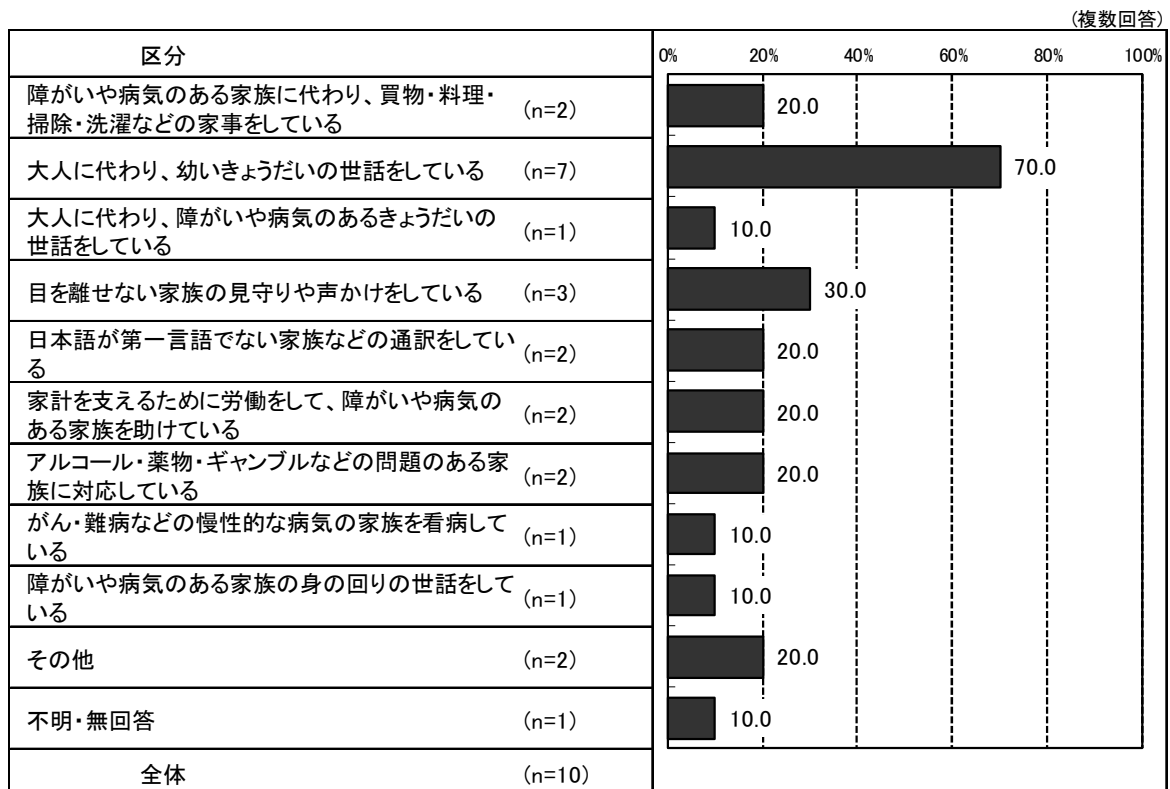


同居する子ども以外の子ども属性

- 同居する子ども以外の子ども属性については、「小学生」が100.0% (1人) となっています。

## ②状況【あてはまるものすべてに○】

- 「ヤングケアラー」と思われる人の状況については、「大人に代わり、幼いきょうだいの世話をしている」が70.0%で最も多く、「目を離せない家族の見守りや声かけをしている」(30.0%)、「障がいや病気のある家族に代わり、買物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている」や「日本語が第一言語でない家族などの通訳をしている」「家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている」と「アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している」「その他」が、ともに20.0%でつづいています。

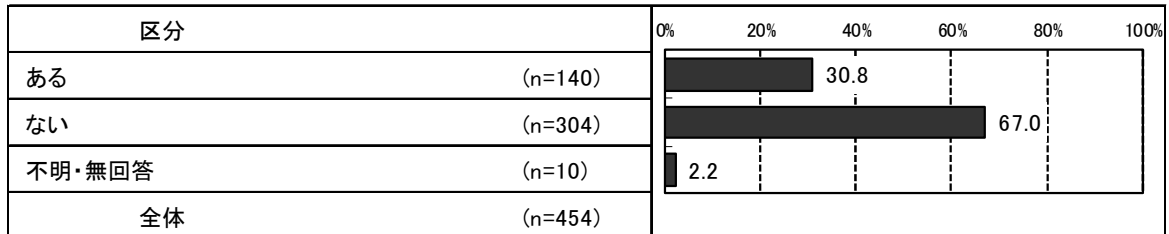


## 6. 災害時に向けた意識・行動などについて

6-1 あなたの防災に対する日頃からの取り組みや、災害などの緊急時の対応についてお教えてください。【①～⑤でそれぞれ○は1つだけ】

①地域における防災訓練や活動に参加したことがありますか。

■ 地域における防災訓練や活動に参加したことがあるかについては、「ない」が67.0%、「ある」が30.8%となっています。

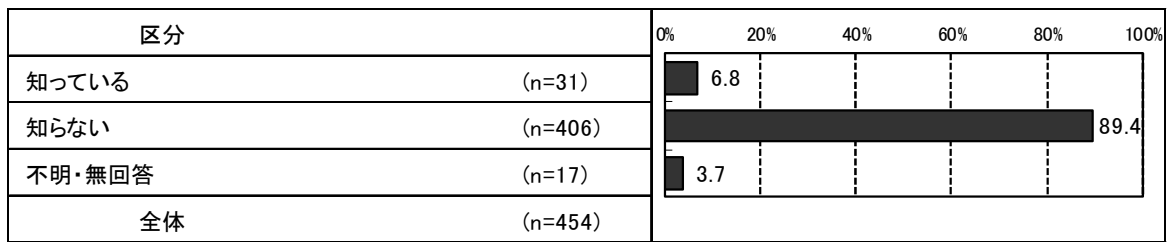


単位：％ ※合計は「件」		合計	ある	ない	不明・無回答
全体		454	30.8	67.0	2.2
性別	男性	198	32.8	65.2	2.0
	女性	253	29.6	68.0	2.4
	その他	1	0.0	100.0	0.0
年齢	20歳代	16	12.5	87.5	0.0
	30歳代	41	14.6	85.4	0.0
	40歳代	71	16.9	83.1	0.0
	50歳代	68	23.5	76.5	0.0
	60歳代	78	42.3	57.7	0.0
	70歳代	116	46.6	50.0	3.4
	80歳以上	62	27.4	62.9	9.7
居住地区	高砂地区	51	33.3	64.7	2.0
	荒井地区	72	26.4	73.6	0.0
	伊保地区	66	33.3	63.6	3.0
	中筋地区	20	10.0	85.0	5.0
	曾根地区	54	29.6	66.7	3.7
	米田地区	99	20.2	77.8	2.0
	阿弥陀地区	58	56.9	39.7	3.4
	北浜地区	28	35.7	64.3	0.0



②高砂市避難行動要支援者名簿を知っていますか。

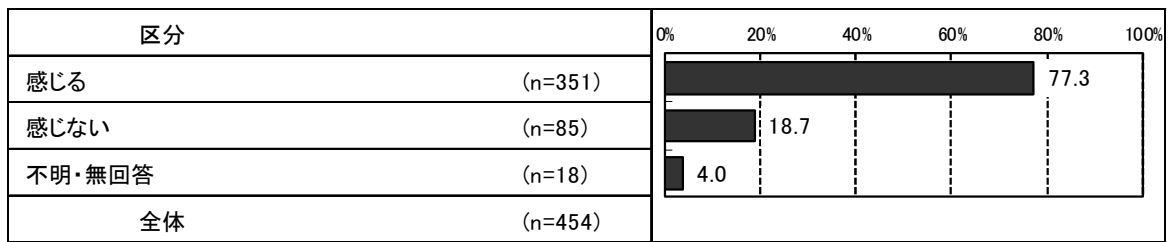
- 高砂市避難行動要支援者名簿を知っているかについては、「知らない」が 89.4%、「知っている」が 6.8%となっています。



単位：% ※合計は「件」		合計	知っている	知らない	不明・無回答
全体		454	6.8	89.4	3.7
性別	男性	198	4.5	92.9	2.5
	女性	253	8.3	87.0	4.7
	その他	1	100.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	0.0	100.0	0.0
	30歳代	41	4.9	95.1	0.0
	40歳代	71	1.4	97.2	1.4
	50歳代	68	7.4	92.6	0.0
	60歳代	78	9.0	89.7	1.3
	70歳代	116	12.1	82.8	5.2
	80歳以上	62	3.2	82.3	14.5
居住地区	高砂地区	51	7.8	86.3	5.9
	荒井地区	72	6.9	93.1	0.0
	伊保地区	66	6.1	89.4	4.5
	中筋地区	20	0.0	95.0	5.0
	曾根地区	54	1.9	90.7	7.4
	米田地区	99	5.1	91.9	3.0
	阿弥陀地区	58	13.8	81.0	5.2
	北浜地区	28	7.1	92.9	0.0

③災害時の避難行動や避難場所での生活に不安を感じますか。

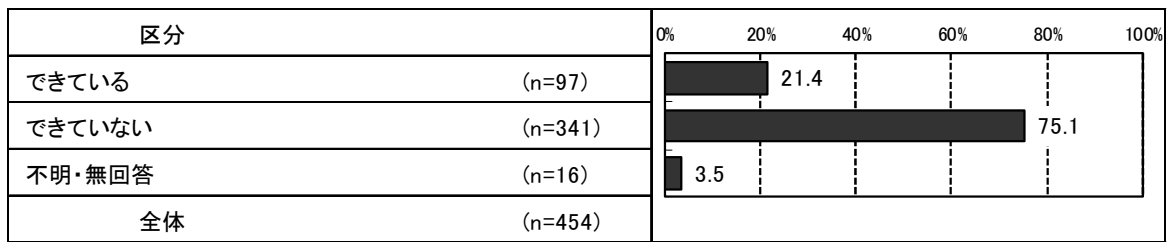
- 災害時の避難行動や避難場所での生活に不安を感じるかについては、「感じる」が 77.3%、「感じない」が 18.7%となっています。



単位: % ※合計は「件」		合計	感じる	感じない	不明・無回答
全体		454	77.3	18.7	4.0
性別	男性	198	72.7	25.3	2.0
	女性	253	81.4	13.0	5.5
	その他	1	100.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	62.5	37.5	0.0
	30歳代	41	80.5	19.5	0.0
	40歳代	71	84.5	14.1	1.4
	50歳代	68	83.8	16.2	0.0
	60歳代	78	79.5	19.2	1.3
	70歳代	116	70.7	23.3	6.0
	80歳以上	62	75.8	9.7	14.5
居住地区	高砂地区	51	82.4	11.8	5.9
	荒井地区	72	80.6	16.7	2.8
	伊保地区	66	78.8	18.2	3.0
	中筋地区	20	75.0	20.0	5.0
	曾根地区	54	77.8	16.7	5.6
	米田地区	99	84.8	13.1	2.0
	阿弥陀地区	58	62.1	29.3	8.6
	北浜地区	28	64.3	35.7	0.0

④災害時の備えができていますか。(食糧、家具転倒防止、避難場所の確認など)

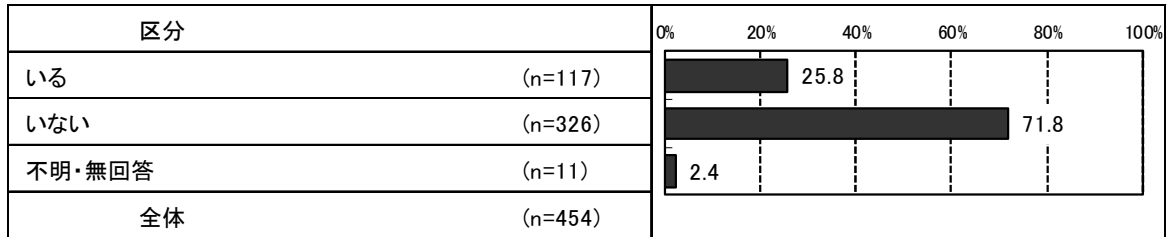
- 災害時の備えができていないかについては、「できていない」が75.1%、「できている」が21.4%となっています。



単位:% ※合計は「件」		合計	できている	できていない	不明・無回答
全体		454	21.4	75.1	3.5
性別	男性	198	23.7	73.2	3.0
	女性	253	19.8	76.3	4.0
	その他	1	0.0	100.0	0.0
年齢	20歳代	16	18.8	81.3	0.0
	30歳代	41	17.1	82.9	0.0
	40歳代	71	14.1	84.5	1.4
	50歳代	68	25.0	73.5	1.5
	60歳代	78	25.6	73.1	1.3
	70歳代	116	26.7	68.1	5.2
	80歳以上	62	14.5	74.2	11.3
居住地区	高砂地区	51	25.5	70.6	3.9
	荒井地区	72	23.6	75.0	1.4
	伊保地区	66	21.2	75.8	3.0
	中筋地区	20	15.0	80.0	5.0
	曾根地区	54	14.8	77.8	7.4
	米田地区	99	18.2	80.8	1.0
	阿弥陀地区	58	27.6	63.8	8.6
	北浜地区	28	21.4	78.6	0.0

⑤あなた、もしくはあなたのご家族など身近な人のなかに、災害時の避難行動などに支援が必要な方はいますか。

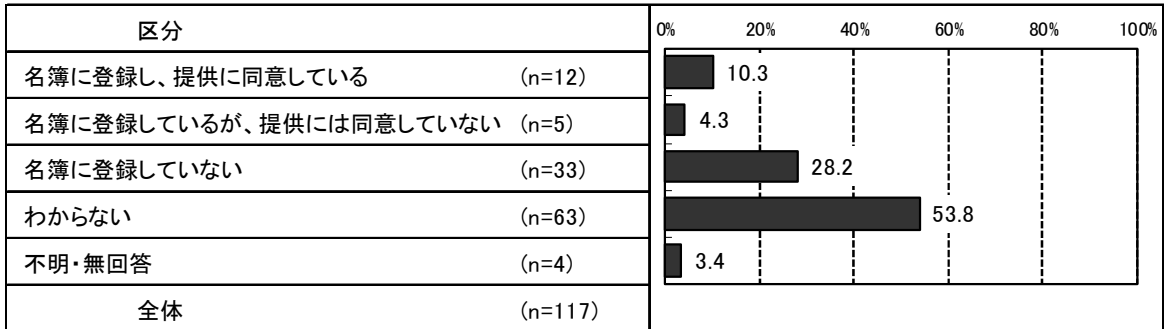
■ 家族や身近な人のなかに、害時の避難行動などに支援が必要な人がいるかについては、「いない」が71.8%、「いる」が25.8%となっています。



単位：％ ※合計は「件」		合計	いる	いない	不明・無回答
全体		454	25.8	71.8	2.4
性別	男性	198	26.8	71.2	2.0
	女性	253	25.3	71.9	2.8
	その他	1	0.0	100.0	0.0
	年齢				
	20歳代	16	31.3	68.8	0.0
	30歳代	41	26.8	73.2	0.0
	40歳代	71	23.9	76.1	0.0
	50歳代	68	36.8	63.2	0.0
	60歳代	78	21.8	78.2	0.0
	70歳代	116	24.1	72.4	3.4
	80歳以上	62	22.6	66.1	11.3
居住地区	高砂地区	51	27.5	66.7	5.9
	荒井地区	72	29.2	70.8	0.0
	伊保地区	66	25.8	71.2	3.0
	中筋地区	20	15.0	80.0	5.0
	曾根地区	54	33.3	64.8	1.9
	米田地区	99	24.2	72.7	3.0
	阿弥陀地区	58	22.4	75.9	1.7
	北浜地区	28	21.4	78.6	0.0

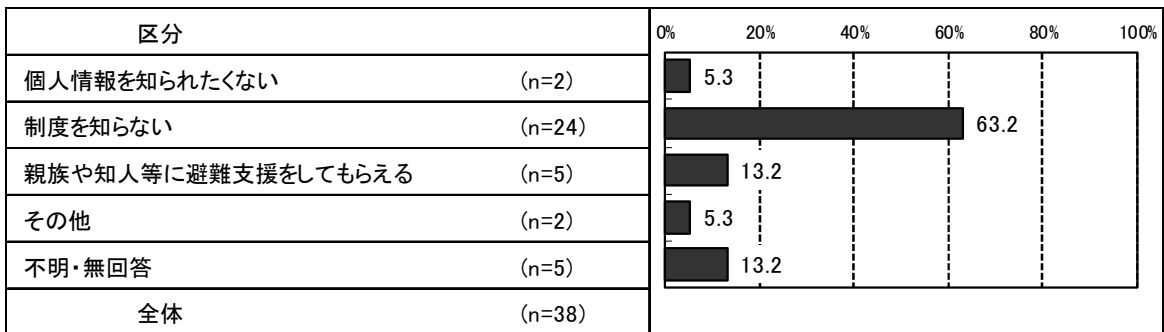
6-2 6-1の⑤で「1. いる」と回答した方におうかがいします。災害に備えて、日頃からの見守り活動や消防活動に利用してもらうために、地域の支援者（民生委員・児童委員など）に対して避難行動要支援者名簿の情報を提供することに同意していますか。【○は1つだけ】

■ 災害時の避難行動などに支援が必要な人がいると回答した人について、避難行動要支援者名簿の情報を提供することに同意しているかをみると、「わからない」が53.8%で最も多く、「名簿に登録していない」(28.2%)、「名簿に登録し、提供に同意している」(10.3%)がつづいています。



6-3 6-2で「2. 名簿に登録しているが、提供には同意していない」または「3. 名簿に登録していない」と回答した方におうかがいします。その理由は何ですか。【○は1つだけ】

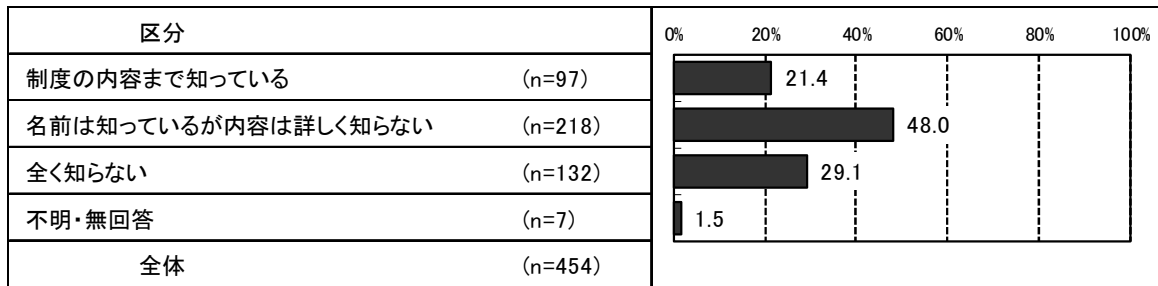
■ 避難行動要支援者名簿に登録しているが、提供に同意していない人や、名簿に登録していない人について、その理由をみると、「制度を知らない」が63.2%で最も多く、「親族や知人等に避難支援をしてもらえる」(13.2%)、「個人情報を知られたくない」と「その他」が、ともに5.3%がつづいています。



## 7. 成年後見制度について

### 7-1 あなたは、成年後見制度をご存じですか。【○は1つだけ】

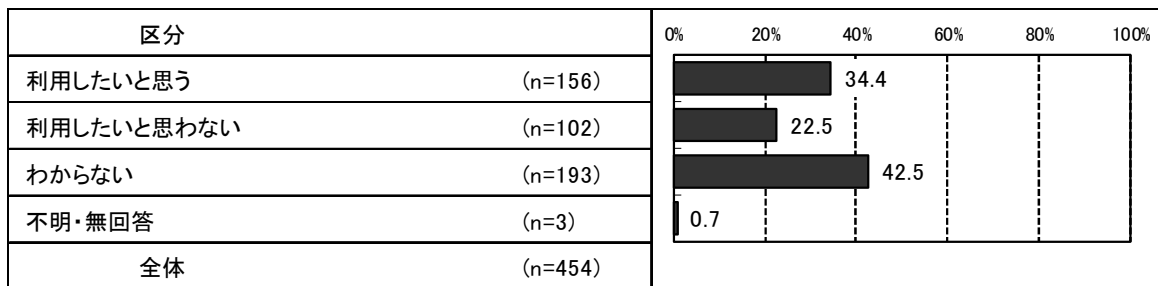
- 成年後見制度を知っているかについては、「名前は知っているが内容は詳しく知らない」が48.0%で最も多く、「全く知らない」(29.1%)、「制度の内容まで知っている」(21.4%)がつづいています。



		合計	制度の内容まで知っている	名前は知っているが内容は詳しく知らない	全く知らない	不明・無回答
単位: % ※合計は「件」						
全体		454	21.4	48.0	29.1	1.5
性別	男性	198	19.2	50.5	29.8	0.5
	女性	253	23.3	46.2	28.1	2.4
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	18.8	18.8	62.5	0.0
	30歳代	41	17.1	34.1	48.8	0.0
	40歳代	71	16.9	53.5	28.2	1.4
	50歳代	68	16.2	54.4	29.4	0.0
	60歳代	78	26.9	48.7	24.4	0.0
	70歳代	116	30.2	51.7	14.7	3.4
	80歳以上	62	12.9	45.2	38.7	3.2
居住地区	高砂地区	51	23.5	45.1	29.4	2.0
	荒井地区	72	23.6	51.4	25.0	0.0
	伊保地区	66	12.1	39.4	43.9	4.5
	中筋地区	20	20.0	45.0	25.0	10.0
	曾根地区	54	24.1	53.7	22.2	0.0
	米田地区	99	20.2	51.5	28.3	0.0
	阿弥陀地区	58	31.0	44.8	22.4	1.7
	北浜地区	28	14.3	57.1	28.6	0.0

7-2 あなたは、将来的にあなた自身の判断能力が不十分となった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。【○は1つだけ】

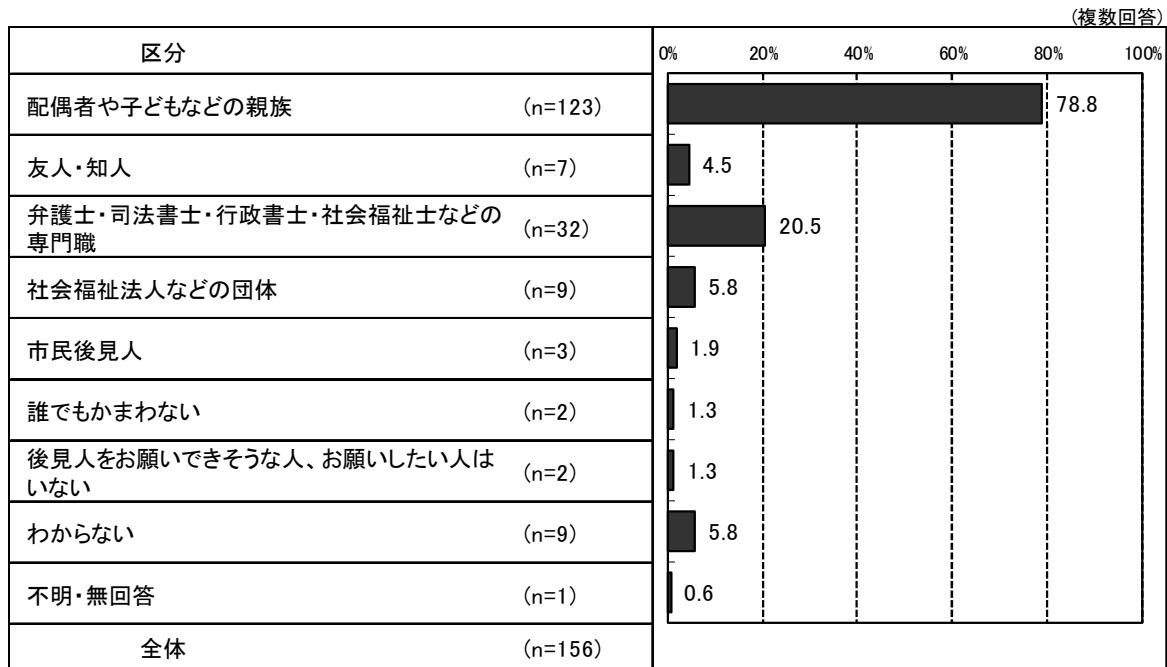
■ 将来、成年後見制度を利用したいと思うかについては、「わからない」が 42.5%で最も多く、「利用したいと思う」(34.4%)、「利用したいと思わない」(22.5%)がつづいています。



単位: % ※合計は「件」		合計	利用したいと思う	利用したいと思わない	わからない	不明・無回答
全体		454	34.4	22.5	42.5	0.7
性別	男性	198	29.8	27.8	41.9	0.5
	女性	253	38.3	18.2	42.7	0.8
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	37.5	12.5	50.0	0.0
	30歳代	41	43.9	14.6	41.5	0.0
	40歳代	71	39.4	15.5	45.1	0.0
	50歳代	68	32.4	11.8	55.9	0.0
	60歳代	78	33.3	24.4	42.3	0.0
	70歳代	116	26.7	37.1	34.5	1.7
	80歳以上	62	40.3	21.0	37.1	1.6
居住地区	高砂地区	51	37.3	21.6	39.2	2.0
	荒井地区	72	33.3	22.2	44.4	0.0
	伊保地区	66	33.3	25.8	37.9	3.0
	中筋地区	20	35.0	10.0	55.0	0.0
	曾根地区	54	25.9	29.6	44.4	0.0
	米田地区	99	35.4	21.2	43.4	0.0
	阿弥陀地区	58	34.5	22.4	43.1	0.0
	北浜地区	28	42.9	21.4	35.7	0.0

7-3 7-2で成年後見制度を「1. 利用したいと思う」と回答した方におうかがいします。あなたは、誰に後見人となって支援してほしいですか。【あてはまるものすべてに○】

■ 将来、成年後見制度を利用したいと思う人について、誰に後見人になってほしいかをみると、「配偶者や子どもなどの親族」が78.8%で最も多く、「弁護士・司法書士・行政書士・社会福祉士などの専門職」(20.5%)、「社会福祉法人などの団体」と「わからない」が、ともに5.8%でつづいています。

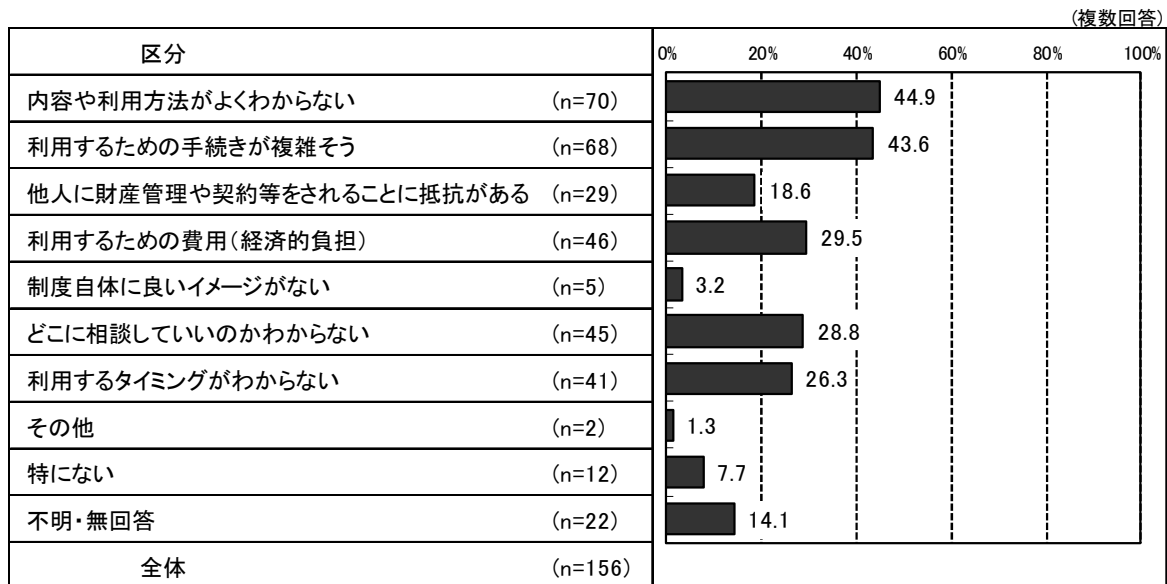


	合計	親族 配偶者や子どもなどの	友人・知人	弁護士・司法書士・ 行政書士・社会 福祉士などの専門職	社会福祉法人などの 団体	市民後見人	誰でもかまわない	後見人をお願いでき そうな人、お願い したい人はいない	わからない	不明・無回答	
単位:% ※合計は「件」											
全体	156	78.8	4.5	20.5	5.8	1.9	1.3	1.3	5.8	0.6	
性別	男性	59	79.7	1.7	18.6	6.8	3.4	0.0	1.7	8.5	0.0
	女性	97	78.4	6.2	21.6	5.2	1.0	2.1	1.0	4.1	1.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	6	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0
	30歳代	18	88.9	5.6	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6
	40歳代	28	71.4	10.7	39.3	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50歳代	22	86.4	4.5	27.3	18.2	4.5	0.0	0.0	4.5	0.0
	60歳代	26	65.4	0.0	23.1	3.8	3.8	0.0	7.7	15.4	0.0
	70歳代	31	80.6	3.2	9.7	6.5	3.2	0.0	0.0	6.5	0.0
	80歳以上	25	84.0	4.0	8.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0



7-4 7-2で成年後見制度を「1. 利用したいと思う」と回答した方におうかがいします。あなたが、成年後見制度を利用するとなった場合、不安や気になることは何ですか。【あてはまるものすべてに○】

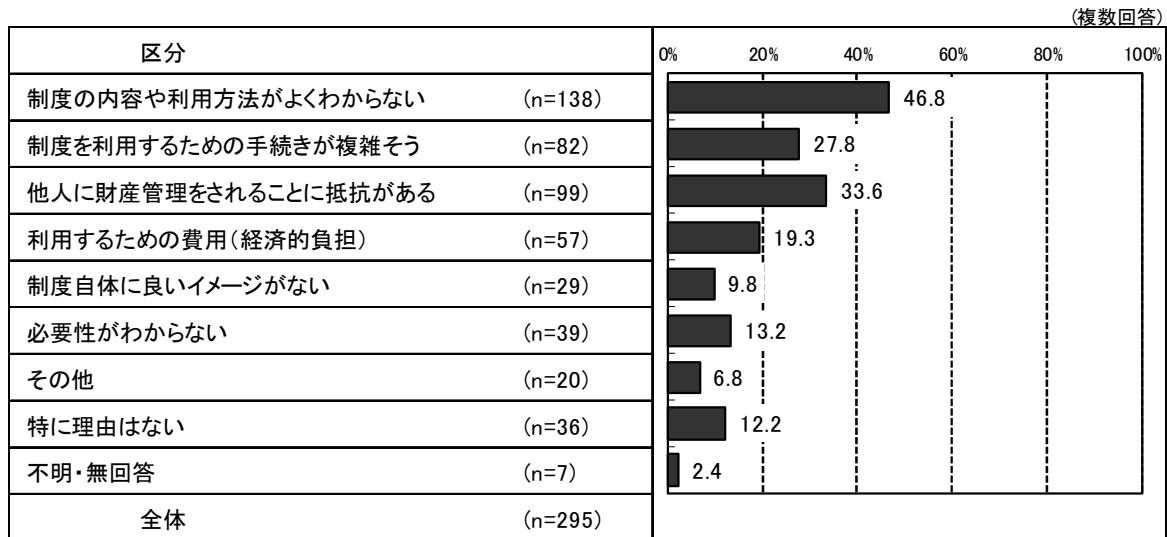
■ 将来、成年後見制度を利用したいと思う人について、成年後見制度を利用するとなった場合の不安や気になることをみると、「内容や利用方法がよくわからない」が44.9%で最も多く、「利用するための手続きが複雑そう」(43.6%)、「利用するための費用(経済的負担)」(29.5%)がつづいています。



	合計	内容や利用方法がよくわからない	利用するための手続きが複雑そう	他人に財産管理や契約等をされることに抵抗がある	利用するための費用(経済的負担)	制度自体に良いイメージがない	どこに相談していいのかわからない	利用するタイミングがわからない	その他	特になし	不明・無回答	
												単位:%
全体	156	44.9	43.6	18.6	29.5	3.2	28.8	26.3	1.3	7.7	14.1	
性別	男性	59	49.2	47.5	15.3	35.6	1.7	33.9	28.8	0.0	3.4	13.6
	女性	97	42.3	41.2	20.6	25.8	4.1	25.8	24.7	2.1	10.3	14.4
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	6	66.7	50.0	33.3	16.7	0.0	33.3	50.0	0.0	0.0	16.7
	30歳代	18	77.8	72.2	27.8	33.3	0.0	16.7	11.1	0.0	0.0	5.6
	40歳代	28	46.4	71.4	17.9	50.0	7.1	46.4	42.9	3.6	3.6	0.0
	50歳代	22	54.5	45.5	22.7	50.0	4.5	54.5	22.7	0.0	9.1	4.5
	60歳代	26	42.3	38.5	19.2	23.1	3.8	23.1	34.6	0.0	11.5	11.5
	70歳代	31	19.4	22.6	12.9	16.1	0.0	9.7	19.4	3.2	16.1	25.8
	80歳以上	25	40.0	20.0	12.0	12.0	4.0	24.0	16.0	0.0	4.0	32.0

7-5 7-2で成年後見制度を「2. 利用したいと思わない」または「3. わからない」と回答した方におうかがいします。その理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

■ 将来、成年後見制度を利用したいと思わない、またはわからない人について、その理由をみると、「制度の内容や利用方法がよくわからない」が46.8%で最も多く、「他人に財産管理をされることに抵抗がある」(33.6%)、「制度を利用するための手続きが複雑そう」(27.8%)がつづいています。

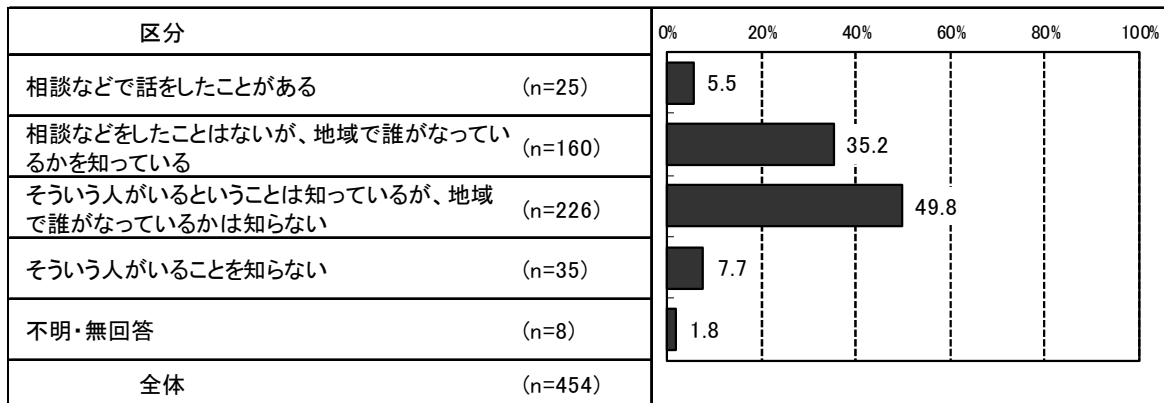


	合計	制度の内容や利用方法がよくわからない	制度を利用するための手続きが複雑そう	他人に財産管理をされることに抵抗がある	利用するための費用(経済的負担)	制度自体に良いイメージがない	必要性がわからない	その他	特に理由はない	不明・無回答	
		単位:% ※合計は「件」									
全体	295	46.8	27.8	33.6	19.3	9.8	13.2	6.8	12.2	2.4	
性別	男性	138	47.1	25.4	31.9	16.7	13.8	15.2	5.1	15.9	1.4
	女性	154	47.4	29.9	35.1	22.1	6.5	11.7	8.4	9.1	2.6
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	10	50.0	40.0	30.0	40.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0
	30歳代	23	65.2	34.8	34.8	17.4	8.7	21.7	4.3	0.0	0.0
	40歳代	43	62.8	34.9	41.9	30.2	4.7	14.0	2.3	4.7	0.0
	50歳代	46	54.3	28.3	30.4	19.6	10.9	10.9	4.3	10.9	2.2
	60歳代	52	40.4	32.7	46.2	23.1	7.7	13.5	5.8	17.3	1.9
	70歳代	83	34.9	22.9	30.1	15.7	15.7	13.3	13.3	16.9	1.2
	80歳以上	36	44.4	13.9	19.4	5.6	5.6	13.9	2.8	16.7	8.3

## 8. 地域福祉に関連する仕組み・機関などについて

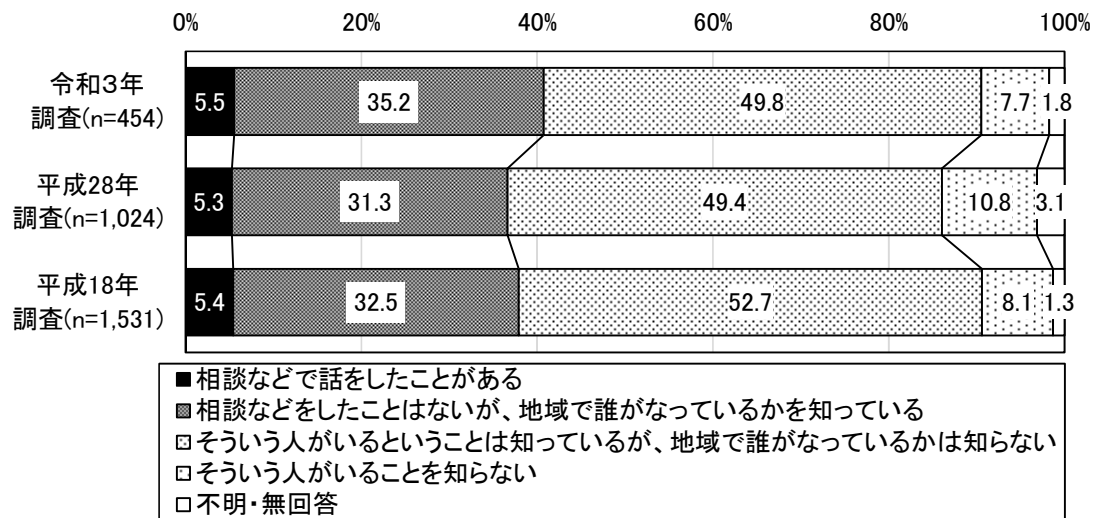
### 8-1 民生委員・児童委員をご存知ですか。【〇は1つだけ】

■ 民生委員・児童委員を知っているかについては、「そういう人がいるということは知っているが、地域で誰がなっているかは知らない」が49.8%で最も多く、「相談などをしたことはないが、地域で誰がなっているかを知っている」(35.2%)、「そういう人がいることを知らない」(7.7%)がつづいており、民生委員・児童委員の認知率(「相談などで話をしたことがある」+「相談などをしたことはないが、地域で誰がなっているかを知っている」)は40.7%となっています。



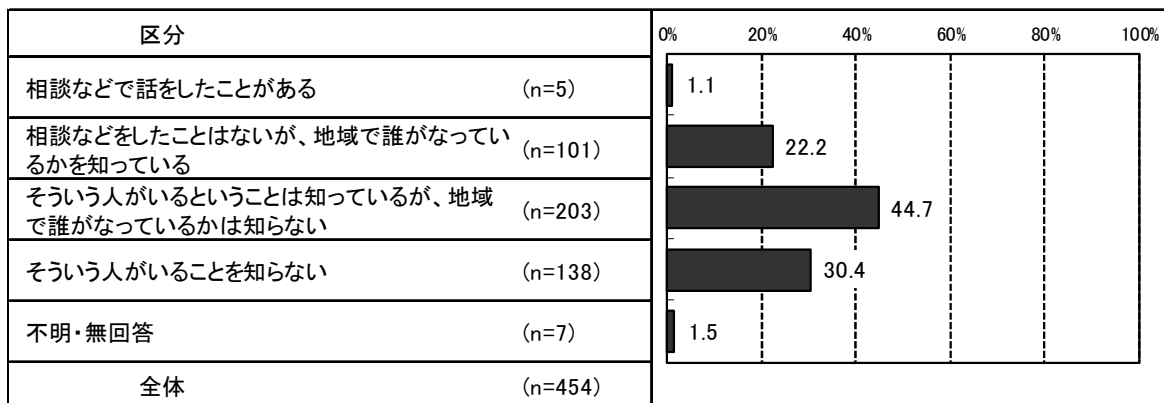
	合計	相談などで話をしたことがある	相談などをしたことはないが、地域で誰がなっているかを知っている	そういう人がいるということは知っているが、地域で誰がなっているかは知らない	そういう人がいることを知らない	不明・無回答	
単位: % ※合計は「件」							
全体	454	5.5	35.2	49.8	7.7	1.8	
性別	男性	198	4.0	30.3	52.5	11.6	1.5
	女性	253	6.7	39.1	47.4	4.7	2.0
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	0.0	0.0	37.5	62.5	0.0
	30歳代	41	2.4	9.8	65.9	22.0	0.0
	40歳代	71	4.2	16.9	67.6	11.3	0.0
	50歳代	68	2.9	19.1	73.5	4.4	0.0
	60歳代	78	6.4	50.0	39.7	2.6	1.3
	70歳代	116	6.9	55.2	34.5	0.0	3.4
	80歳以上	62	9.7	45.2	35.5	4.8	4.8
居住地区	高砂地区	51	3.9	47.1	37.3	9.8	2.0
	荒井地区	72	1.4	37.5	48.6	12.5	0.0
	伊保地区	66	3.0	18.2	66.7	6.1	6.1
	中筋地区	20	5.0	55.0	30.0	10.0	0.0
	曾根地区	54	9.3	33.3	46.3	11.1	0.0
	米田地区	99	8.1	27.3	59.6	3.0	2.0
	阿弥陀地区	58	8.6	48.3	36.2	6.9	0.0
	北浜地区	28	0.0	39.3	50.0	7.1	3.6

■ 民生委員・児童委員の認知状況について、平成28年調査と比較すると、民生委員・児童委員の認知率は40.7%で平成28年調査（36.6%）から大きな差異はありません。



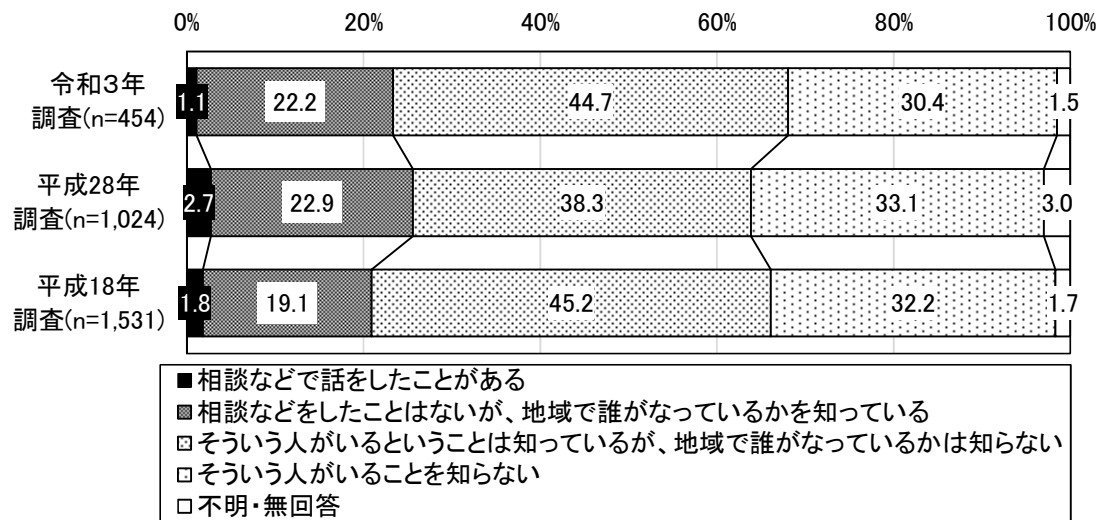
## 8-2 福祉委員をご存知ですか。【○は1つだけ】

- 福祉委員を知っているかについては、「そういう人があるということは知っているが、地域で誰がなっているかは知らない」が44.7%で最も多く、「そういう人があることを知らない」(30.4%)、「相談などをしたことはないが、地域で誰がなっているかを知っている」(22.2%)がつづいており、福祉委員の認知率（「相談などで話をしたことがある」+「相談などをしたことはないが、地域で誰がなっているかを知っている」）は23.3%となっています。



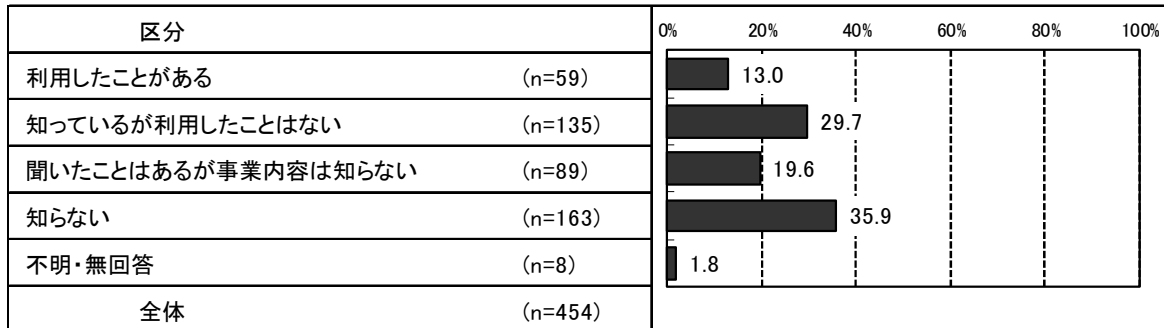
	合計	相談などで話をした ことがある	相談などをした ことはないが、 地域で誰がなっ ているかを知っ ている	そういう人がある ということは知っ ているが、地域 で誰がなっ ているかは知ら ない	そういう人がいる ことを知らない	不明・無 回答	
単位：％ ※合計は「件」							
全体	454	1.1	22.2	44.7	30.4	1.5	
性別	男性	198	1.5	21.2	47.0	29.8	0.5
	女性	253	0.8	23.3	42.3	31.2	2.4
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0
	30歳代	41	0.0	7.3	41.5	51.2	0.0
	40歳代	71	0.0	8.5	42.3	49.3	0.0
	50歳代	68	0.0	10.3	48.5	41.2	0.0
	60歳代	78	0.0	33.3	50.0	15.4	1.3
	70歳代	116	1.7	35.3	44.8	15.5	2.6
	80歳以上	62	4.8	29.0	41.9	19.4	4.8
居住地区	高砂地区	51	0.0	35.3	37.3	23.5	3.9
	荒井地区	72	0.0	27.8	34.7	37.5	0.0
	伊保地区	66	1.5	16.7	54.5	24.2	3.0
	中筋地区	20	0.0	15.0	45.0	35.0	5.0
	曾根地区	54	3.7	13.0	61.1	22.2	0.0
	米田地区	99	2.0	15.2	42.4	39.4	1.0
	阿弥陀地区	58	0.0	34.5	37.9	27.6	0.0
	北浜地区	28	0.0	21.4	50.0	25.0	3.6

■ 福祉委員の認知状況について、平成 28 年調査と比較すると、福祉委員の認知率は 23.3%で平成 28 年調査（25.6%）から大きな差異はありません。



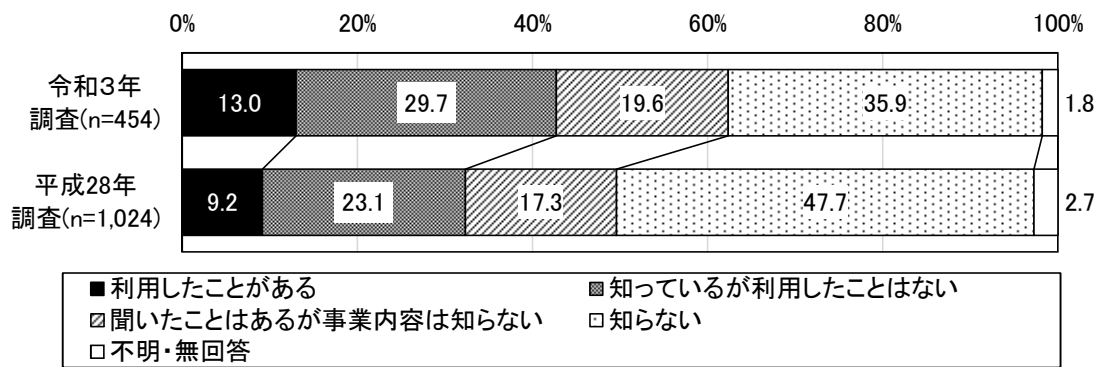
### 8-3 地域包括支援センターをご存知ですか。【〇は1つだけ】

■ 地域包括支援センターを知っているかについては、「知らない」が 35.9%で最も多く、「知っているが利用したことはない」(29.7%)、「聞いたことはあるが事業内容は知らない」(19.6%)がつづいており、地域包括支援センターの認知率（「利用したことがある」+「知っているが利用したことはない」）は42.7%となっています。



	合計	利用したことがある	知っているが利用したことはない	聞いたことはあるが事業内容は知らない	知らない	不明・無回答	
単位：％ ※合計は「件」							
全体	454	13.0	29.7	19.6	35.9	1.8	
性別	男性	198	10.6	24.7	22.7	41.4	0.5
	女性	253	15.0	33.6	17.4	31.2	2.8
	その他	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	0.0	18.8	25.0	56.3	0.0
	30歳代	41	9.8	31.7	14.6	43.9	0.0
	40歳代	71	8.5	23.9	21.1	46.5	0.0
	50歳代	68	11.8	29.4	19.1	39.7	0.0
	60歳代	78	10.3	38.5	20.5	29.5	1.3
	70歳代	116	17.2	32.8	19.8	27.6	2.6
	80歳以上	62	21.0	22.6	19.4	30.6	6.5
居住地区	高砂地区	51	17.6	31.4	9.8	39.2	2.0
	荒井地区	72	6.9	38.9	23.6	30.6	0.0
	伊保地区	66	10.6	30.3	18.2	36.4	4.5
	中筋地区	20	0.0	15.0	25.0	50.0	10.0
	曾根地区	54	14.8	25.9	25.9	31.5	1.9
	米田地区	99	11.1	27.3	22.2	39.4	0.0
	阿弥陀地区	58	20.7	29.3	13.8	36.2	0.0
	北浜地区	28	17.9	32.1	21.4	25.0	3.6

■ 地域包括支援センターの認知状況について、平成 28 年調査と比較すると、「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」は平成 28 年調査からそれぞれ 4～7 ポイント程度増加しています。また、地域包括支援センターの認知率は 42.7%で、平成 28 年調査（32.3%）から 10 ポイント程度増加しています。





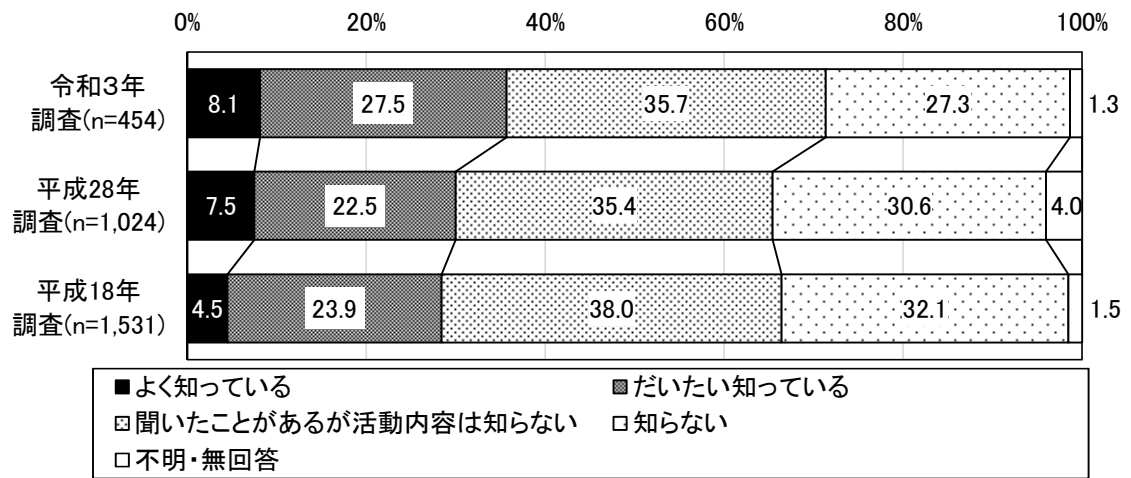
## 8-4 高砂市社会福祉協議会をご存知ですか。【○は1つだけ】

■ 高砂市社会福祉協議会を知っているかについては、「聞いたことがあるが活動内容は知らない」が35.7%で最も多く、「知っている」(27.5%)、「知らない」(27.3%)がつづいており、高砂市社会福祉協議会の認知率(「よく知っている」+「だいたい知っている」)は35.6%となっています。

区分		0%	20%	40%	60%	80%	100%
よく知っている	(n=37)	8.1					
知っている	(n=125)	27.5					
聞いたことがあるが活動内容は知らない	(n=162)	35.7					
知らない	(n=124)	27.3					
不明・無回答	(n=6)	1.3					
全体	(n=454)						

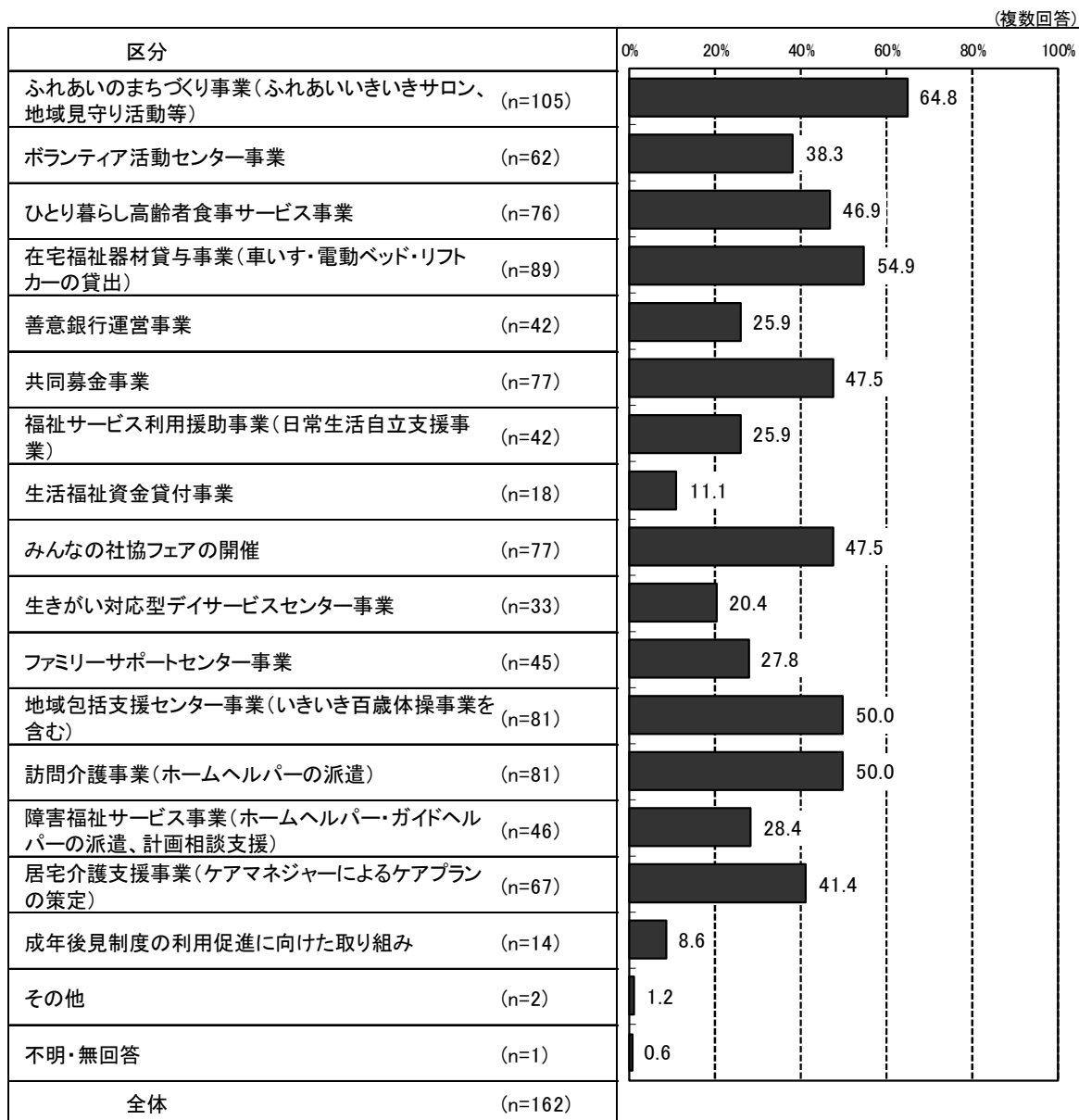
		合計	よく知っている	知っている	聞いたことがあるが活動内容は知らない	知らない	不明・無回答
単位: % ※合計は「件」							
全体		454	8.1	27.5	35.7	27.3	1.3
性別	男性	198	6.1	24.7	38.4	30.3	0.5
	女性	253	9.9	30.0	33.6	24.5	2.0
	その他	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	年齢						
	20歳代	16	0.0	0.0	18.8	81.3	0.0
	30歳代	41	4.9	24.4	29.3	41.5	0.0
	40歳代	71	1.4	11.3	43.7	43.7	0.0
	50歳代	68	10.3	19.1	41.2	29.4	0.0
	60歳代	78	9.0	39.7	33.3	16.7	1.3
	70歳代	116	12.1	32.8	37.1	15.5	2.6
	80歳以上	62	9.7	40.3	30.6	16.1	3.2
居住地区	高砂地区	51	9.8	45.1	21.6	23.5	0.0
	荒井地区	72	6.9	36.1	31.9	25.0	0.0
	伊保地区	66	9.1	27.3	28.8	31.8	3.0
	中筋地区	20	5.0	10.0	55.0	30.0	0.0
	曾根地区	54	5.6	25.9	44.4	24.1	0.0
	米田地区	99	7.1	26.3	36.4	28.3	2.0
	阿弥陀地区	58	12.1	19.0	46.6	20.7	1.7
	北浜地区	28	7.1	10.7	39.3	39.3	3.6

■ 高砂市社会福祉協議会の認知状況について、平成 28 年調査と比較すると、「だいたい知っている」は 27.5%で平成 28 年調査 (22.5%) から 5 ポイント増加しています。また、高砂市社会福祉協議会の認知率は 35.6%で、平成 28 年調査 (30.0%) から 6 ポイント程度増加しています。



8-5 8-4で高砂市社会福祉協議会を「1. よく知っている」「2. 知っている」と回答した方におうかがいします。高砂市社会福祉協議会が実施しているどの事業についてご存知ですか。  
【あてはまるものすべてに○】

■ 高砂市社会福祉協議会を知っている人について、社会福祉協議会が実施している事業の認知率（知っているとする人の割合）をみると、「ふれあいのまちづくり事業（ふれあいいきいきサロン、地域見守り活動等）」が64.8%で最も多く、「在宅福祉器材貸与事業（車いす・電動ベッド・リフトカーの貸出）」（54.9%）、「地域包括支援センター事業（いきいき百歳体操事業を含む）」と「訪問介護事業（ホームヘルパーの派遣）」が、ともに50.0%でつづいています。

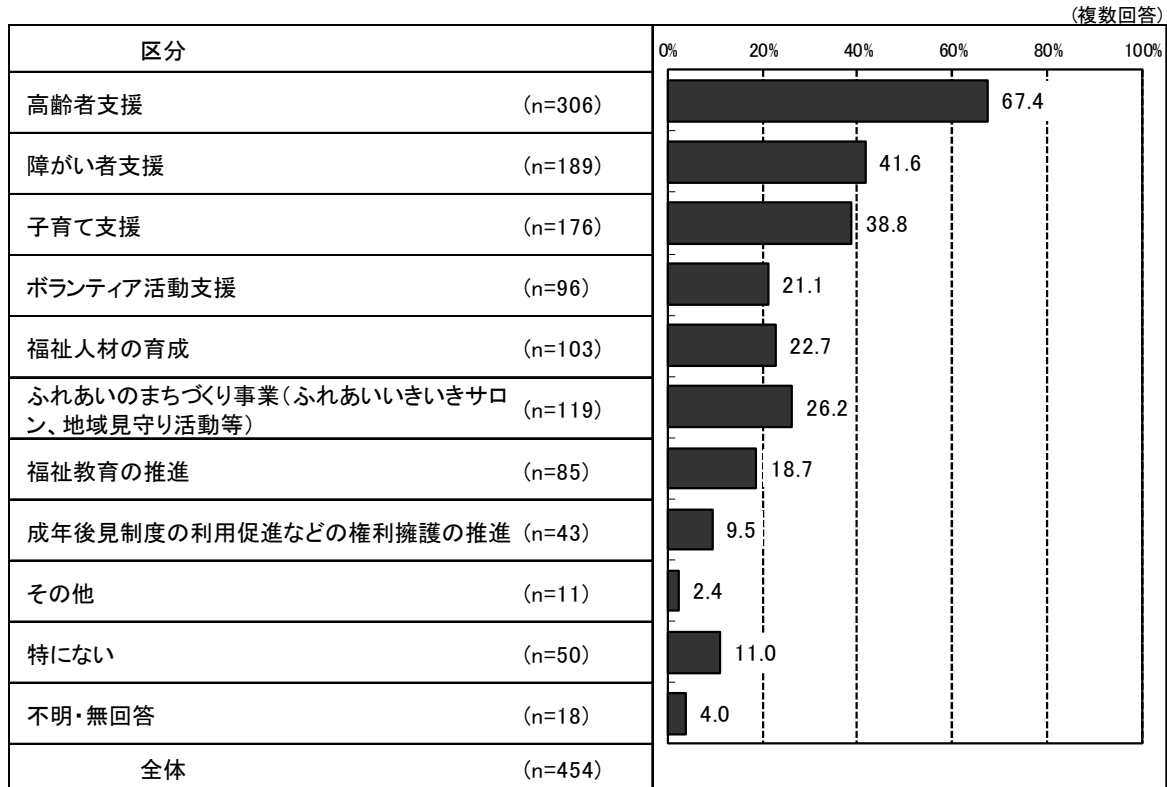


		合計	ふれあいのまちづくり 事業(いきいきサロン 地域見守り活動等)	ボランティア活動 センター事業	ひとり暮らし高齢者 食事サービス事業	在宅福祉器材貸与事 業(車いす・電動ベッド・ リフトカーの貸出)	善意銀行運営事業	共同募金事業	福祉サービス利用援助 事業(日常生活自立 支援事業)	生活福祉資金貸付事業	みんなの社協フェアの 開催
単位: % ※合計は「件」											
全体		162	64.8	38.3	46.9	54.9	25.9	47.5	25.9	11.1	47.5
性別	男性	61	63.9	36.1	41.0	47.5	19.7	57.4	31.1	8.2	45.9
	女性	101	65.3	39.6	50.5	59.4	29.7	41.6	22.8	12.9	48.5
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	12	41.7	25.0	8.3	25.0	8.3	8.3	25.0	0.0	8.3
	40歳代	9	77.8	33.3	22.2	44.4	0.0	22.2	11.1	0.0	44.4
	50歳代	20	55.0	50.0	40.0	55.0	40.0	40.0	30.0	30.0	45.0
	60歳代	38	81.6	52.6	60.5	50.0	34.2	65.8	26.3	13.2	63.2
	70歳代	52	63.5	36.5	50.0	59.6	26.9	53.8	28.8	13.5	53.8
	80歳以上	31	58.1	22.6	51.6	67.7	19.4	41.9	22.6	0.0	35.5
居住地区	高砂地区	28	57.1	21.4	50.0	60.7	14.3	39.3	17.9	3.6	42.9
	荒井地区	31	61.3	35.5	48.4	54.8	19.4	38.7	16.1	9.7	54.8
	伊保地区	24	70.8	41.7	33.3	50.0	25.0	41.7	20.8	4.2	37.5
	中筋地区	3	33.3	33.3	33.3	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	66.7
	曾根地区	17	70.6	41.2	64.7	70.6	41.2	76.5	29.4	0.0	52.9
	米田地区	33	66.7	42.4	45.5	39.4	27.3	45.5	42.4	21.2	42.4
	阿弥陀地区	18	72.2	44.4	50.0	55.6	22.2	55.6	27.8	22.2	50.0
	北浜地区	5	60.0	80.0	40.0	60.0	60.0	60.0	20.0	20.0	80.0

		合計	生きがい対応型デイ サービスセンター事業	ファミリーサポート センター事業	地域包括支援センター 事業を含む)	訪問介護事業 (ホームヘルパーの派遣)	障害福祉サービス事業 (ホームヘルパー・ガイドヘルパ ーの派遣、計画相談支援)	居宅介護支援事業 (ケアマネジャーによる ケアプランの策定)	成年後見制度の 利用促進に向けた 取り組み	その他	不明・無回答
単位: % ※合計は「件」											
全体		162	20.4	27.8	50.0	50.0	28.4	41.4	8.6	1.2	0.6
性別	男性	61	18.0	19.7	42.6	39.3	21.3	31.1	4.9	1.6	1.6
	女性	101	21.8	32.7	54.5	56.4	32.7	47.5	10.9	1.0	0.0
	その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	12	0.0	16.7	25.0	41.7	16.7	25.0	8.3	0.0	0.0
	40歳代	9	11.1	55.6	33.3	44.4	33.3	33.3	11.1	0.0	0.0
	50歳代	20	15.0	45.0	40.0	55.0	40.0	55.0	15.0	0.0	0.0
	60歳代	38	31.6	47.4	60.5	52.6	39.5	36.8	7.9	0.0	0.0
	70歳代	52	19.2	17.3	53.8	50.0	23.1	44.2	9.6	1.9	0.0
	80歳以上	31	22.6	6.5	51.6	48.4	19.4	41.9	3.2	3.2	3.2
居住地区	高砂地区	28	17.9	10.7	32.1	57.1	28.6	39.3	0.0	0.0	0.0
	荒井地区	31	22.6	32.3	48.4	38.7	16.1	35.5	12.9	3.2	0.0
	伊保地区	24	20.8	12.5	50.0	37.5	20.8	41.7	0.0	0.0	0.0
	中筋地区	3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0
	曾根地区	17	23.5	29.4	70.6	70.6	41.2	64.7	5.9	0.0	0.0
	米田地区	33	18.2	45.5	42.4	54.5	36.4	36.4	12.1	0.0	0.0
	阿弥陀地区	18	16.7	27.8	72.2	50.0	33.3	50.0	16.7	0.0	5.6
	北浜地区	5	20.0	60.0	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0

8-6 今後、どのようなことを高砂市社会福祉協議会に期待していますか。【あてはまるものすべてに○】

■ 高砂市社会福祉協議会を知っている人について、どのようなことを高砂市社会福祉協議会に期待しているかをみると、「高齢者支援」が67.4%で最も多く、「障がい者支援」(41.6%)、「子育て支援」(38.8%)がつづいています。

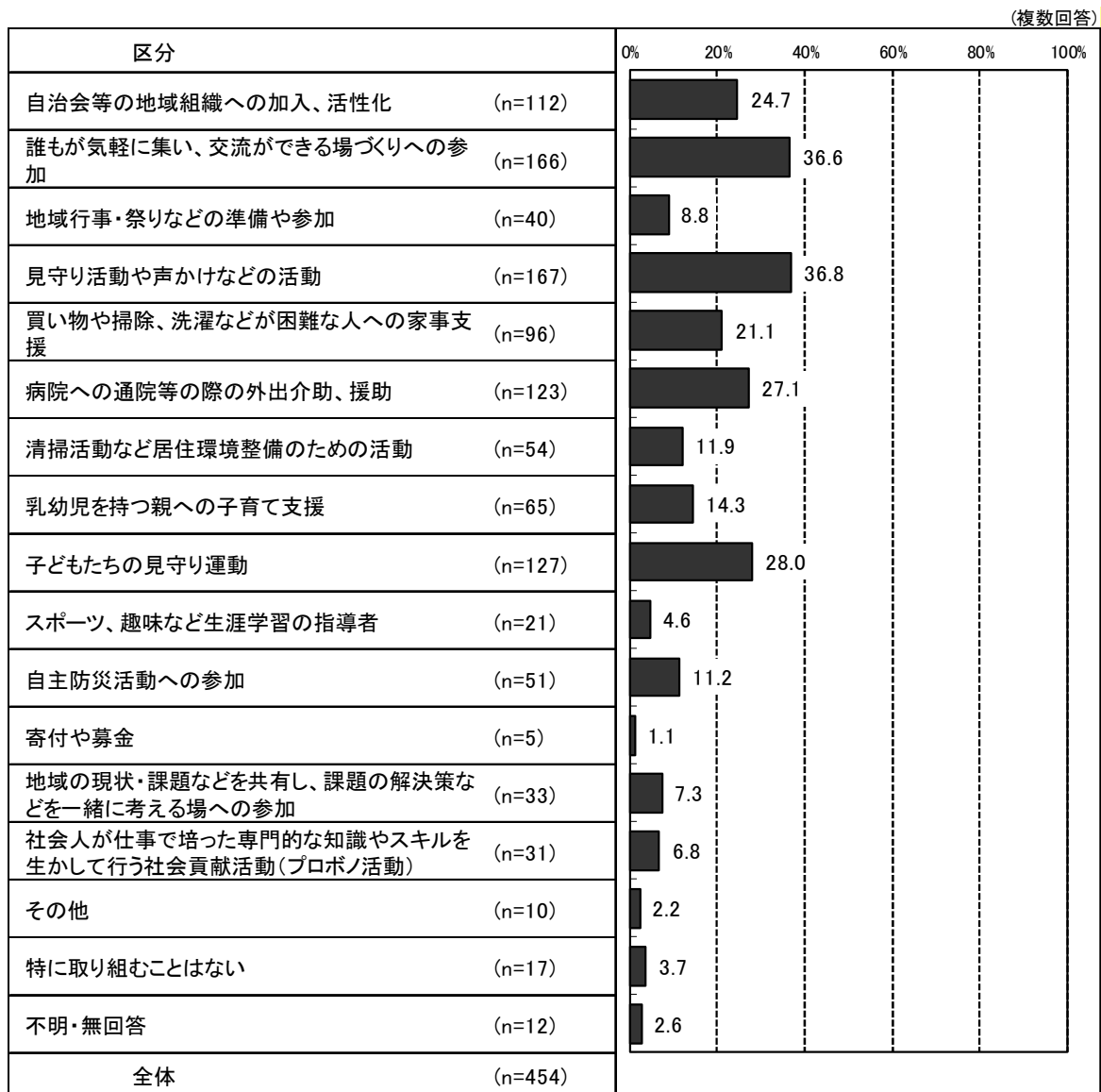


		合計	高齢者支援	障がい者支援	子育て支援	ボランティア活動支援	福祉人材の育成	ふれあいのまちづくり事業	福祉教育の推進	成年後見制度の権利擁護の推進	その他	特にない	不明・無回答
単位：% ※合計は「件」													
全体		454	67.4	41.6	38.8	21.1	22.7	26.2	18.7	9.5	2.4	11.0	4.0
性別	男性	198	66.2	41.4	38.4	21.2	21.2	25.8	17.7	10.6	3.5	12.6	3.0
	女性	253	68.0	42.3	39.5	21.3	24.1	26.9	19.8	8.7	1.6	9.9	4.7
	その他	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	56.3	31.3	75.0	12.5	18.8	6.3	18.8	0.0	6.3	12.5	0.0
	30歳代	41	61.0	43.9	65.9	17.1	14.6	24.4	12.2	7.3	4.9	9.8	0.0
	40歳代	71	63.4	46.5	45.1	15.5	19.7	26.8	11.3	8.5	1.4	12.7	0.0
	50歳代	68	67.6	44.1	32.4	23.5	29.4	19.1	20.6	17.6	5.9	17.6	0.0
	60歳代	78	71.8	55.1	48.7	28.2	28.2	32.1	25.6	10.3	0.0	6.4	3.8
	70歳代	116	65.5	35.3	28.4	21.6	25.9	31.0	24.1	7.8	0.9	12.9	6.9
	80歳以上	62	75.8	30.6	19.4	21.0	12.9	24.2	11.3	8.1	3.2	4.8	11.3
居住地区	高砂地区	51	64.7	39.2	39.2	15.7	25.5	29.4	19.6	5.9	3.9	5.9	2.0
	荒井地区	72	76.4	54.2	54.2	25.0	26.4	26.4	18.1	13.9	2.8	4.2	0.0
	伊保地区	66	69.7	43.9	40.9	13.6	22.7	30.3	18.2	4.5	1.5	15.2	7.6
	中筋地区	20	60.0	40.0	35.0	35.0	35.0	25.0	25.0	15.0	0.0	15.0	10.0
	曾根地区	54	68.5	42.6	38.9	29.6	24.1	29.6	24.1	13.0	1.9	16.7	3.7
	米田地区	99	62.6	45.5	38.4	24.2	24.2	26.3	20.2	10.1	4.0	10.1	4.0
	阿弥陀地区	58	63.8	31.0	25.9	22.4	10.3	17.2	10.3	8.6	1.7	17.2	3.4
	北浜地区	28	64.3	17.9	25.0	3.6	21.4	21.4	21.4	7.1	0.0	7.1	7.1

## 9. 地域福祉の推進に向けて

### 9-1 誰もが安心して暮らしつづけることができる地域をめざして、市民は、どのような活動に取り組むことが望ましいと思いますか。【あてはまるもの3つまでに○】

- 誰もが安心して暮らしつづけることができる地域をめざして、市民は、どのような活動に取り組むことが望ましいと思うかについては、「見守り活動や声かけなどの活動」が 36.8%で最も多く、「誰もが気軽に集い、交流ができる場づくりへの参加」(36.6%)、「子どもたちの見守り運動」(28.0%)がつづいていきます。

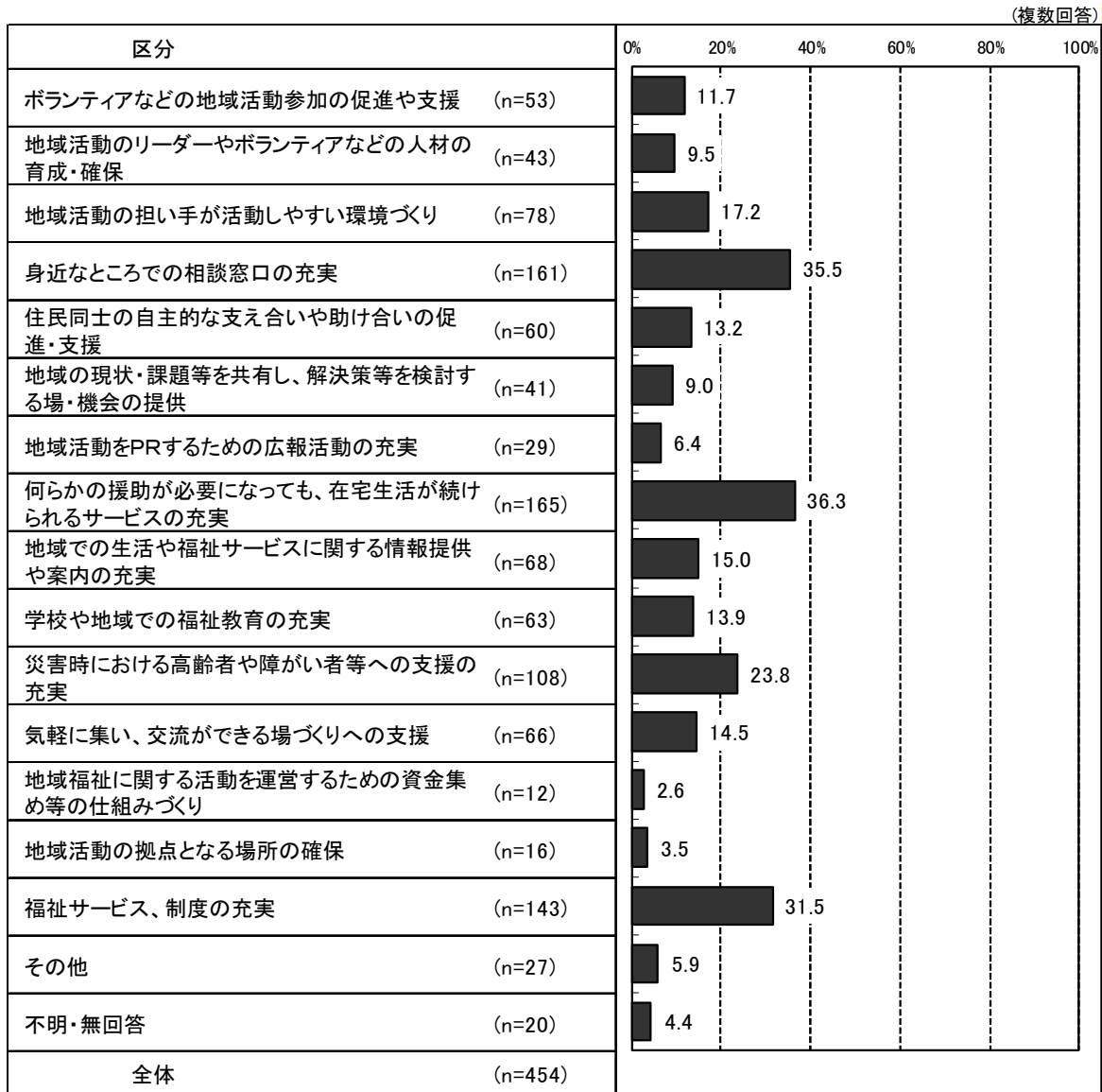


		合計	自治会等の地域組織への加入、活性化	誰もが気軽に集い、交流ができる場づくりへの参加	地域行事・祭りなどの準備や参加	見守り活動や声かけなどの活動	買い物や掃除、洗濯などが困難な人への家事支援	病院への通院等の際の外出介助、援助	清掃活動など居住環境整備のための活動	乳幼児を持つ親への子育て支援	子どもたちの見守り運動
単位：％ ※合計は「件」											
全体		454	24.7	36.6	8.8	36.8	21.1	27.1	11.9	14.3	28.0
性別	男性	198	26.8	33.3	11.6	31.8	20.2	26.8	11.6	14.1	27.3
	女性	253	23.3	38.3	6.7	40.3	22.1	27.3	12.3	14.6	28.9
	その他	1	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	12.5	31.3	6.3	12.5	18.8	25.0	6.3	62.5	56.3
	30歳代	41	7.3	36.6	14.6	34.1	17.1	17.1	9.8	36.6	48.8
	40歳代	71	19.7	33.8	8.5	40.8	26.8	19.7	14.1	23.9	36.6
	50歳代	68	13.2	26.5	7.4	32.4	32.4	41.2	4.4	11.8	23.5
	60歳代	78	33.3	41.0	11.5	38.5	20.5	21.8	12.8	6.4	28.2
	70歳代	116	36.2	37.1	10.3	34.5	16.4	28.4	14.7	5.2	17.2
	80歳以上	62	25.8	43.5	1.6	46.8	16.1	32.3	14.5	6.5	22.6
居住地区	高砂地区	51	23.5	23.5	5.9	37.3	19.6	25.5	11.8	17.6	35.3
	荒井地区	72	20.8	44.4	11.1	36.1	19.4	25.0	13.9	23.6	30.6
	伊保地区	66	22.7	42.4	15.2	36.4	15.2	28.8	9.1	19.7	24.2
	中筋地区	20	20.0	25.0	5.0	25.0	40.0	35.0	15.0	10.0	25.0
	曾根地区	54	33.3	40.7	9.3	31.5	27.8	25.9	14.8	3.7	33.3
	米田地区	99	24.2	33.3	6.1	40.4	15.2	25.3	13.1	10.1	27.3
	阿弥陀地区	58	31.0	32.8	12.1	32.8	27.6	25.9	8.6	12.1	22.4
	北浜地区	28	21.4	39.3	0.0	53.6	25.0	39.3	10.7	17.9	25.0

		合計	スポーツ、趣味など生涯学習の指導者	自主防災活動への参加	寄付や募金	地域の現状・課題などを共有し、課題の解決策などを一緒に考える場への参加	社会人が仕事で培った専門的な知識やスキルを生かして行う社会貢献活動（プロボノ活動）	その他	特に取り組むことはない	不明・無回答
単位：％ ※合計は「件」										
全体		454	4.6	11.2	1.1	7.3	6.8	2.2	3.7	2.6
性別	男性	198	7.1	13.6	1.5	8.6	6.6	2.0	5.6	3.0
	女性	253	2.8	9.5	0.8	6.3	7.1	2.4	2.4	2.4
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	6.3
	30歳代	41	7.3	4.9	2.4	2.4	7.3	4.9	2.4	0.0
	40歳代	71	7.0	8.5	1.4	4.2	8.5	4.2	2.8	0.0
	50歳代	68	4.4	16.2	0.0	7.4	7.4	2.9	7.4	1.5
	60歳代	78	1.3	16.7	0.0	10.3	6.4	0.0	2.6	3.8
	70歳代	116	5.2	11.2	2.6	7.8	7.8	0.9	4.3	3.4
	80歳以上	62	4.8	9.7	0.0	9.7	3.2	3.2	3.2	4.8
居住地区	高砂地区	51	5.9	5.9	3.9	11.8	3.9	5.9	5.9	3.9
	荒井地区	72	4.2	6.9	0.0	4.2	8.3	1.4	2.8	1.4
	伊保地区	66	4.5	7.6	0.0	6.1	7.6	3.0	4.5	3.0
	中筋地区	20	10.0	10.0	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0	5.0
	曾根地区	54	5.6	13.0	3.7	1.9	7.4	1.9	7.4	0.0
	米田地区	99	3.0	10.1	1.0	10.1	10.1	1.0	3.0	2.0
	阿弥陀地区	58	6.9	19.0	0.0	10.3	3.4	1.7	3.4	6.9
	北浜地区	28	0.0	25.0	0.0	7.1	3.6	3.6	0.0	0.0

9-2 誰もが安心して暮らしつづけることができる地域をめざして、高砂市が行政として率先して取り組むのがよいと思うものを選んでください。【あてはまるもの3つまでに○】

■ 誰もが安心して暮らしつづけることができる地域をめざして、高砂市が行政として率先して取り組むのがよいと思うものについては、「何らかの援助が必要になっても、在宅生活が続けられるサービスの充実」が36.3%で最も多く、「身近なところでの相談窓口の充実」(35.5%)、「福祉サービス、制度の充実」(31.5%)がつづいています。





		合計	ボランティアなどの地域活動参加の促進や支援	地域活動のリーダーやボランティアなどの人材の育成・確保	地域活動の担い手が活動しやすい環境づくり	身近なところでの相談窓口の充実	住民同士の自主的な支え合いや助け合いの促進・支援	地域の現状・課題等を共有し、解決策等を検討する場・機会の提供	地域活動をPRするため の広報活動の充実	何らかの援助が必要になつても、在宅生活が続けられるサービスの充実	地域での生活や福祉サービスに関する情報提供や案内の充実
単位：％ ※合計は「件」											
全体		454	11.7	9.5	17.2	35.5	13.2	9.0	6.4	36.3	15.0
性別	男性	198	10.6	8.6	16.2	32.3	13.6	9.1	8.1	26.8	15.2
	女性	253	12.6	10.3	17.8	37.9	12.6	9.1	5.1	43.9	15.0
	その他	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢	20歳代	16	37.5	6.3	12.5	37.5	12.5	12.5	25.0	18.8	18.8
	30歳代	41	17.1	14.6	22.0	31.7	7.3	14.6	14.6	12.2	12.2
	40歳代	71	9.9	12.7	22.5	40.8	9.9	8.5	5.6	28.2	14.1
	50歳代	68	2.9	1.5	13.2	44.1	8.8	8.8	1.5	39.7	17.6
	60歳代	78	15.4	9.0	11.5	38.5	17.9	10.3	9.0	35.9	17.9
	70歳代	116	6.9	7.8	16.4	33.6	12.9	6.0	5.2	52.6	14.7
	80歳以上	62	17.7	16.1	22.6	22.6	19.4	9.7	1.6	33.9	11.3
居住地区	高砂地区	51	17.6	9.8	11.8	21.6	17.6	11.8	7.8	35.3	25.5
	荒井地区	72	16.7	13.9	19.4	34.7	9.7	13.9	6.9	34.7	18.1
	伊保地区	66	4.5	6.1	12.1	37.9	15.2	6.1	7.6	36.4	9.1
	中筋地区	20	10.0	20.0	10.0	25.0	20.0	0.0	0.0	55.0	20.0
	曾根地区	54	11.1	5.6	14.8	37.0	13.0	9.3	9.3	46.3	14.8
	米田地区	99	14.1	11.1	22.2	39.4	10.1	8.1	6.1	30.3	16.2
	阿弥陀地区	58	6.9	5.2	20.7	29.3	19.0	8.6	5.2	36.2	12.1
	北浜地区	28	10.7	10.7	21.4	57.1	3.6	10.7	3.6	39.3	3.6

		合計	学校や地域での福祉教育の充実	災害時における高齢者や障がい者等への支援の充実	気軽に集い、交流ができる場づくりへの支援	地域福祉に関する活動を運営するための資金集め等の仕組みづくり	地域活動の拠点となる場所の確保	福祉サービス、制度の充実	その他	不明・無回答
単位：％ ※合計は「件」										
全体		454	13.9	23.8	14.5	2.6	3.5	31.5	5.9	4.4
性別	男性	198	14.6	21.7	14.6	3.5	4.5	37.4	7.6	5.1
	女性	253	13.4	25.7	14.2	2.0	2.8	26.9	4.7	3.6
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢	20歳代	16	31.3	18.8	31.3	18.8	6.3	31.3	6.3	6.3
	30歳代	41	41.5	19.5	12.2	7.3	4.9	17.1	7.3	2.4
	40歳代	71	23.9	26.8	15.5	0.0	5.6	33.8	4.2	1.4
	50歳代	68	7.4	26.5	11.8	0.0	2.9	41.2	7.4	1.5
	60歳代	78	11.5	20.5	16.7	5.1	1.3	32.1	5.1	5.1
	70歳代	116	6.0	25.9	14.7	0.9	3.4	29.3	7.8	4.3
	80歳以上	62	4.8	22.6	9.7	1.6	3.2	30.6	3.2	9.7
居住地区	高砂地区	51	5.9	21.6	15.7	7.8	3.9	31.4	11.8	5.9
	荒井地区	72	18.1	22.2	13.9	4.2	5.6	29.2	2.8	0.0
	伊保地区	66	19.7	33.3	13.6	1.5	1.5	21.2	6.1	10.6
	中筋地区	20	15.0	15.0	0.0	0.0	0.0	35.0	5.0	5.0
	曾根地区	54	7.4	14.8	14.8	0.0	1.9	35.2	3.7	3.7
	米田地区	99	14.1	23.2	16.2	2.0	3.0	38.4	6.1	2.0
	阿弥陀地区	58	15.5	25.9	19.0	1.7	6.9	32.8	5.2	5.2
	北浜地区	28	14.3	28.6	10.7	3.6	3.6	28.6	3.6	0.0

## Ⅱ. 民生委員対象アンケート調査

### 調査概要

#### 1. 調査の目的

第4期高砂市地域福祉計画策定の資料として、福祉の担い手である民生委員・児童委員の意識や活動状況などを把握するため、「第4期高砂市地域福祉計画策定に関するアンケート調査（民生委員・児童委員対象調査）」を実施しました。

#### 2. 調査の方法

調査対象	民生委員・児童委員 175 人（全数調査）
調査方法	民生委員・児童委員の会議等を通じて対象者に配布・回収
調査期間	令和3年9月15日～10月29日
調査内容	○回答者属性（性別、年齢、居住地区、居住年数） ○地域福祉活動の状況や活動に対する意識について ○地域の状況、関係機関・団体との連携などについて ○活動における課題などについて ○これからの地域福祉活動について

#### 3. 回収の結果

配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
175 件	163 件	93.1%	157 件	89.7%

#### 4. 調査データについて

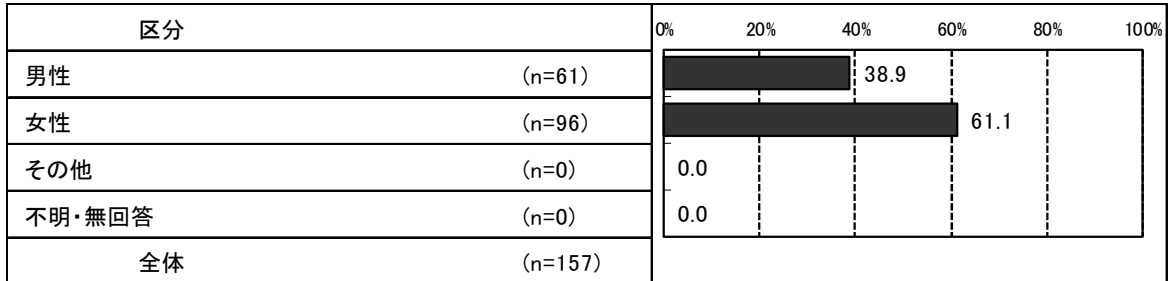
- 調査結果の項目に付加されている番号は関連する調査の設問番号です。
- 図表内に付加されている「n」は質問に対する回答者数です。
- 結果数値は少数点第2位を四捨五入してありますので、内訳の合計が100%にならないことがあります。
- 複数回答の場合、回答数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超えます。

## 調査結果

### 1. あなたご自身のことについて

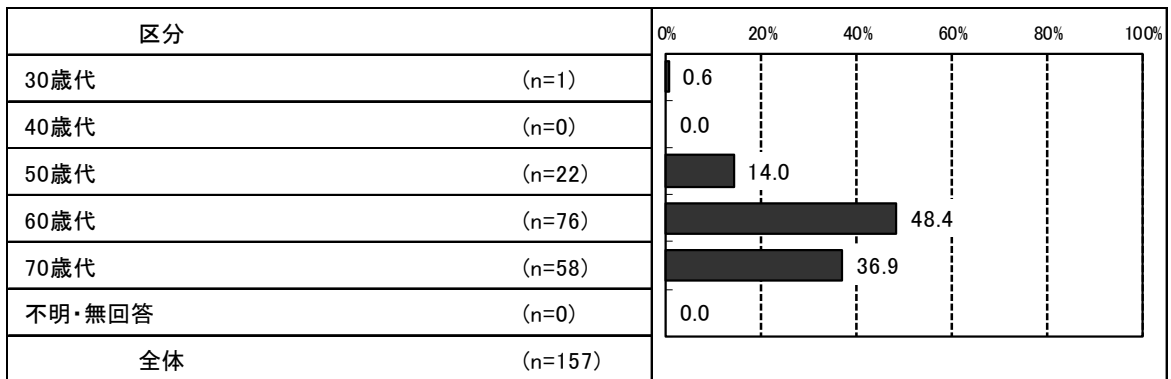
#### 1-1 あなたの性別は。【〇は1つだけ】

- 性別については、「女性」が61.1%で最も多く、「男性」(38.9%)がつついています。



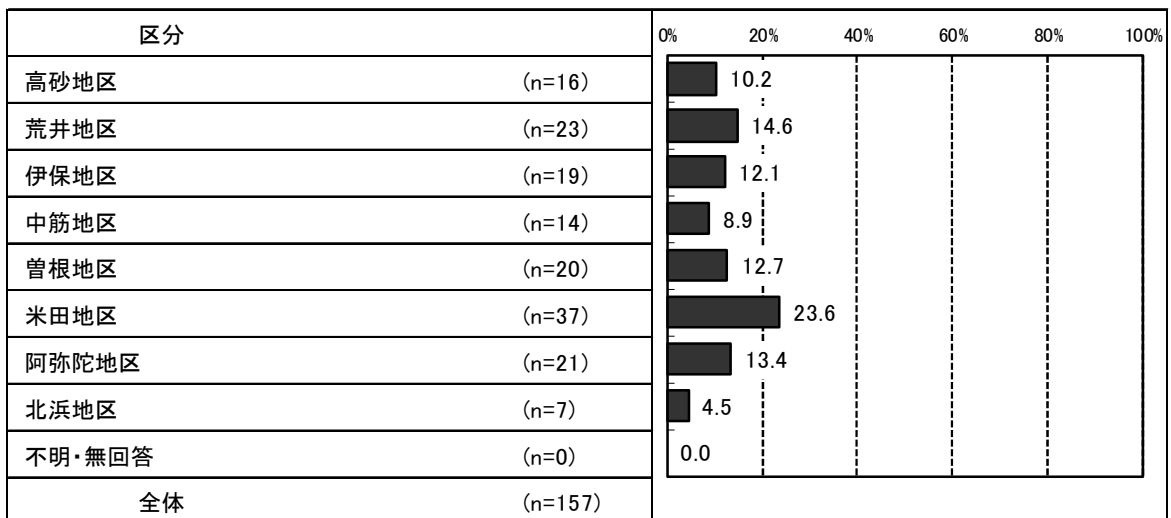
#### 1-2 あなたの年齢は。【〇は1つだけ】

- 年齢については、「60歳代」が48.4%で最も多く、「70歳代」(36.9%)、「50歳代」(14.0%)がつついています。



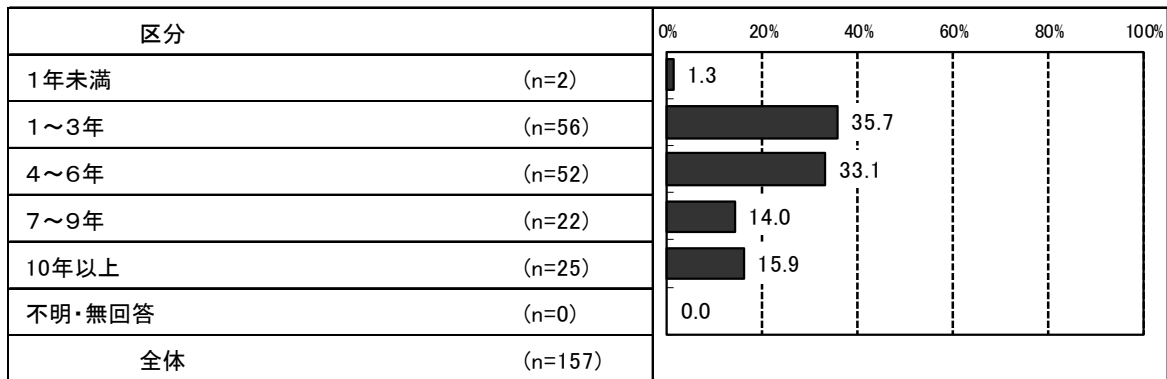
#### 1-3 あなたの担当地区は。【〇は1つだけ】

- 担当地区については、「米田地区」が23.6%で最も多く、「荒井地区」(14.6%)、「阿弥陀地区」(13.4%)がつついています。



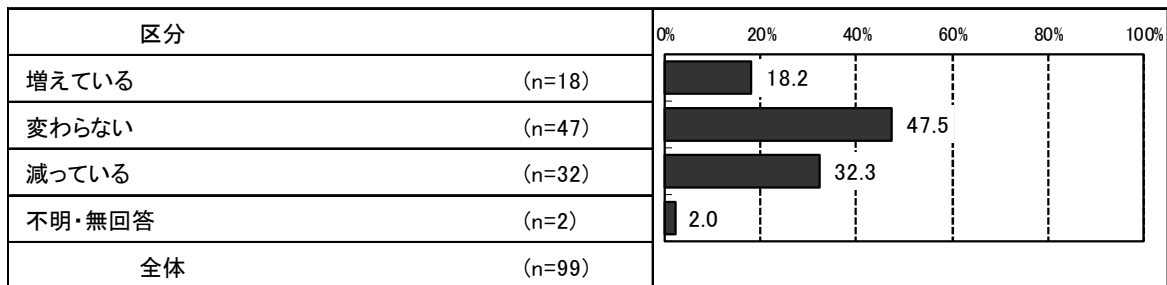
1-4 あなたが民生委員・児童委員になって何年（通算のべ年数）になりますか。【○は1つだけ】

- 民生委員・児童委員をしている年数については、「1～3年」が35.7%で最も多く、「4～6年」(33.1%)、「10年以上」(15.9%)がつづいています。



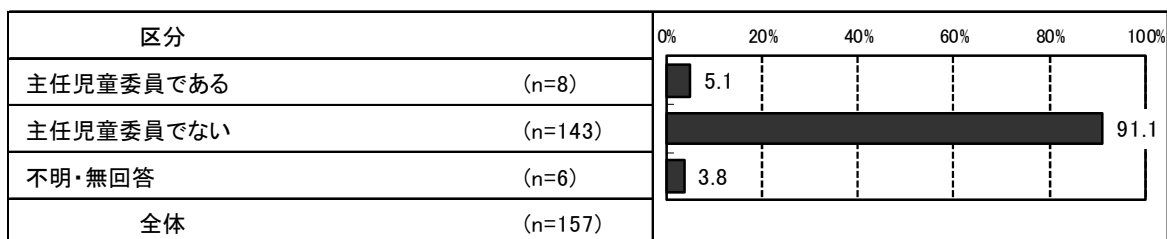
1-5 民生委員・児童委員が2期目以上の方（1-4で「3. 4～6年」「4. 7～9年」「5. 10年以上」と回答された方）におうかがいます。現在の民生委員・児童委員の活動は、前期と比べてどうですか。【○は1つだけ】

- 前期と比べて、現在の民生委員・児童委員の活動については、「変わらない」が47.5%で最も多く、「減っている」(32.3%)、「増えている」(18.2%)がつづいています。



1-6 あなたは主任児童委員ですか。【○は1つだけ】

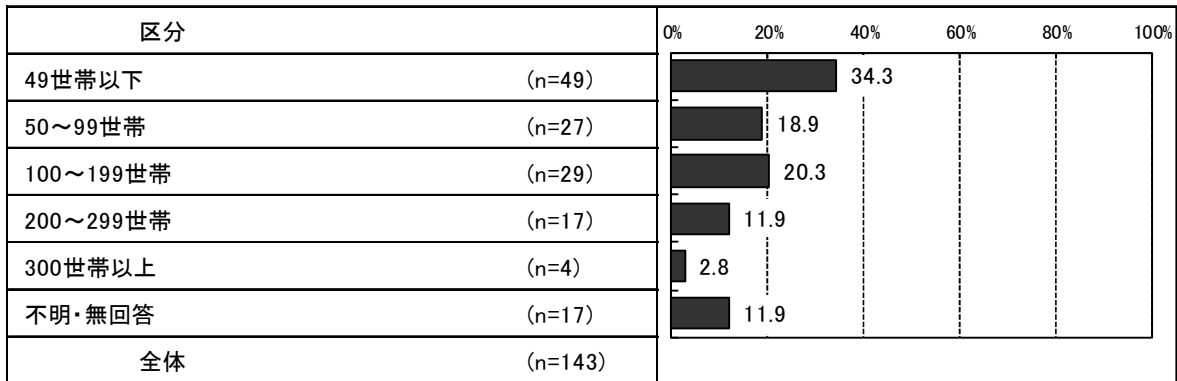
- 主任児童委員かどうかについては、「主任児童委員でない」が91.1%、「主任児童委員である」が5.1%となっています。



1-7 主任児童委員でない方におうかがいします。あなたが担当する世帯数などについてお教え下さい。【①～③について、世帯数を記載ください】

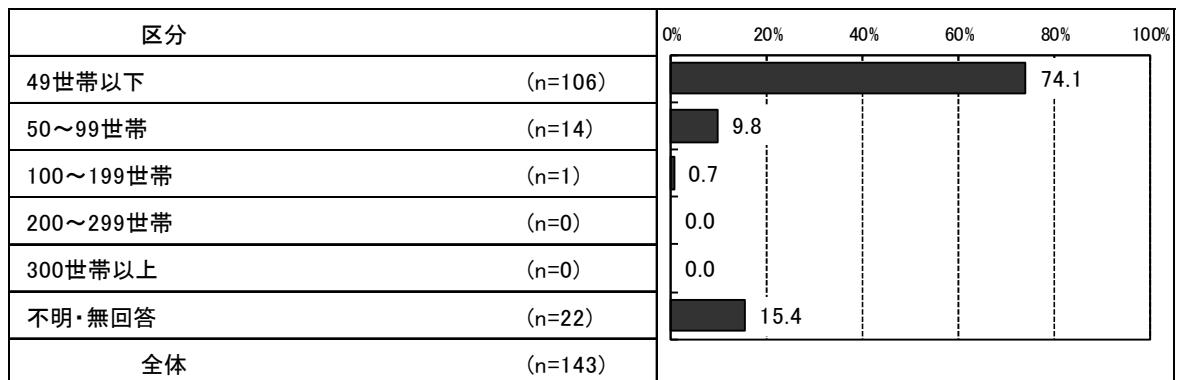
①担当する世帯

■ 担当する世帯数については、「49世帯以下」が34.3%で最も多く、「100～199世帯」(20.3%)、「50～99世帯」(18.9%)がつづいています。また、平均は100.5世帯となっています。

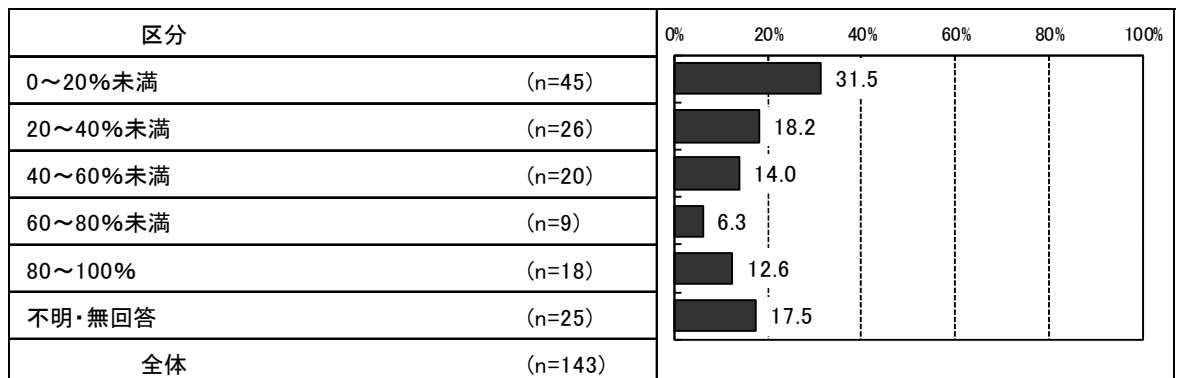


②現在、継続的に見守りを行っている世帯数

■ 現在、継続的に見守りを行っている世帯数については、「49世帯以下」が74.1%で最も多く、「50～99世帯」(9.8%)、「100～199世帯」(0.7%)がつづいています。また、1人あたりの平均値は26.7世帯となっています。

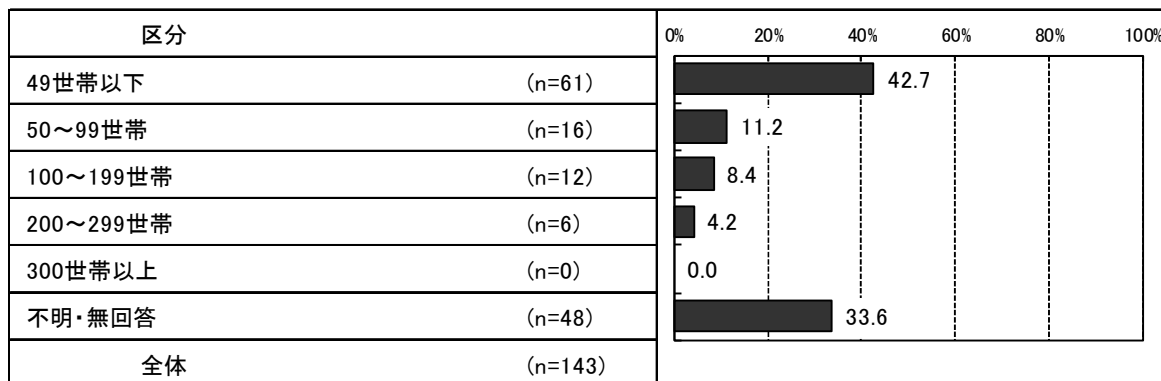


■ 担当する世帯数に対する継続的に見守りを行っている世帯数の割合をみると、「0～20%未満」が31.5%で最も多く、「20～40%未満」(18.2%)、「40～60%未満」(14.0%)がつづいています。

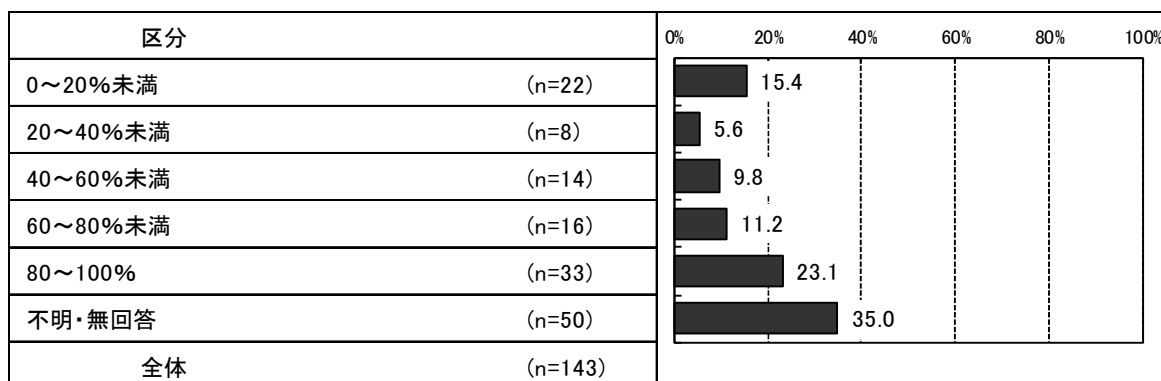


### ③基本情報以外は把握していない世帯数

- 基本情報以外は把握していない世帯数については、「49世帯以下」が42.7%で最も多く、「50～99世帯」(11.2%)、「100～199世帯」(8.4%)がつづいています。平均は55.3世帯となっています。



- 担当する世帯数に対する基本情報以外は把握していない世帯数の割合をみると、「80～100%」が23.1%で最も多く、「0～20%未満」(15.4%)、「60～80%未満」(11.2%)がつづいています。

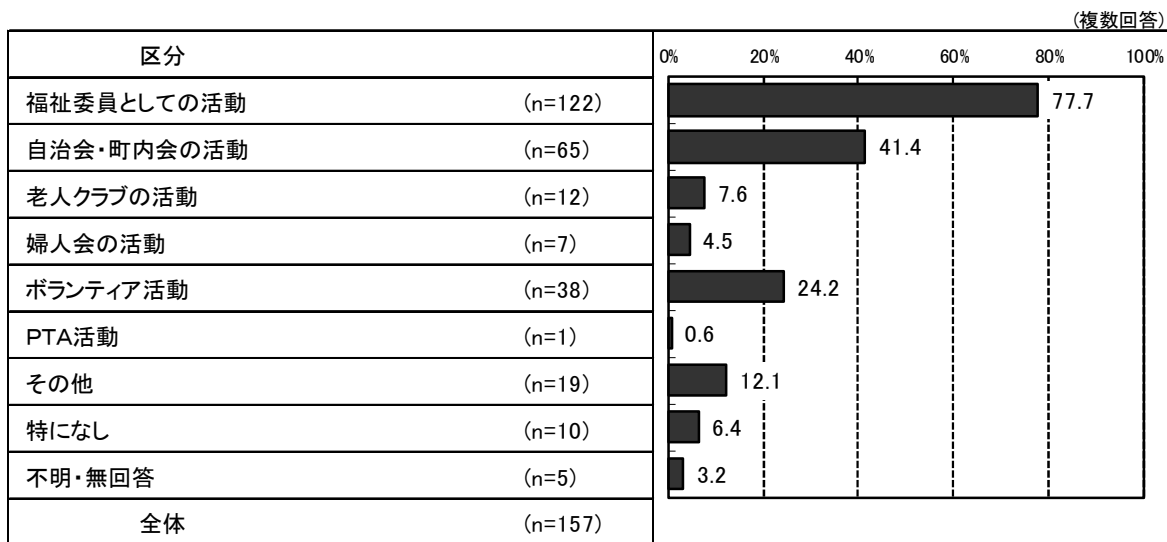


## 2. 活動状況や活動に対する意識について

2-1 現在、民生委員・児童委員活動以外で、あなたが地域福祉に関わっている活動はどれですか。

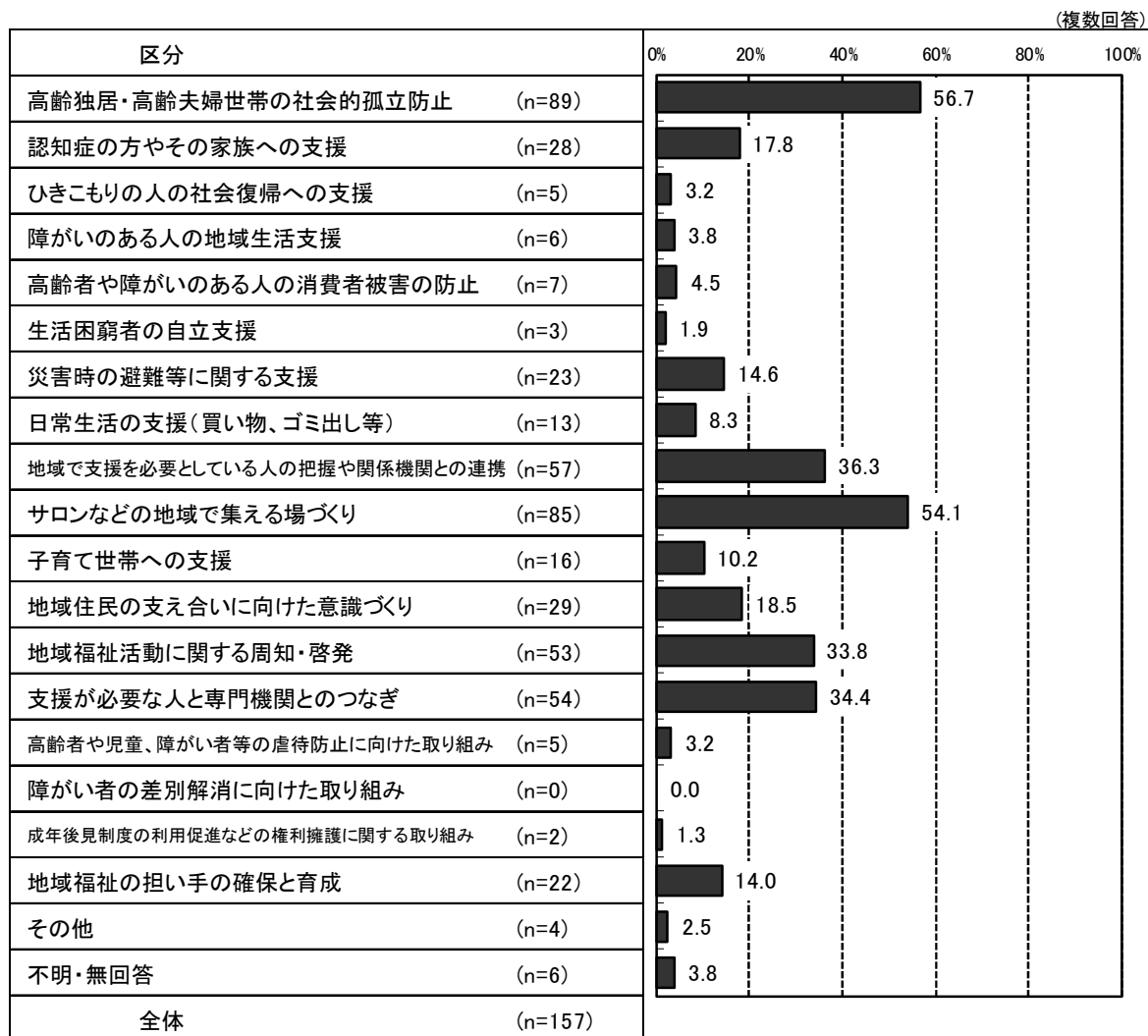
【あてはまるものすべてに○】

- 現在、民生委員・児童委員活動以外で地域福祉に関わっている活動については、「福祉委員としての活動」が77.7%で最も多く、「自治会・町内会の活動」(41.4%)、「ボランティア活動」(24.2%)がつづいています。



## 2-2 民生委員・児童委員の活動のなかで、現在、対応することが多い活動は何ですか。【〇は5つまで】

■ 民生委員・児童委員の活動のなかで、現在対応することが多い活動については、「高齢独居・高齢夫婦世帯の社会的孤立防止」が56.7%で最も多く、「サロンなどの地域で集える場づくり」(54.1%)、「地域で支援を必要としている人の把握や関係機関との連携」(36.3%)がつづいています。

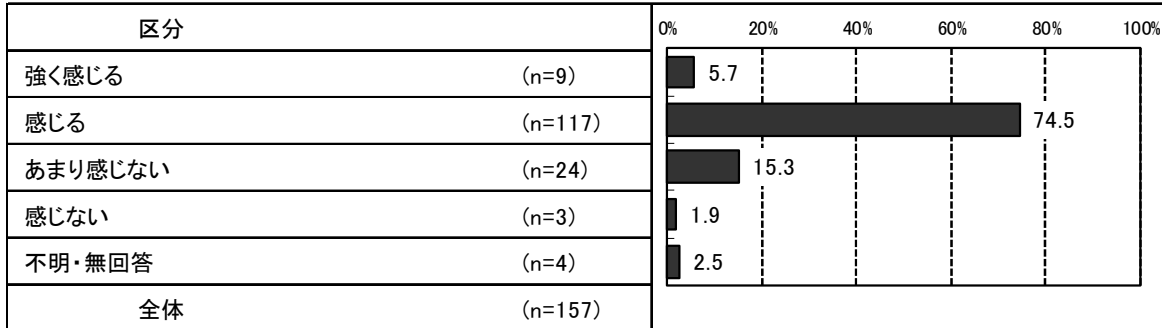




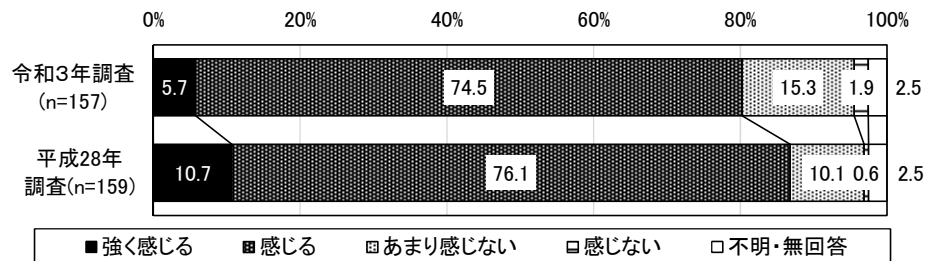
## 2-3 現在の活動について、どのように感じていますか。【①～③でそれぞれ〇は1つ】

### ① やりがい・使命感

- やりがい・使命感については、「感じる」が 74.5%で最も多く、「あまり感じない」(15.3%)、「強く感じる」(5.7%)がつづいており、やりがい・使命感を持つ人(「強く感じる」+「感じる」)が 80.2%を占めています。

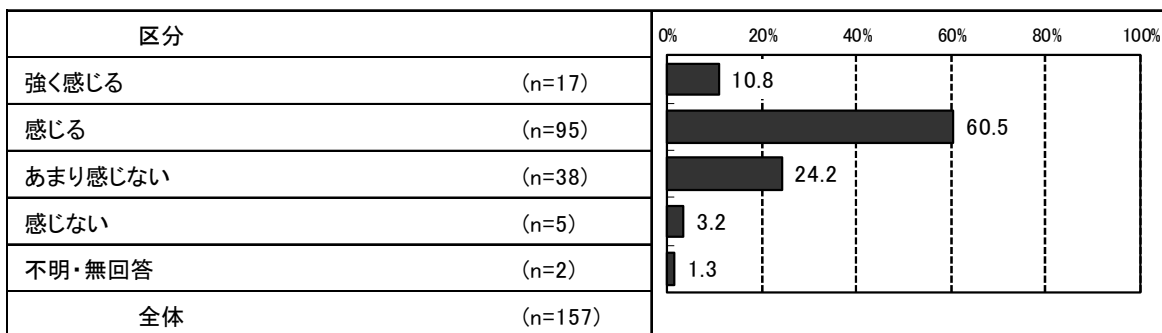


- やりがい・使命感については、平成 28 年調査と比較すると、「強く感じる」は 5.7%で平成 28 年調査(10.7%)の半分程度になっています。また、「あまり感じない」は 15.3%で平成 28 年調査(10.1%)から 5 ポイント程度増加しています。

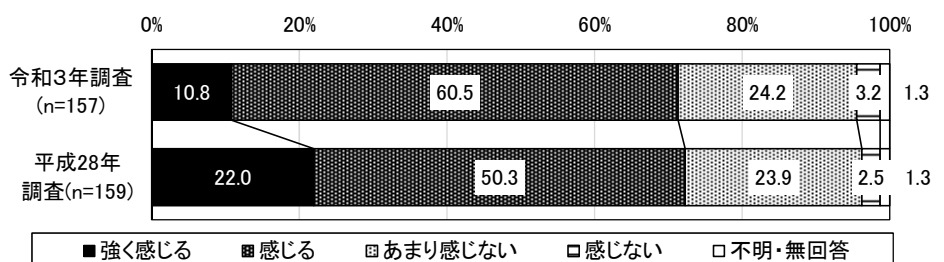


### ② 負担感

- 負担感については、「感じる」が 60.5%で最も多く、「あまり感じない」(24.2%)、「強く感じる」(10.8%)がつづいており、負担感を持つ人(「強く感じる」+「感じる」)が 71.3%を占めています。

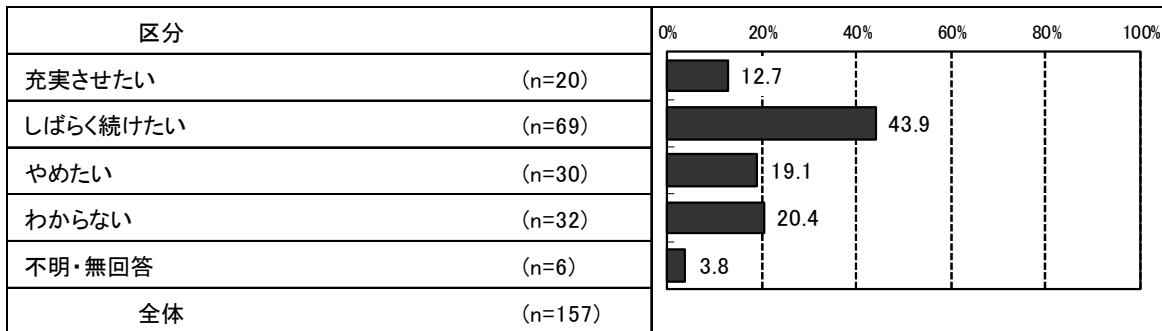


- 負担感については、平成 28 年調査と比較すると、「強く感じる」は 10.8%で平成 28 年調査(22.0%)の半分程度になっています。また、「感じる」は 60.5%で平成 28 年調査(50.3%)から 10 ポイント程度減少しています。



### ③今後の活動意向

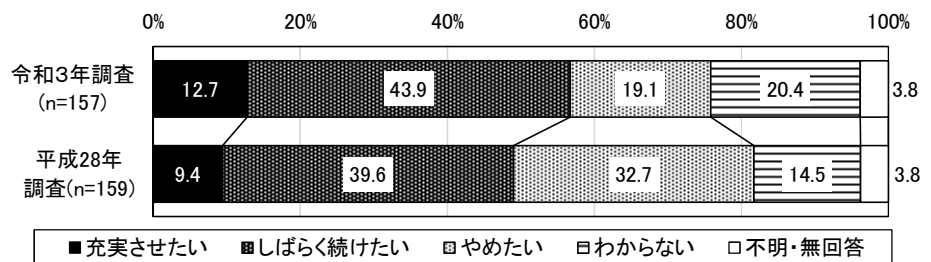
- 今後の活動意向については、「しばらく続けたい」が43.9%で最も多く、「わからない」(20.4%)、「やめたい」(19.1%)がつづいており、継続意向がある人(「充実させたい」+「しばらく続けたい」)は56.7%を占めています。



- 負担感については、平成28年調査と比較すると、「充実させたい」は12.7%で平成28年調査(9.4%)から3ポイント程度、「しばらく続けたい」は43.9%で平成28年調査(39.6%)から4ポイント程度増加しています。

また、「やめたい」は19.1%で平成28年調査(32.7%)から14ポイント程度減少しています。

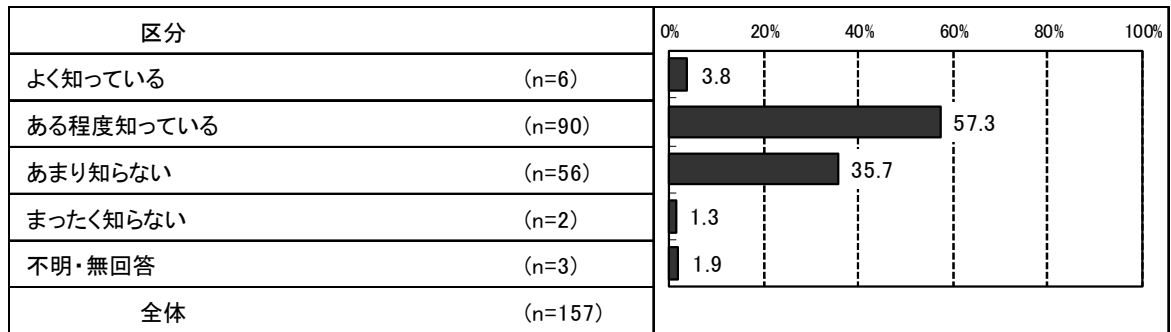
さらに、「わからない」は20.4%で、平成28年調査(14.5%)から6ポイント程度増加しています。



### 3. 地域の状況について

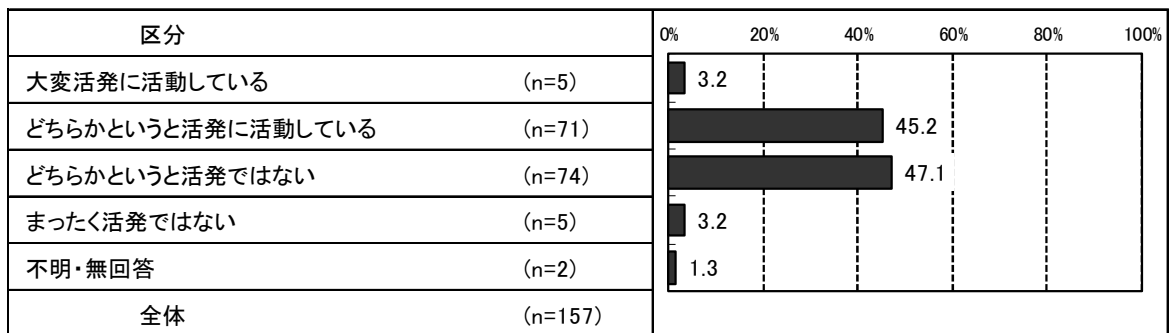
#### 3-1 あなたが活動されている地域の住民のみなさんは、民生委員・児童委員の役割や活動について、よく知っていると思いますか。【〇は1つだけ】

■ 活動している地域の住民が、民生委員・児童委員の役割や活動について、よく知っていると思うかについては、「ある程度知っている」が57.3%で最も多く、「あまり知らない」(35.7%)、「よく知っている」(3.8%)がつづいています。



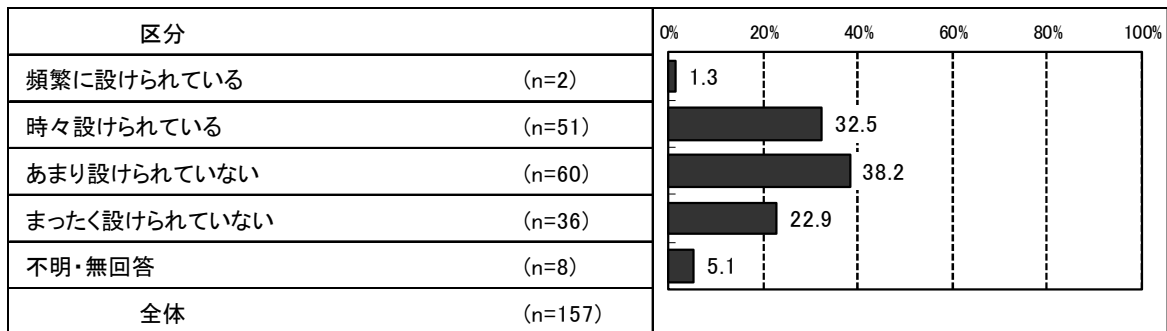
#### 3-2 あなたが活動されている地域での行事や住民による地域活動について、どのように感じていますか。【〇は1つだけ】

■ 活動している地域での行事や住民による地域活動をどのように感じるかについては、「どちらかというと活発ではない」が47.1%で最も多く、「どちらかというと活発に活動している」(45.2%)、「大変活発に活動している」と「まったく活発ではない」が、ともに3.2%がつづいています。



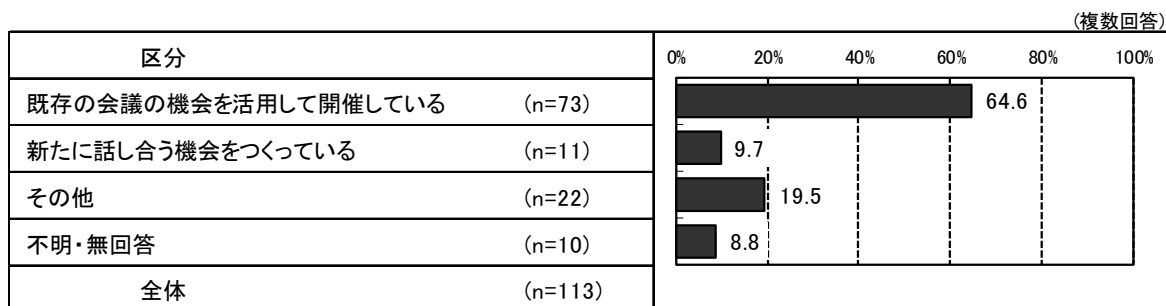
### 3-3 あなたが活動されている地域の住民のみなさんが、地域の福祉課題を話し合う機会がありますか。【〇は1つだけ】

■ 地域の福祉課題を話し合う機会の有無については、「あまり設けられていない」が38.2%で最も多く、「時々設けられている」(32.5%)、「まったく設けられていない」(22.9%)がつづいており、地域に福祉課題を話し合う機会が設けられているとする人（頻繁に設けられている」+「時々設けられている」）は33.8%となっています。



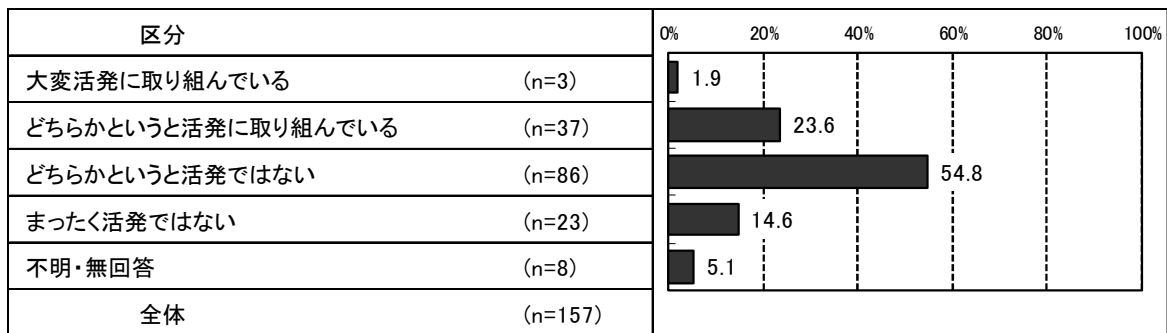
#### ①具体的にどのような機会ですか。【〇はいくつでも】

■ 話し合う機会の具体的な内容についてみると、「既存の会議の機会を活用して開催している」が64.6%で最も多く、「その他」(19.5%)、「新たに話し合う機会をつくっている」(9.7%)がつづいています。



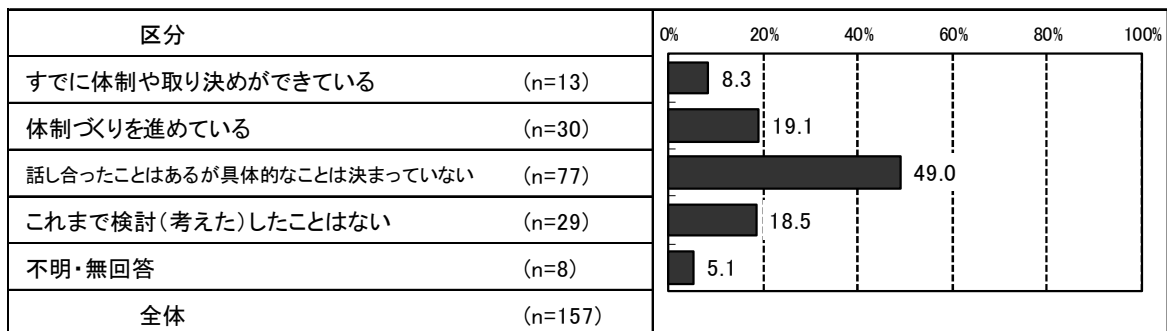
3-4 あなたが活動されている地域での防災訓練や自主防災組織の活動など、災害対策の取り組みについて、どのように感じていますか。【○は1つだけ】

- 災害対策の取り組みについては、「どちらかというと活発ではない」が 54.8%で最も多く、「どちらかというと活発に取り組んでいる」(23.6%)、「まったく活発ではない」(14.6%)が つづいています。



3-5 あなたが活動されている地域では、高齢や障がいなどで支援が必要な人が、災害時に避難できる体制や配慮がなされていると思いますか。【○は1つだけ】

- 活動している地域において、支援が必要な人が災害時に避難できる体制や配慮がなされているかについては、「話し合ったことはあるが具体的なことは決まっていない」が 49.0%で最も多く、「体制づくりを進めている」(19.1%)、「これまで検討(考えた)したことはない」(18.5%)が つづいています。



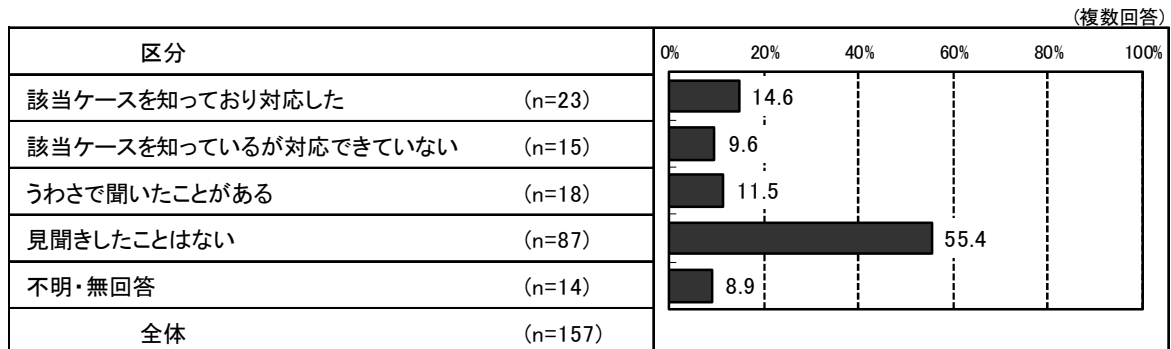
### 3-6 地域で活動するなかで、以下のような事が見聞きしたことや対応されたことはありますか。【①～⑨でそれぞれ、あてはまるものすべてに○】

#### ①複合的な課題を抱える世帯

- 複合的な課題を抱える世帯については、「見聞きしたことはない」が 55.4%で最も多く、「該当ケースを知っており対応した」(14.6%)、「うわさで聞いたことがある」(11.5%)がつづいています。

また、地域において複合的な課題を抱える世帯を認知している民生委員・児童委員の割合（全体から「見聞きしたことはない」と「不明・無回答」を引いた割合）は 35.7%となっています。

なお、該当ケースを知った場合に対応した割合\*は 60.5%となっています。



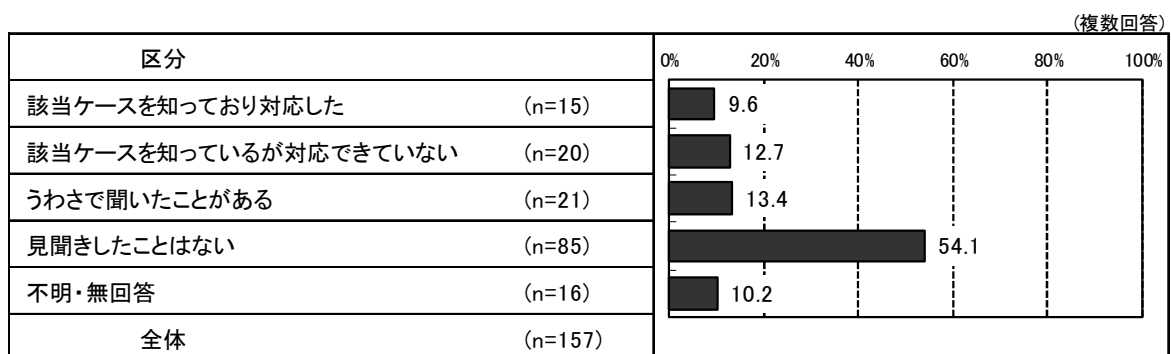
※「該当ケースを知った場合に対応した割合」＝「該当ケースを知っており対応した」件数 ÷（「該当ケースを知っており対応した」件数 ＋ 「該当ケースを知っているが対応できていない」件数）

#### ②社会的孤立状態にある人・世帯

- 社会的孤立状態にある人・世帯については、「見聞きしたことはない」が 54.1%で最も多く、「うわさで聞いたことがある」(13.4%)、「該当ケースを知っているが対応できていない」(12.7%)がつづいています。

また、地域において社会的孤立状態にある人・世帯を認知している民生委員・児童委員の割合（全体から「見聞きしたことはない」と「不明・無回答」を引いた割合）は 35.7%となっています。

なお、該当ケースを知った場合に対応した割合\*は 42.9%となっています。



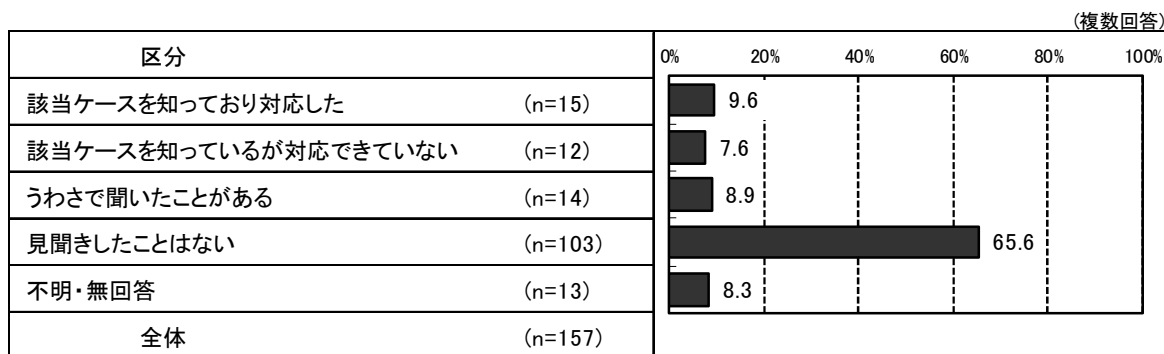
※「該当ケースを知った場合に対応した割合」＝「該当ケースを知っており対応した」件数 ÷（「該当ケースを知っており対応した」件数 ＋ 「該当ケースを知っているが対応できていない」件数）

### ③生活困窮者・生活困窮世帯

- 生活困窮者・生活困窮世帯については、「見聞きしたことはない」が 65.6%で最も多く、「該当ケースを知っており対応した」(9.6%)、「うわさで聞いたことがある」(8.9%)がつづいています。

また、地域において生活困窮者・生活困窮世帯を認知している民生委員・児童委員の割合（全体から「見聞きしたことはない」と「不明・無回答」を引いた割合）は 26.1%となっています。

なお、該当ケースを知った場合に対応した割合\*は 55.6%となっています。



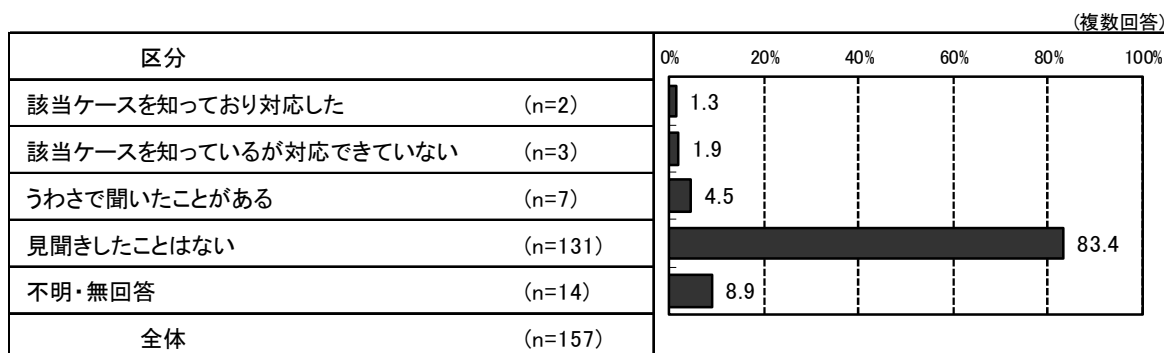
※「該当ケースを知った場合に対応した割合」= 「該当ケースを知っており対応した」件数 ÷ (「該当ケースを知っており対応した」件数 + 「該当ケースを知っているが対応できていない」件数)

### ④消費者被害を受けた高齢者・障がい者

- 消費者被害を受けた高齢者・障がい者については、「見聞きしたことはない」が 83.4%で最も多く、「うわさで聞いたことがある」(4.5%)、「該当ケースを知っているが対応できていない」(1.9%)がつづいています。

また、地域において消費者被害を受けた方を認知している民生委員・児童委員の割合（全体から「見聞きしことはない」と「不明・無回答」を引いた割合）は 7.6%となっています。

なお、該当ケースを知った場合に対応した割合\*は 40.0%となっています。



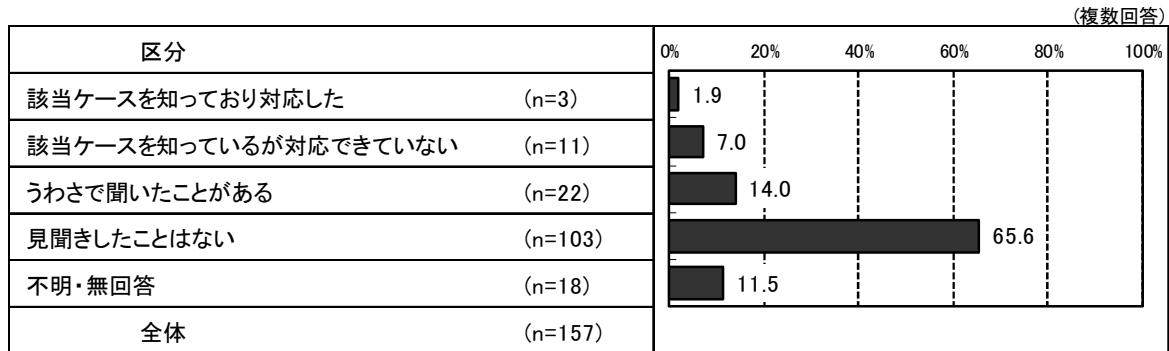
※「該当ケースを知った場合に対応した割合」= 「該当ケースを知っており対応した」件数 ÷ (「該当ケースを知っており対応した」件数 + 「該当ケースを知っているが対応できていない」件数)

## ⑤若年層のひきこもりの方

- 若年層のひきこもりの方については、「見聞きしたことはない」が 65.6%で最も多く、「うわさで聞いたことがある」(14.0%)、「該当ケースを知っているが対応できていない」(7.0%)がつづいています。

また、地域においてひきこもりの方を認知している民生委員・児童委員の割合（全体から「見聞きしたことはない」と「不明・無回答」を引いた割合）は 22.9%となっています。

なお、該当ケースを知った場合に対応した割合\*は 21.4%となっています。



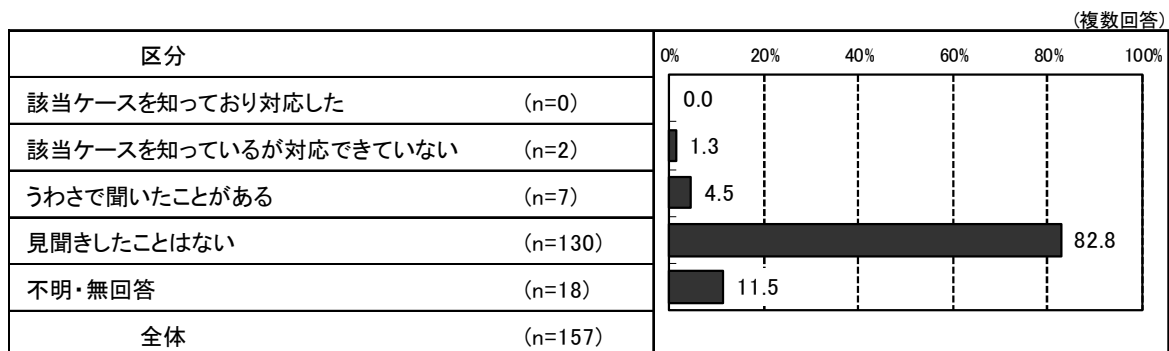
※「該当ケースを知った場合に対応した割合」＝「該当ケースを知っており対応した」件数 ÷ （「該当ケースを知っており対応した」件数 ＋ 「該当ケースを知っているが対応できていない」件数）

## ⑥障がいのある人・家族への差別

- 障がいのある人・家族への差別については、「見聞きしたことはない」が 82.8%で最も多く、「うわさで聞いたことがある」(4.5%)、「該当ケースを知っているが対応できていない」(1.3%)がつづいています。

また、地域において障がいのある人・家族への差別を認知している民生委員・児童委員の割合（全体から「見聞きしたことはない」と「不明・無回答」を引いた割合）は 5.7%となっています。

なお、該当ケースを知った場合に対応した割合\*は 0.0%となっています。



※「該当ケースを知った場合に対応した割合」＝「該当ケースを知っており対応した」件数 ÷ （「該当ケースを知っており対応した」件数 ＋ 「該当ケースを知っているが対応できていない」件数）

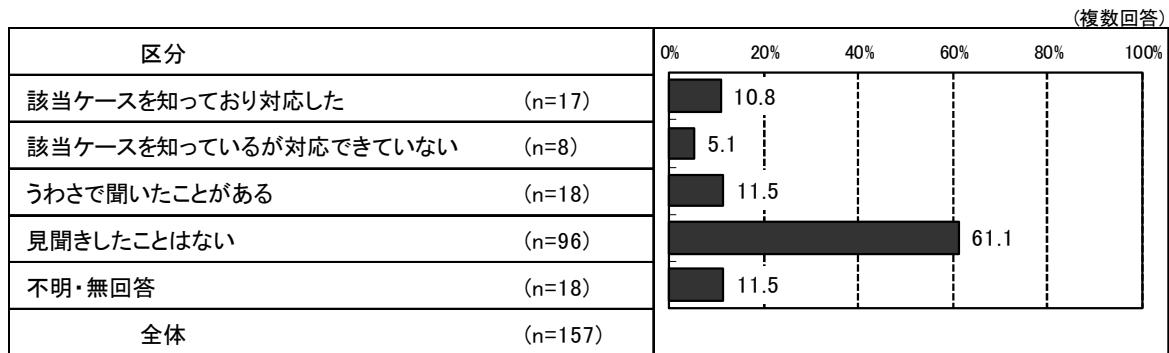


## ⑦家族介護が負担になっている世帯

- 家族介護が負担になっている世帯については、「見聞きしたことはない」が 61.1%で最も多く、「うわさで聞いたことがある」(11.5%)、「該当ケースを知っており対応した」(10.8%)がつづいています。

また、地域において家族介護が負担になっている世帯を認知している民生委員・児童委員の割合(全体から「見聞きしたことはない」と「不明・無回答」を引いた割合)は 27.4%となっています。

なお、該当ケースを知った場合に対応した割合\*は 68.0%となっています。



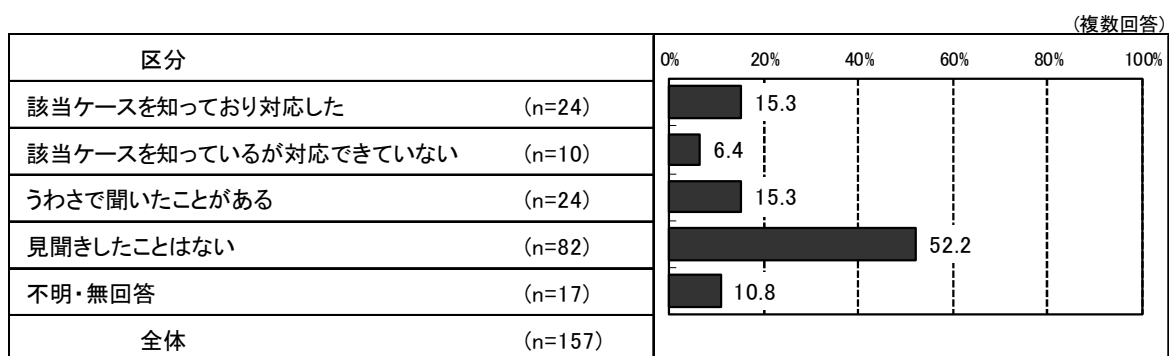
※「該当ケースを知った場合に対応した割合」= 「該当ケースを知っており対応した」件数 ÷ (「該当ケースを知っており対応した」件数 + 「該当ケースを知っているが対応できていない」件数)

## ⑧本人の判断能力が不十分な方

- 本人の判断能力が不十分な方については、「見聞きしたことはない」が 52.2%で最も多く、「該当ケースを知っており対応した」と「うわさで聞いたことがある」が、ともに 15.3%、「該当ケースを知っているが対応できていない」(6.4%)がつづいています。

また、地域において本人の判断能力が不十分な方を認知している民生委員・児童委員の割合(全体から「見聞きしたことはない」と「不明・無回答」を引いた割合)は 36.9%となっています。

なお、該当ケースを知った場合に対応した割合\*は 70.6%となっています。



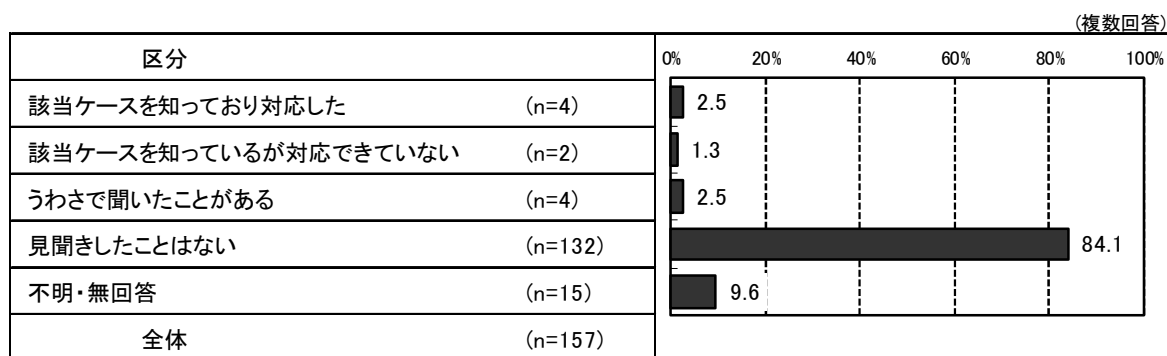
※「該当ケースを知った場合に対応した割合」= 「該当ケースを知っており対応した」件数 ÷ (「該当ケースを知っており対応した」件数 + 「該当ケースを知っているが対応できていない」件数)

### ⑨子どもや高齢者、障がい者、配偶者・恋人等への虐待に関する事案

- 子どもや高齢者、障がい者、配偶者・恋人等への虐待に関する事案については、「見聞きしたことはない」が84.1%で最も多く、「該当ケースを知っており対応した」と「うわさで聞いたことがある」が、ともに2.5%、「該当ケースを知っているが対応できていない」(1.3%)がつづいています。

また、地域において子どもや高齢者、障がい者、配偶者・恋人等への虐待に関する事案を認知している民生委員・児童委員の割合（全体から「見聞きしたことはない」と「不明・無回答」を引いた割合）は6.4%となっています。

なお、該当ケースを知った場合に対応した割合※は66.7%となっています。



※「該当ケースを知った場合に対応した割合」＝「該当ケースを知っており対応した」件数 ÷ （「該当ケースを知っており対応した」件数 ＋ 「該当ケースを知っているが対応できていない」件数）

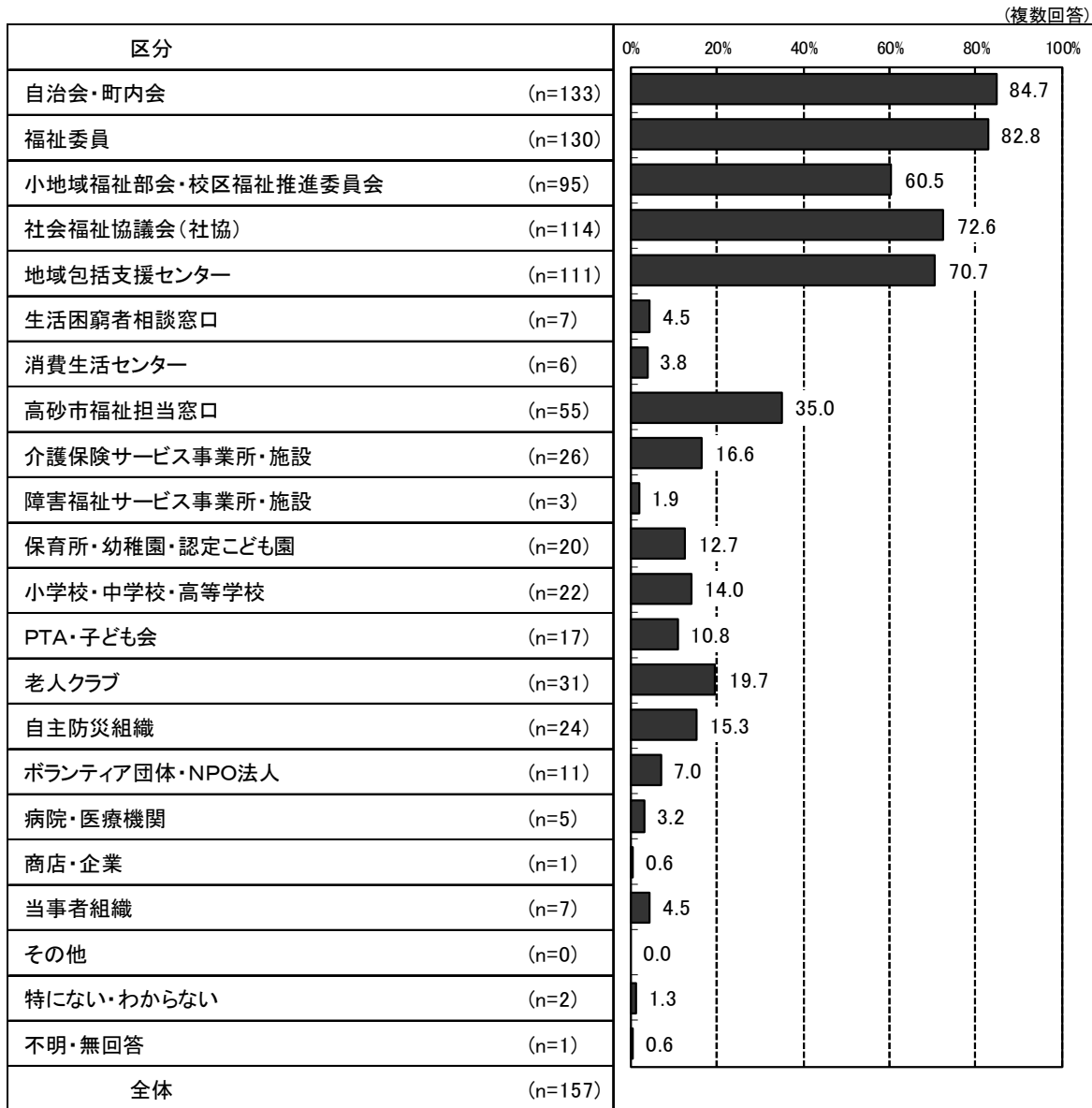
### 3-7 新型コロナウイルス感染症の影響で、地域において問題となっていると感じることについて、具体的にお教えてください。

内容	延件数
地域での活動ができない、地域で集まる機会がない・減少している	42件
高齢者の外出機会が減少し、虚弱や孤立、ひきこもりなどの問題が生まれている	16件
地域での見守り、訪問活動ができず、支援が必要な人の現状が把握しづらい、できない	15件
コミュニケーション・交流がしにくくなっている	6件
感染の危険性、感染予防の負担などで活動がしづらい	5件
その他（日常生活の制限によるストレス発生、コロナ禍での活動の工夫、ワクチン接種の申し込みが煩雑など）	10件
特になし	16件
回答件数（実数）	85件

#### 4. 関係機関・団体等との連携状況、福祉事業者の社会貢献等について

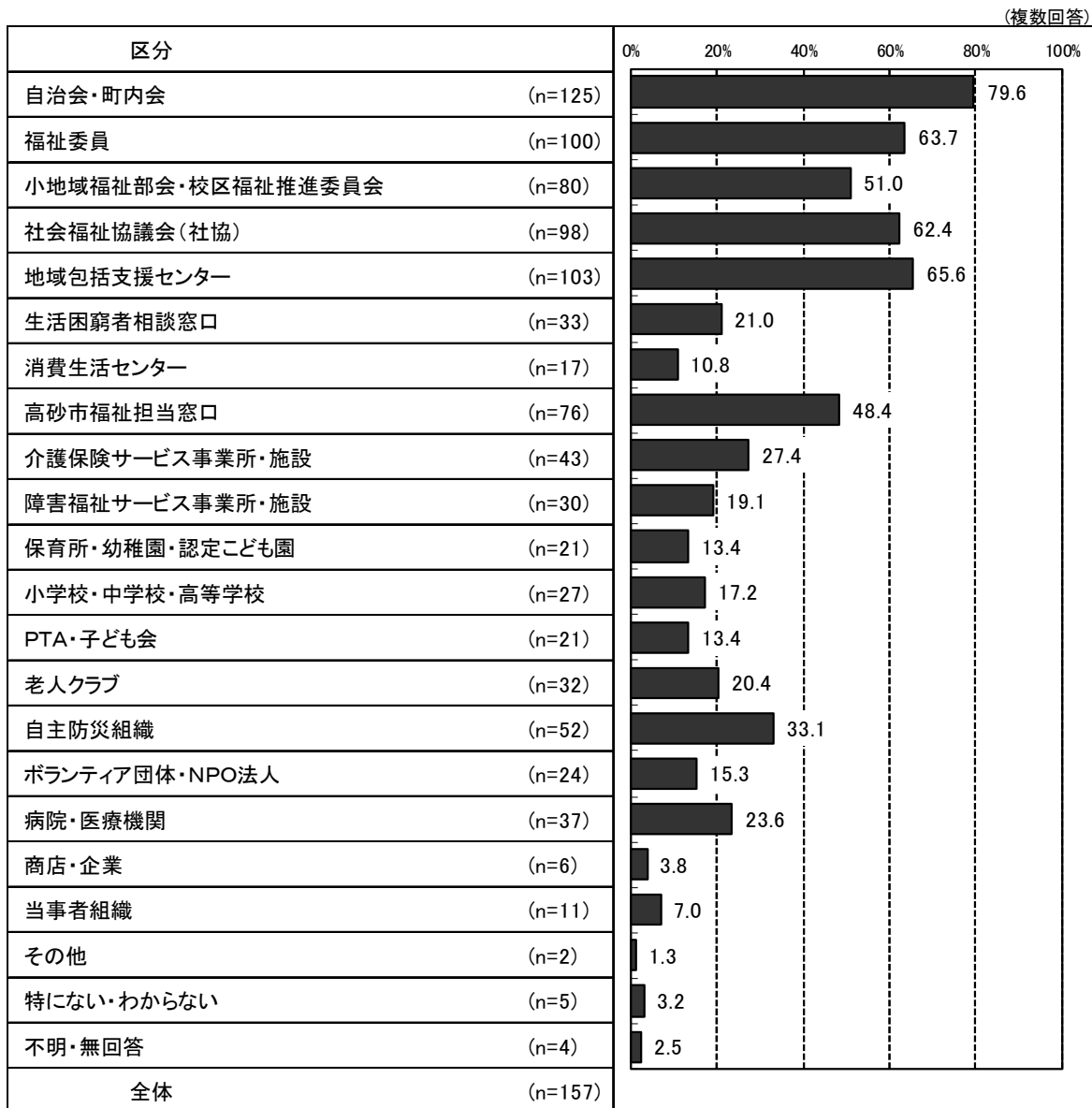
##### 4-1 民生委員・児童委員活動において、現在連携している関係機関・団体、専門職等などは何ですか。【〇はいくつでも】

■ 民生委員・児童委員活動において、現在連携している関係機関・団体、専門職等をみると、「自治会・町内会」が84.7%で最も多く、「福祉委員」(82.8%)、「社会福祉協議会(社協)」(72.6%)、「地域包括支援センター」(70.7%)、「小地域福祉部会・校区福祉推進委員会」(60.5%)がみつづいています。



#### 4-2 今後、活動を進めていくにあたり、地域において連携が必要と思われる関係機関・団体、専門職などは何ですか。【〇はいくつでも】

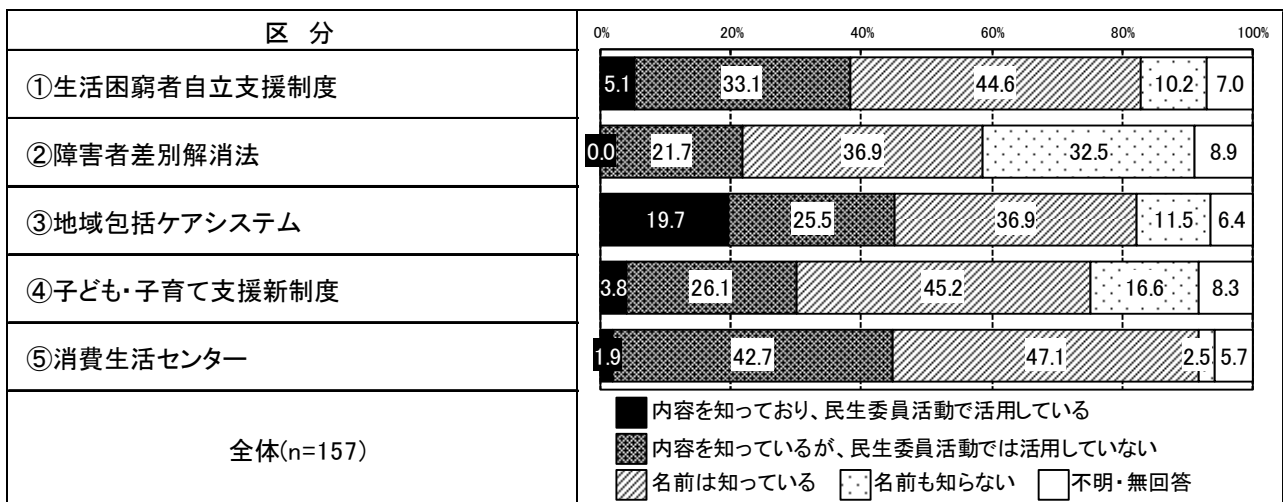
- 今後、活動を進めていくにあたり、地域において連携が必要と思われる関係機関・団体、専門職等については、「自治会・町内会」が79.6%で最も多く、「地域包括支援センター」(65.6%)、「福祉委員」(63.7%)、「社会福祉協議会(社協)」(62.4%)、「小地域福祉部会・校区福祉推進委員会」(51.0%)がつづいています。
- 現在の連携状況を合わせてみると、上位6項目は同じ関係機関・団体、専門職となっています。一方、「病院・医療機関」「生活困窮者相談窓口」「障害福祉サービス事業所・施設」では今後連携が必要とする割合が20%程度と一定の連携ニーズが確認されますが、現在連携しているとする割合は5%に達しておらず、乖離が大きくなっています。



## 5. 地域福祉に関連する取り組みなどについて

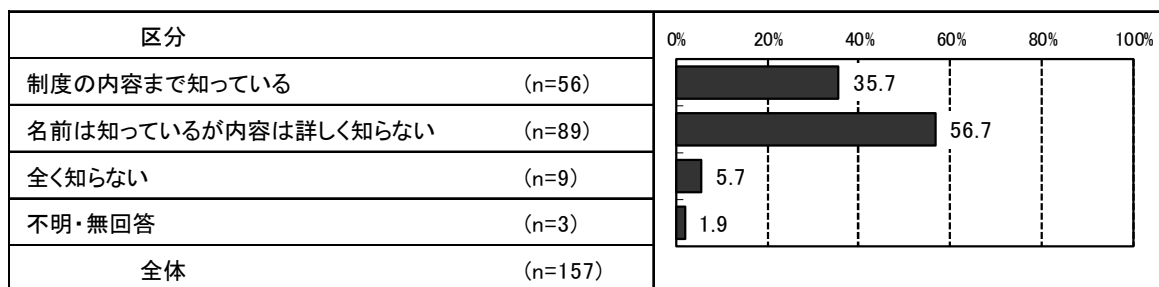
### 5-1 以下にあげる制度・サービスや法律などについて、どのような内容かご存知ですか。また、活用されていますか。【①～⑤でそれぞれ〇は1つ】

- 制度・サービスや法律の認知状況・活用状況を見ると、すべての項目で「名前は知っている」が最も多くなっています。また、「内容を知っており、民生委員活動で活用している」については、「②地域包括ケアシステム」が19.7%で最も多くなっています。一方、「名前も知らない」項目については、「②障害者差別解消法」が32.5%で最も多くなっています。
- 「③地域包括ケアシステム」と「⑤消費生活センター」以外の項目では、内容を知らないとする民生委員・児童委員が半数以上となっており、認知が進んでいないことがうかがえます。



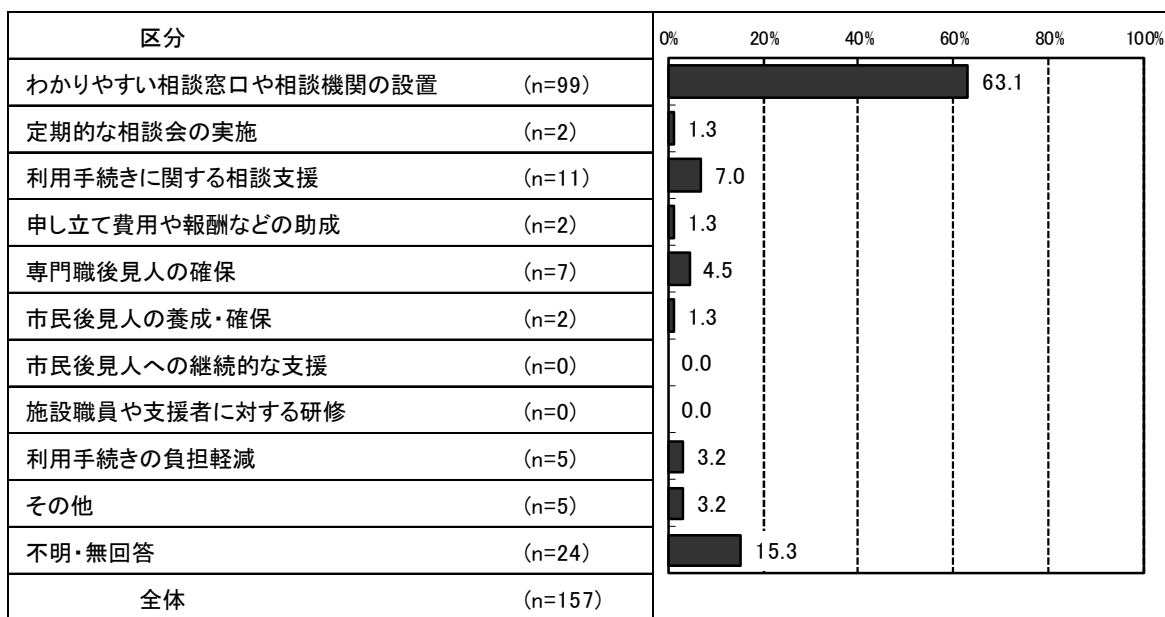
## 5-2 あなたは、成年後見制度をご存じですか。【○は1つだけ】

- 成年後見制度の認知度については、「名前は知っているが内容は詳しく知らない」が56.7%で最も多く、「制度の内容まで知っている」(35.7%)、「全く知らない」(5.7%)がつづいています。



## 5-3 成年後見制度を利用しやすくするために高砂市に期待する機能、役割は何ですか。【○は1つだけ】

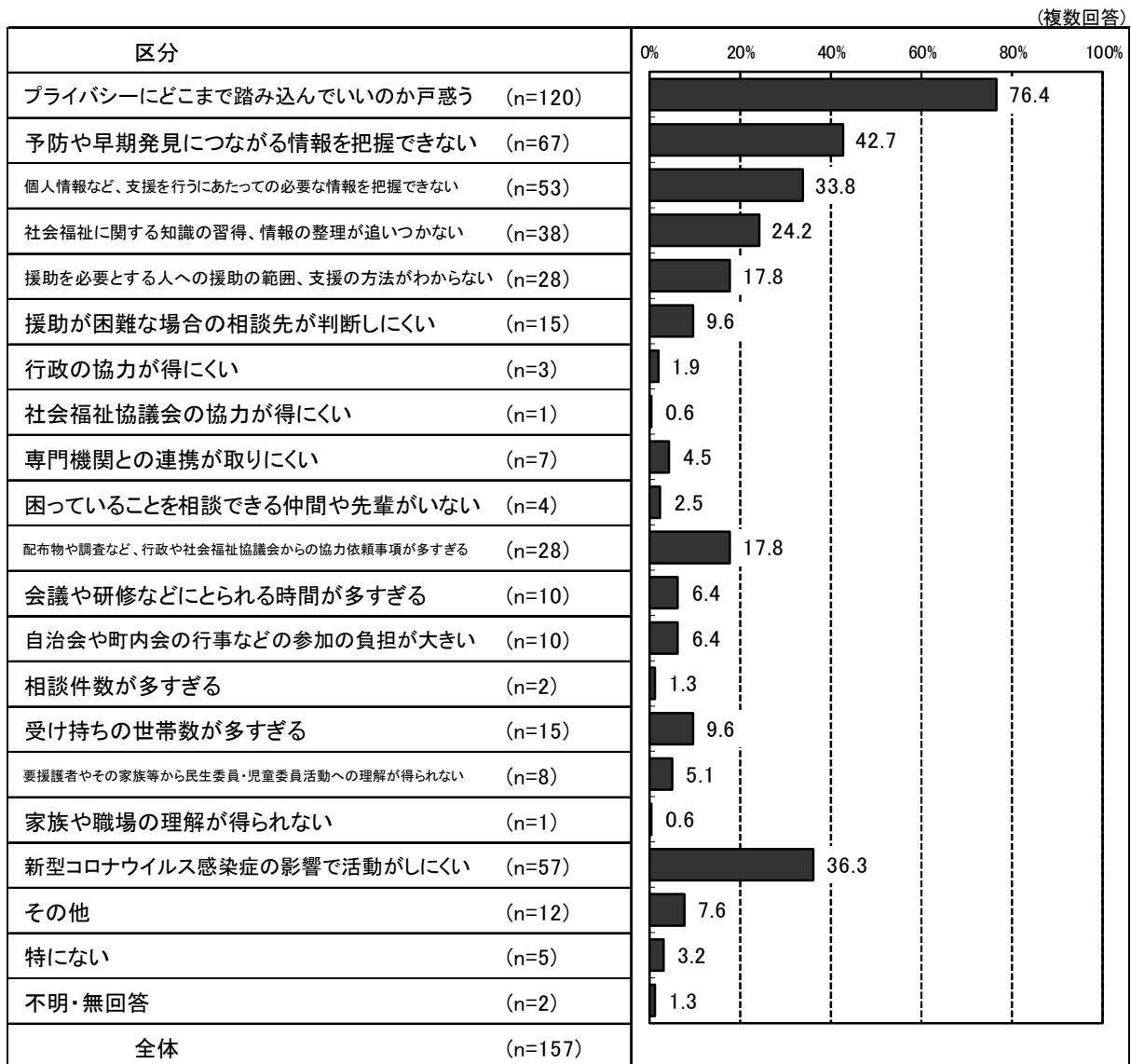
- 成年後見制度を利用しやすくするために高砂市に期待する機能、役割については、「わかりやすい相談窓口や相談機関の設置」が63.1%で最も多く、「利用手続きに関する相談支援」(7.0%)、「専門職後見人の確保」(4.5%)がつづいています。



## 6. 活動に関する課題について

### 6-1 民生委員・児童委員の活動全般での悩みや苦勞、不安はどのようなものですか。ご自身の気持ちに近いものについて、お答えください。【〇は5つまで】

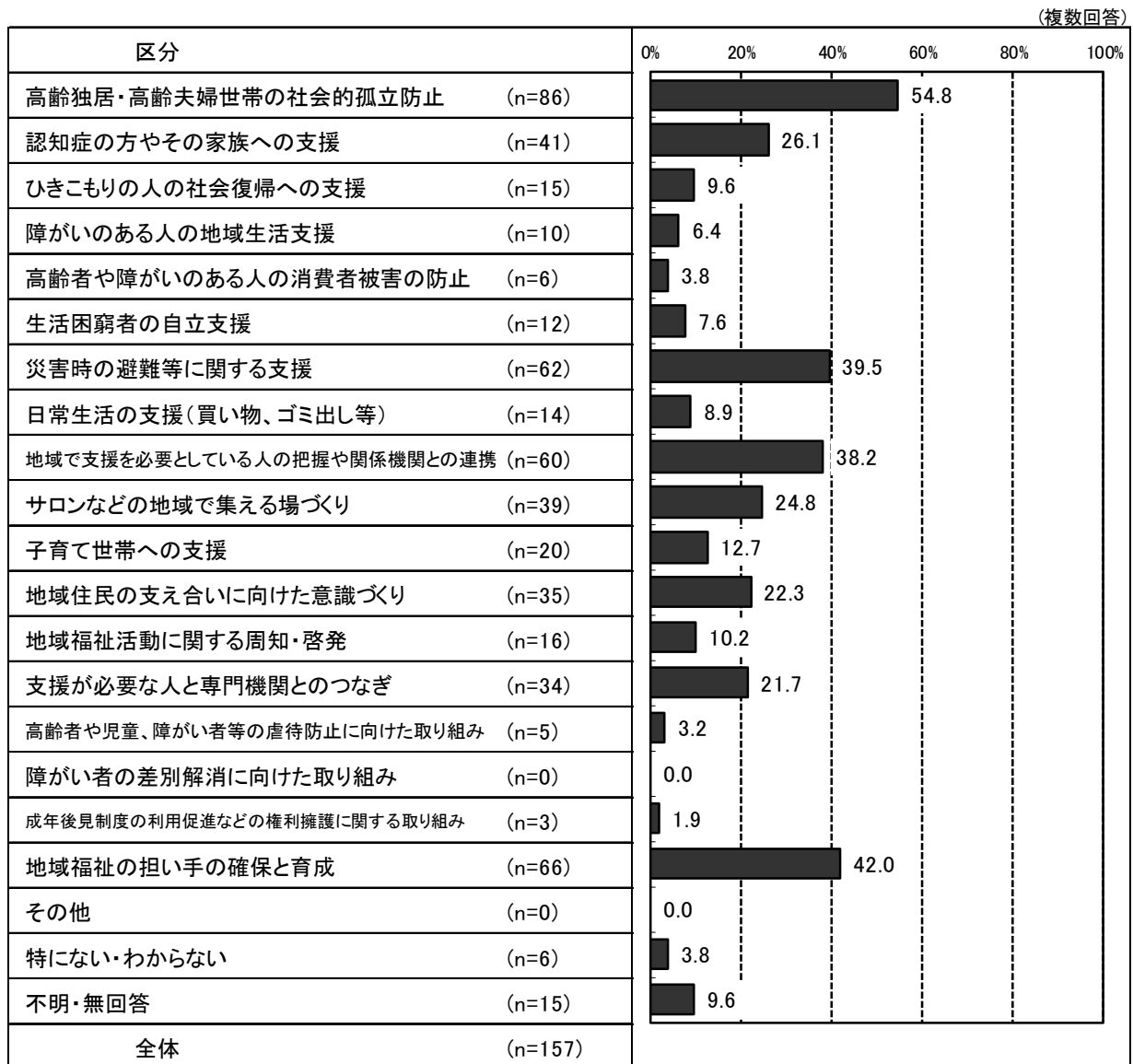
- 民生委員・児童委員の活動全般での悩みや苦勞、不安については、「プライバシーにどこまで踏み込んでいいのか戸惑う」が76.4%で最も多く、「予防や早期発見につながる情報を把握できない」(42.7%)、「新型コロナウイルス感染症の影響で活動がしにくい」(36.3%)、「個人情報など、支援を行うにあたっての必要な情報を把握できない」(33.8%)がつづいています。



## 7. これからの活動について

### 7-1 民生委員・児童委員の活動のなかで、今後対応していく必要があると感じている活動は何ですか。【〇は5つまで】

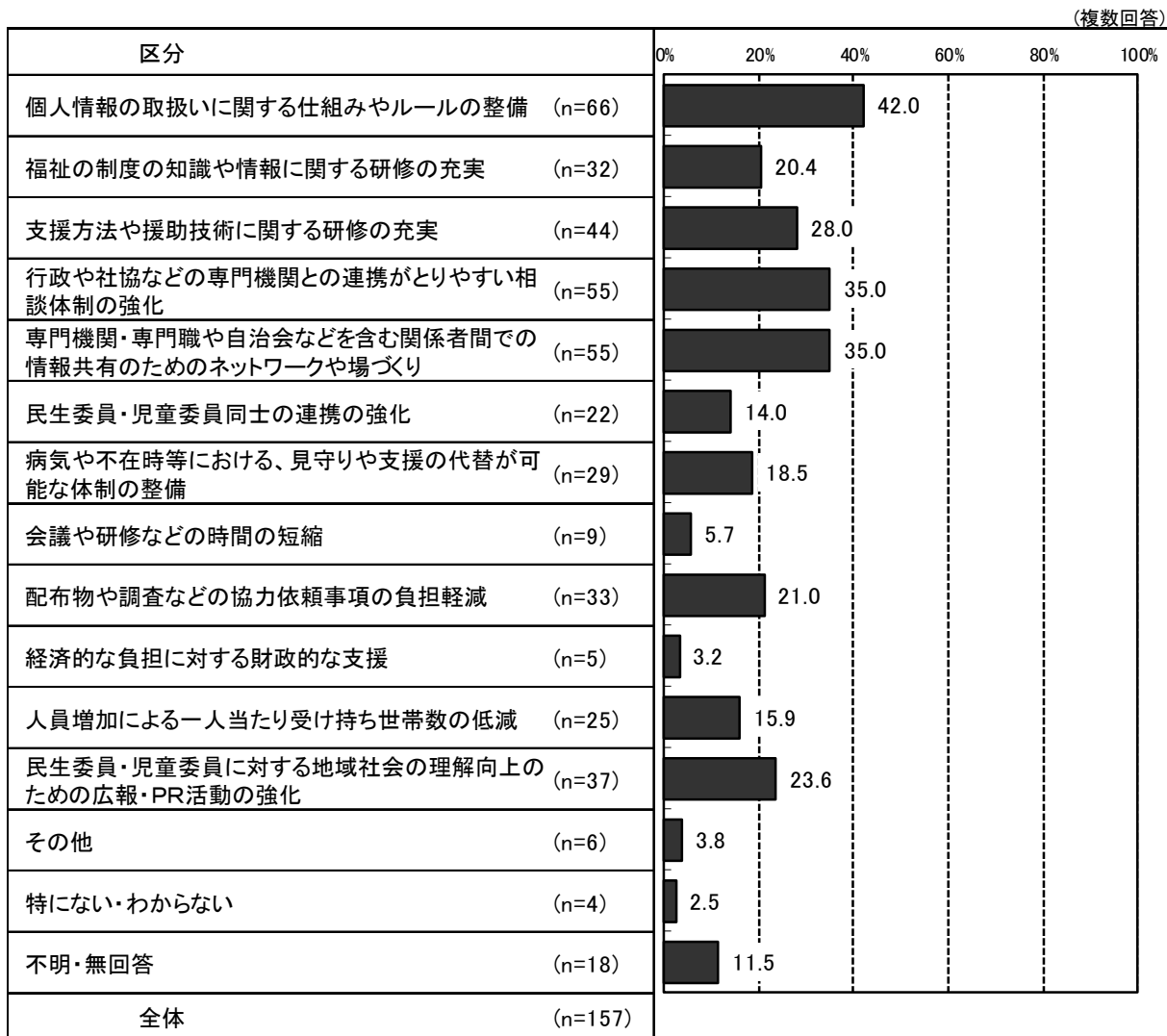
- 民生委員・児童委員の活動のなかで、今後対応していく必要があると感じている活動については、「高齢独居・高齢夫婦世帯の社会的孤立防止」が54.8%で最も多く、「地域福祉の担い手の確保と育成」(42.0%)、「災害時の避難等に関する支援」(39.5%)、「地域で支援を必要としている人の把握や関係機関との連携」(38.2%) がつづいています。





7-2 今後どのような条件が整備されれば、あなたの民生委員・児童委員の活動を充実させていくことが可能だと思いますか。【〇は5つまで】

■ 今後どのような条件が整備されれば、あなたの民生委員・児童委員の活動を充実させていくことが可能と考えることについては、「個人情報の取扱いに関する仕組みやルールの整備」が 42.0%で最も多く、「行政や社協などの専門機関との連携がとりやすい相談体制の強化」と「専門機関・専門職や自治会などを含む関係者間での情報共有のためのネットワークや場づくり」が、ともに 35.0%、「支援方法や援助技術に関する研修の充実」(28.0%)がつづいています。



## Ⅲ. 福祉施設・事業所対象アンケート調査

### 調査概要

#### 1. 調査の目的

第4期高砂市地域福祉計画策定の資料として、市内の福祉施設・事業所の意識や活動状況などを把握するため、「第4期高砂市地域福祉計画策定に関するアンケート調査（福祉施設・事業所対象調査）」を実施しました。

#### 2. 調査の方法

調査対象	市内の福祉施設・事業所 95 事業所
調査方法	郵便にて配布・回収
調査期間	令和4年2月7日～2月21日
調査内容	○回答者属性（業務分野、運営形態、所在地区） ○地域との関わり、地域の状況について ○事業所の地域福祉等に関する取り組みについて ○今後の取り組みについて

#### 3. 回収の結果

配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
95 件	68 件	71.6%	63 件	66.3%

#### 4. 調査データについて

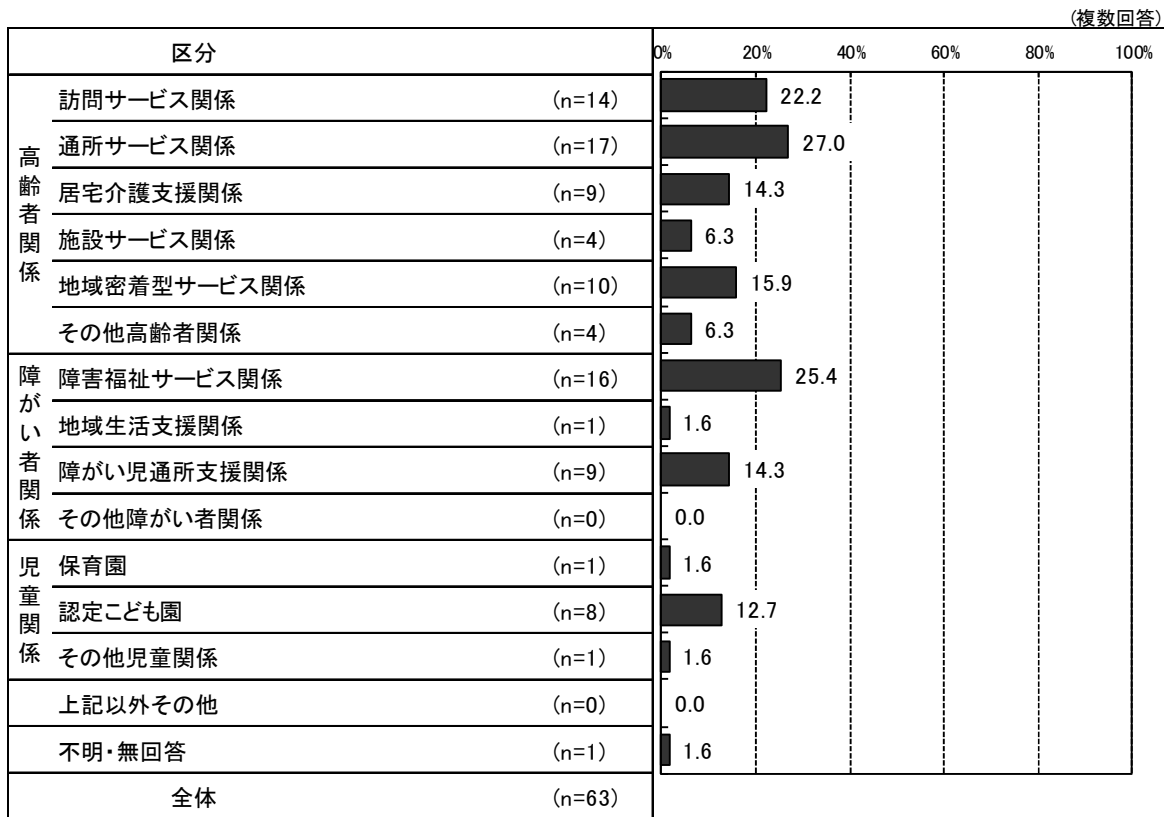
- 調査結果の項目に付加されている番号は関連する調査の設問番号です。
- 図表内に付加されている「n」は質問に対する回答者数です。
- 結果数値は少数点第2位を四捨五入してありますので、内訳の合計が100%にならないことがあります。
- 複数回答の場合、回答数に対する割合を表示しているため、構成比の合計が100%を超えます。

# 調査結果

## 1. 貴事業所のことについて

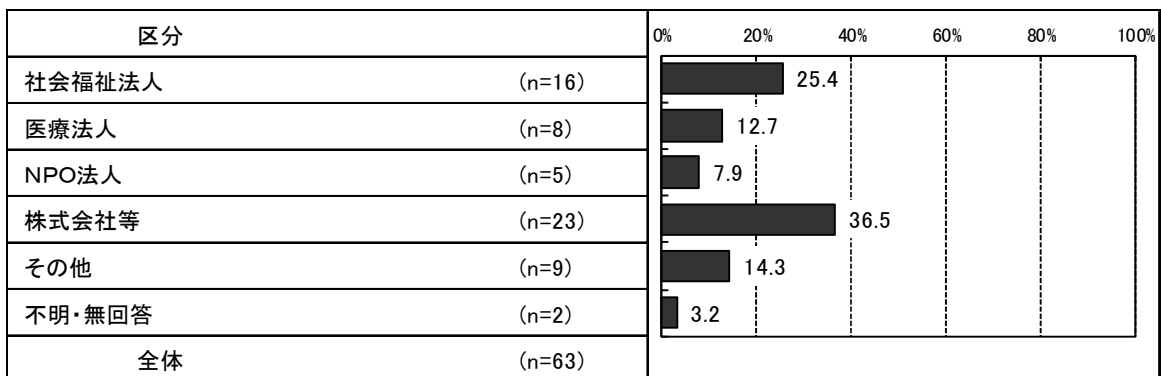
### 1-1 貴事業所は、どの分野の業務を行われていますか。【あてはまるものすべてに○】

- 業務分野については、「通所サービス関係」が 27.0%で最も多く、「障害福祉サービス関係」(25.4%)、「訪問サービス関係」(22.2%) がつづいています。



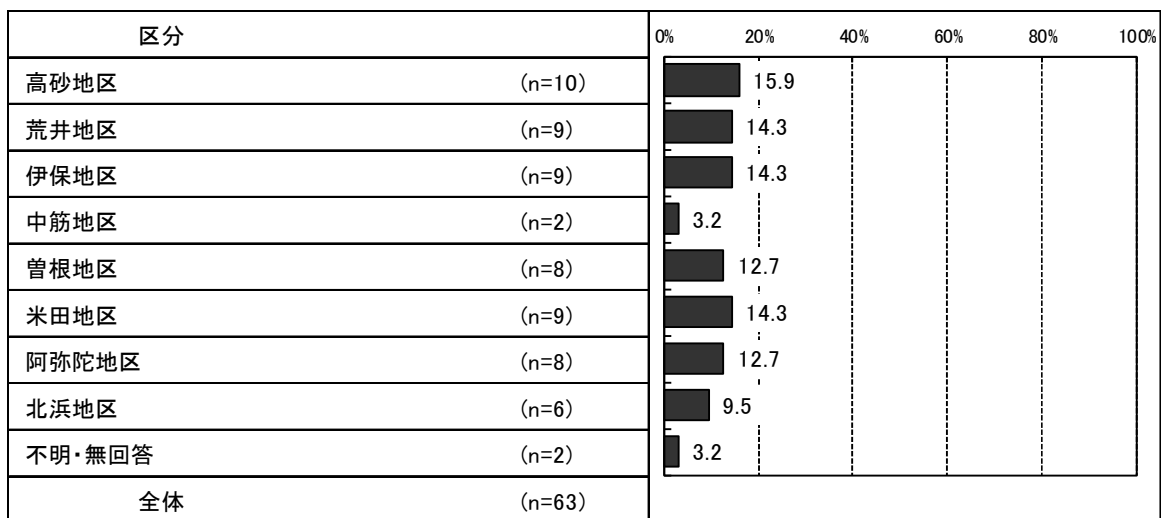
### 1-2 貴事業所の運営形態をお教えてください。【○は1つだけ】

- 事業所の運営形態については、「株式会社等」が 36.5%で最も多く、「社会福祉法人」(25.4%)、「その他」(14.3%) がつづいています。



### 1-3 貴事業所が所在する地区は。【〇は1つだけ】

■ 事業所の所在地区については、「高砂地区」が15.9%で最も多く、「荒井地区」や「伊保地区」「米田地区」がともに14.3%でつづいています。

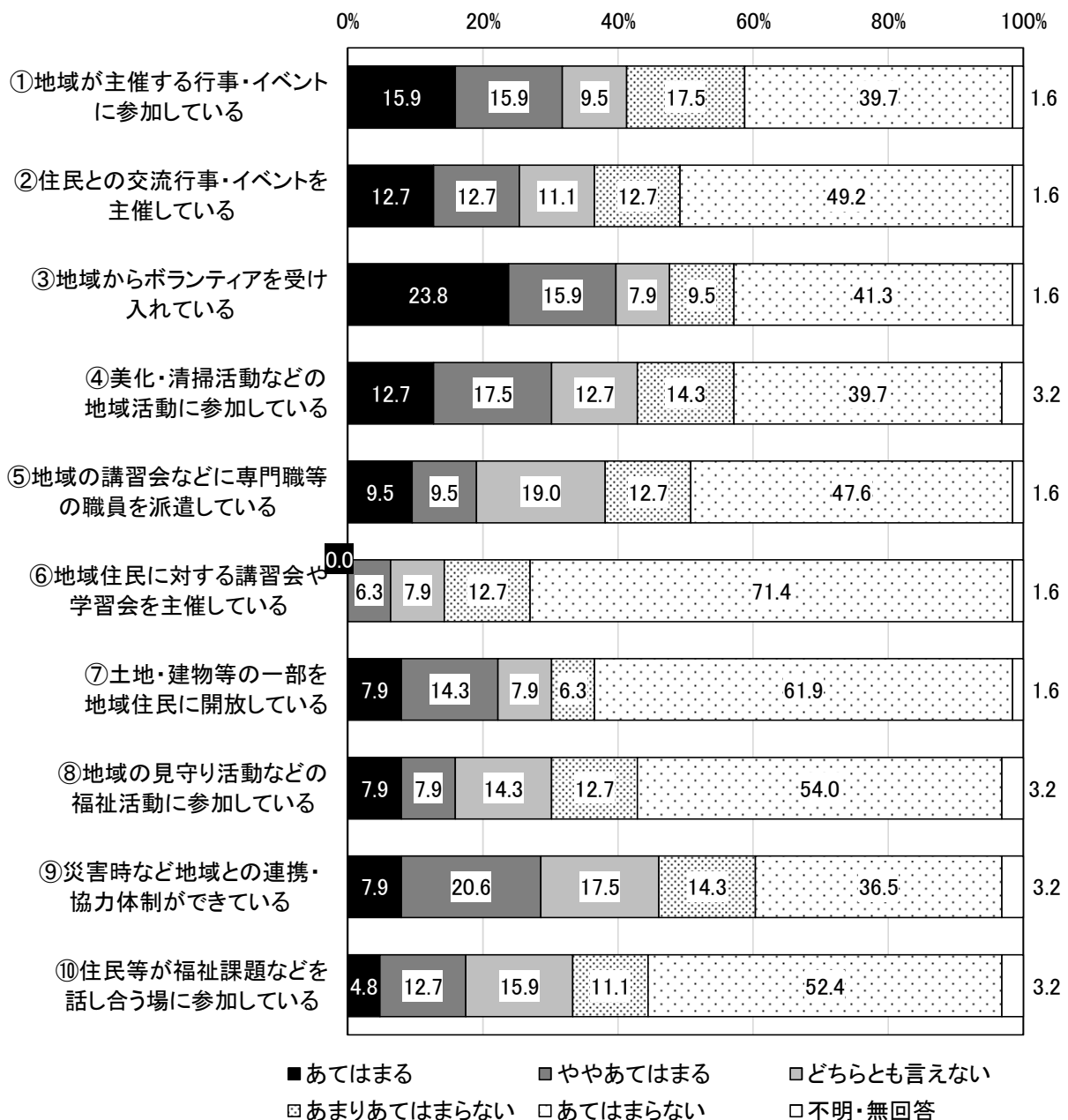


## 2. 貴事業所と地域との関わり、地域の状況について

2-1 貴事業所の地域との関わり方、地域貢献の取り組み等についてお教えてください。【①～⑩それぞれで、○を1つだけ ①～⑩以外については、「⑩その他」の欄に具体的な内容を記載ください。】

■ すべての取り組み等で「あてはまらない」が最も多くなっています。特に、「⑥地域住民に対する講習会や学習会を主催している」と「⑦土地・建物等の一部を地域住民に開放している」では「あてはまらない」が6～7割程度を占めており、他の取り組み等より多くなっています。

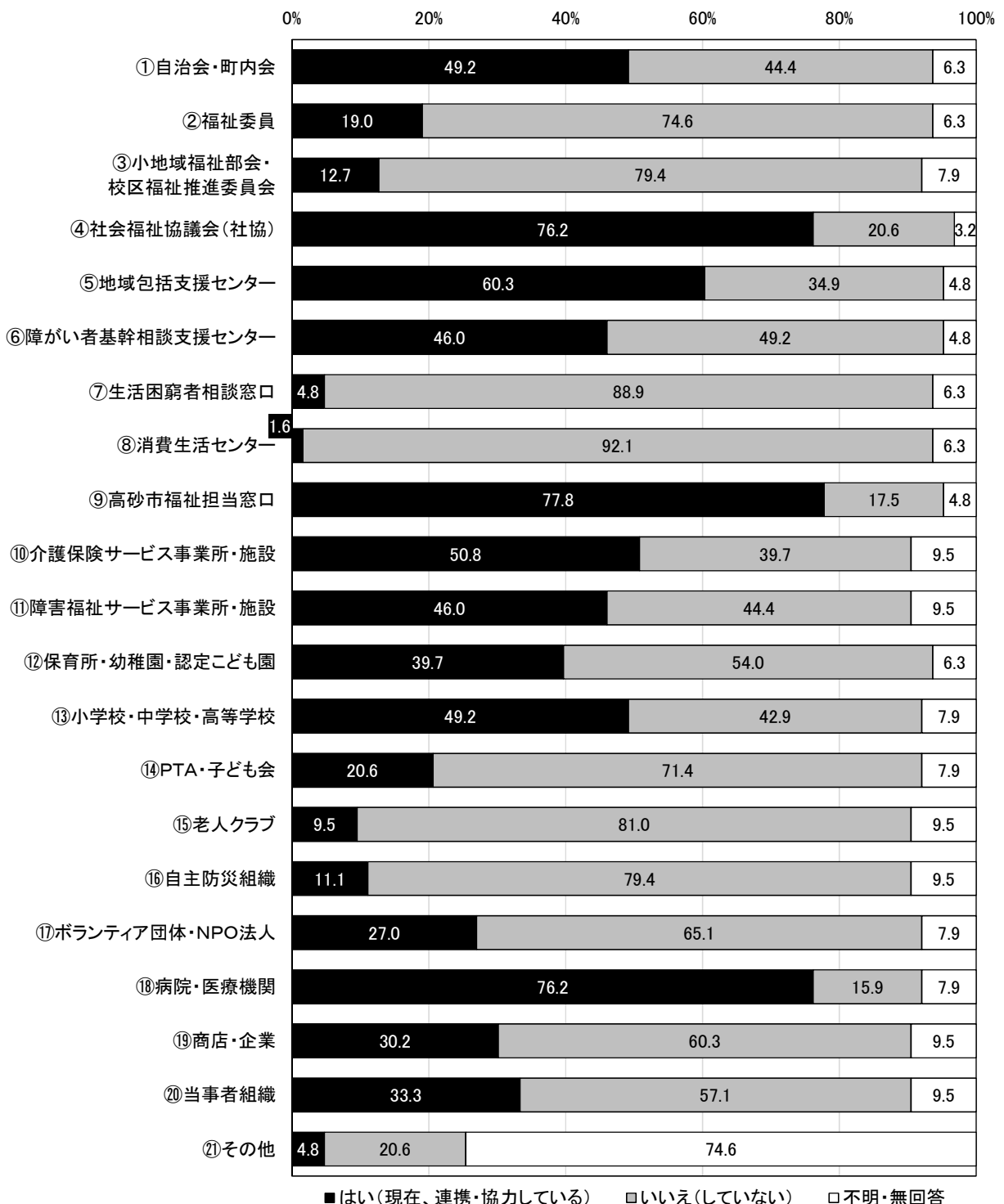
また、実施されている取り組み（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）については、「③地域からボランティアを受け入れている」が39.7%で最も多く、「①地域が主催する行事・イベントに参加している」や「④美化・清掃活動などの地域活動に参加している」「⑨災害時など地域との連携・協力体制ができている」が3割程度でつづいています。



2-2 貴事業所と連携・協力している関係機関・団体、専門職等はどこですか。また、今後、地域において連携・協力が必要と思われる関係機関・団体、専門職等はどこですか。【①～⑳のAとBそれぞれでどちらかに○】

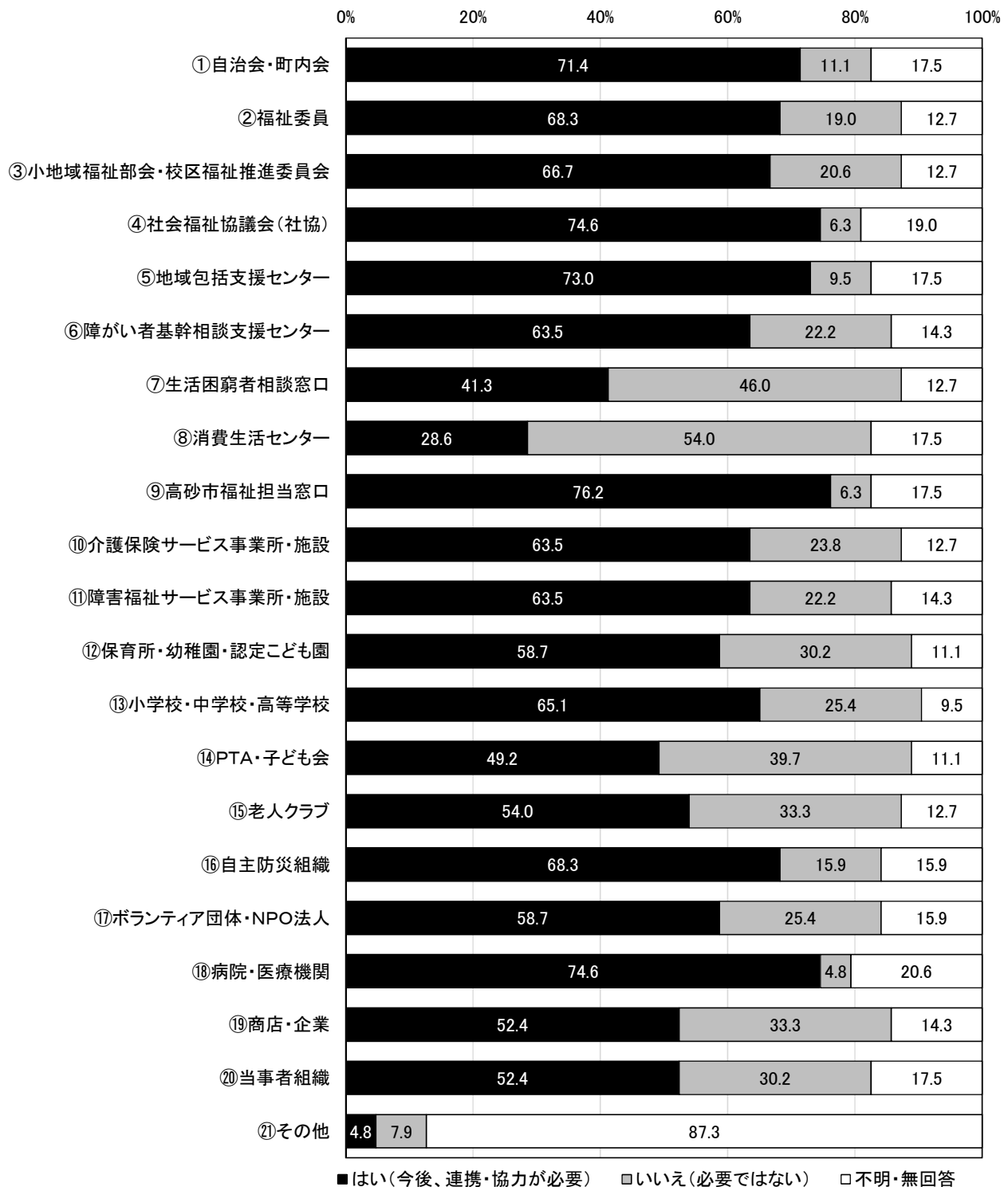
A：現在、連携・協力している

■ 福祉施設・事業所において、現在、連携・協力している関係機関・団体、専門職等をみると、「⑨高砂市福祉担当窓口」が77.8%で最も多く、「④社会福祉協議会（社協）」と「⑱病院・医療機関」がともに76.2%、「⑤地域包括支援センター」（60.3%）、「⑩介護保険サービス事業所・施設」（50.8%）がつづいています。



## B：今後、連携・協力が必要

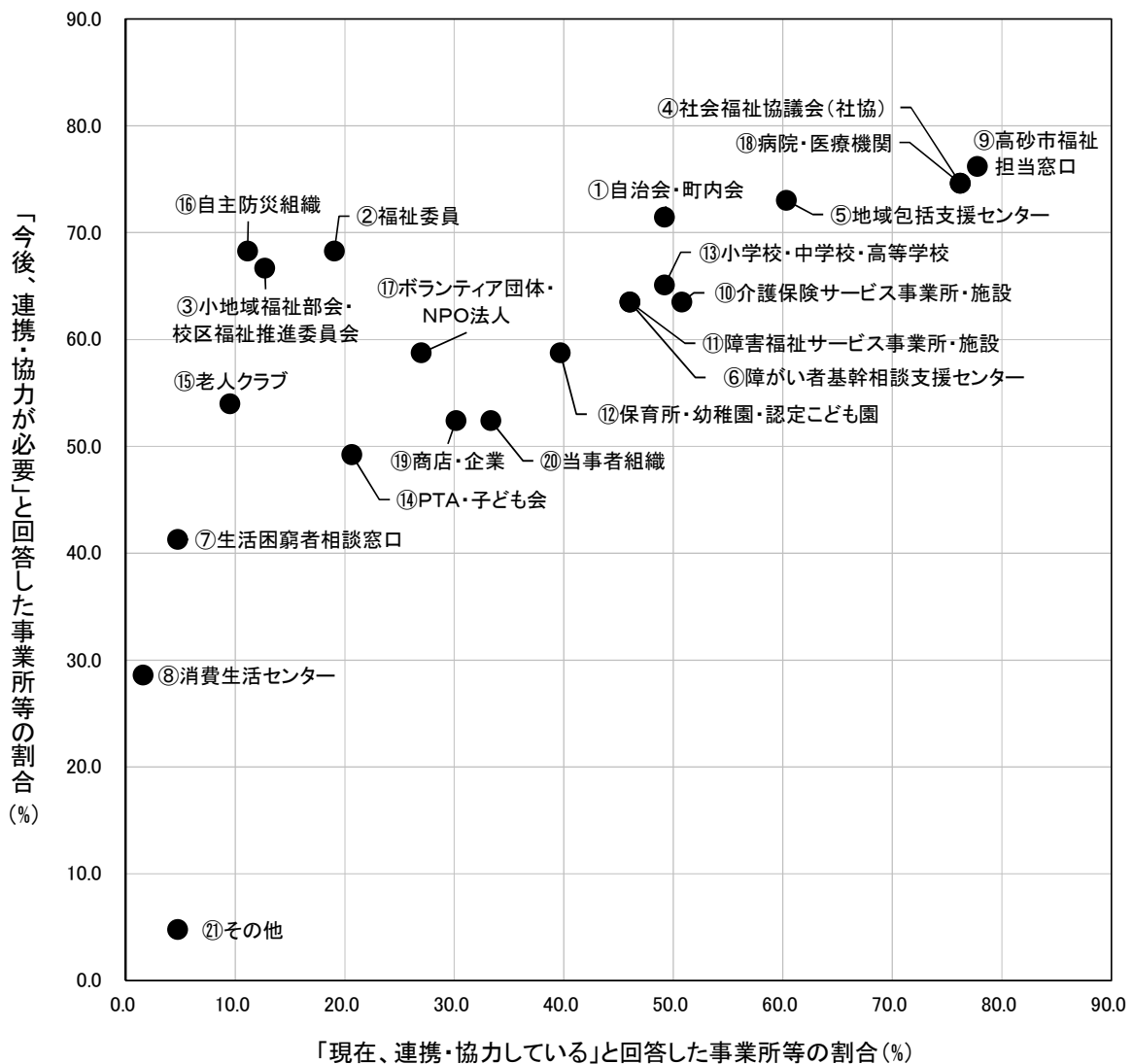
■ 福祉施設・事業所において、今後、連携・協力が関係機関・団体、専門職等をみると、「⑨高砂市福祉担当窓口」が76.2%で最も多く、「④社会福祉協議会（社協）」と「⑱病院・医療機関」がともに74.6%、「⑤地域包括支援センター」（73.0%）、「①自治会・町内会」（71.4%）がつづいています。



■ 「現在、連携・協力している関係機関・団体、専門職等」(2-2-A)と「今後、連携・協力が関係機関・団体、専門職等」(2-2-B)の関係をみると、「⑨高砂市福祉担当窓口」や「④社会福祉協議会(社協)」「⑩病院・医療機関」といった現状で連携・協力している関係機関・団体、専門職等ほど、今後の連携・協力が必要と考えられていることがわかります。

また、「⑩自主防災組織」や「③小地域福祉部会・校区福祉推進委員会」「②福祉委員」「⑤老人クラブ」「⑦ボランティア団体・NPO法人」は、現状で連携・協力していないものの、今後は連携・協力が必要と考える事業所等が多いことがわかります。

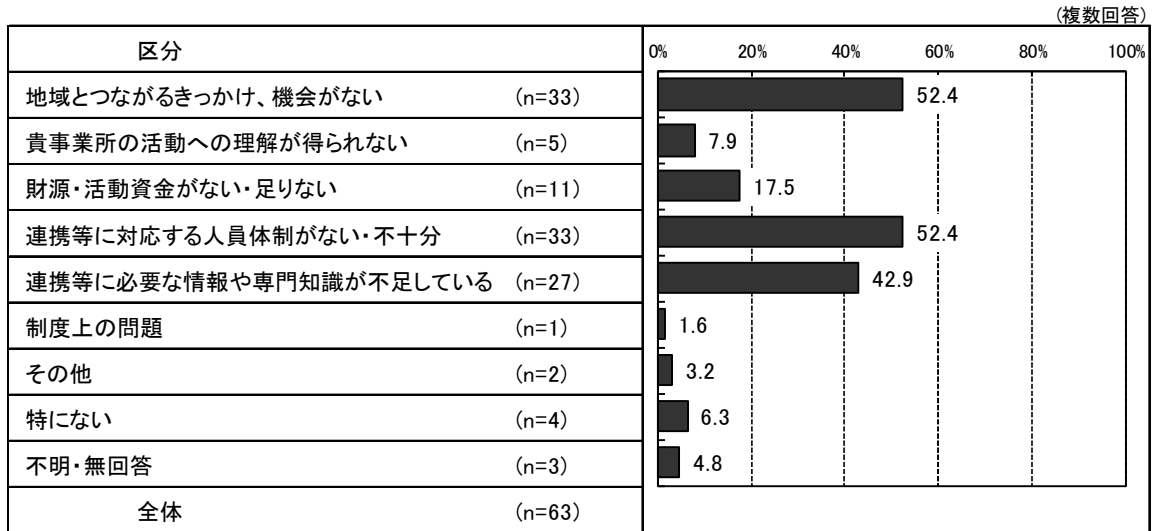
### 【連携・協力の現状と希望】





## 2-3 貴事業所が地域の関係機関・団体、専門職などと連携・協力を進めるにあたって、困っていること・問題となることは何ですか。【あてはまるものすべてに○】

■ 地域の関係機関・団体、専門職等との連携・協力に関する問題点については、「地域とつながるきっかけ、機会がない」と「連携等に対応する人員体制がない・不十分」がともに52.4%で最も多く、「連携等に必要な情報や専門知識が不足している」(42.9%)がつづいています。

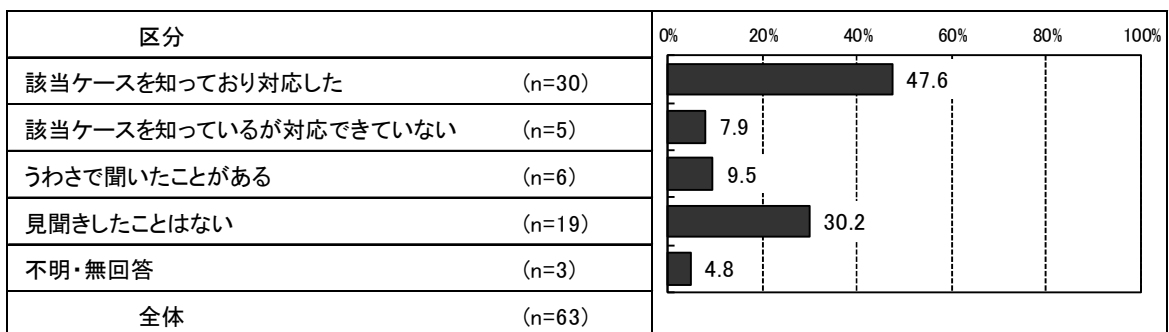


## 2-4 貴事業所が活動するなかで、以下のような事柄について相談を受けたり、対応されたことはありますか。【①～⑨それぞれで、○を1つだけ】

### ①複合的な課題を抱える世帯

■ 複合的な課題を抱える世帯については、「該当ケースを知っており対応した」が47.6%で最も多く、「見聞きしたことはない」(30.2%)、「うわさで聞いたことがある」(9.5%)がつづいています。

また、地域において複合的な課題を抱える世帯を認知している福祉施設・事業所の割合(全体から「見聞きしたことはない」と「不明・無回答」を引いた割合)は65.0%となっています。なお、該当ケースを知った場合に対応した割合※は85.7%となっています。

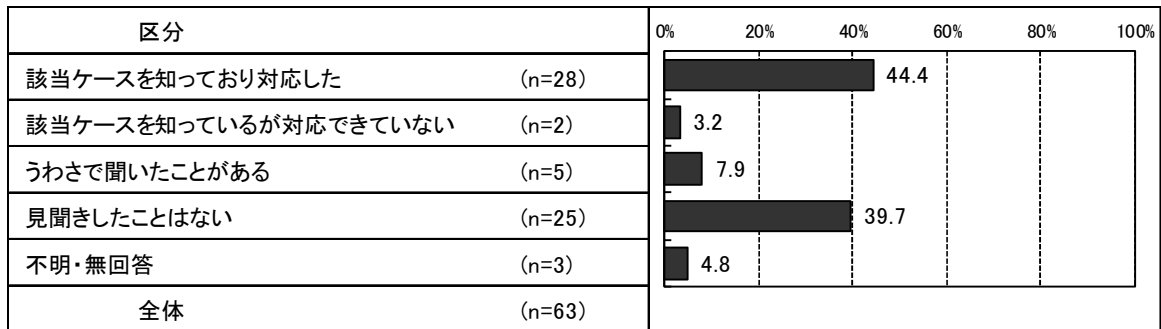


※「該当ケースを知った場合に対応した割合」=「該当ケースを知っており対応した」件数 ÷ (「該当ケースを知っており対応した」件数 + 「該当ケースを知っているが対応できていない」件数)

## ②社会的孤立状態にある人・世帯

- 社会的孤立状態にある人・世帯については、「該当ケースを知っており対応した」が44.4%で最も多く、「見聞きしたことはない」(39.7%)、「うわさで聞いたことがある」(7.9%)がつづいています。

また、地域において社会的孤立状態にある人・世帯を認知している福祉施設・事業所の割合（全体から「見聞きしたことはない」と「不明・無回答」を引いた件数の割合）は55.5%となっています。なお、該当ケースを知った場合に対応した割合※は93.3%となっています。

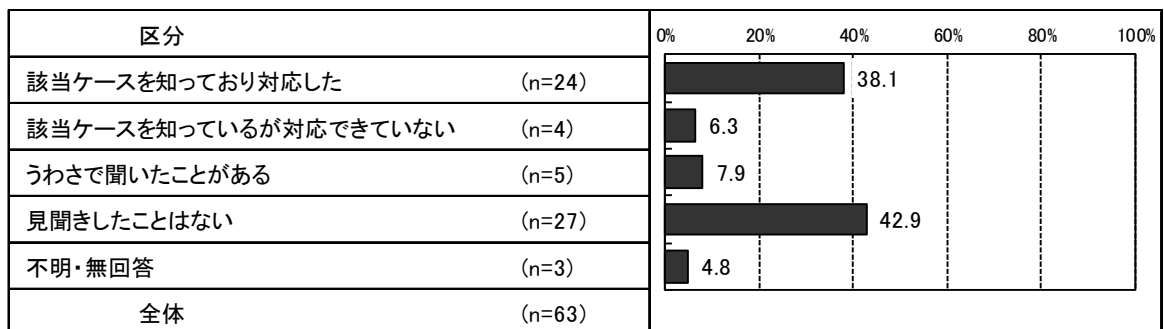


※「該当ケースを知った場合に対応した割合」＝「該当ケースを知っており対応した」件数 ÷ （「該当ケースを知っており対応した」件数 + 「該当ケースを知っているが対応できていない」件数）

## ③生活困窮者・生活困窮世帯

- 生活困窮者・生活困窮世帯については、「見聞きしたことはない」が42.9%で最も多く、「該当ケースを知っており対応した」(38.1%)、「うわさで聞いたことがある」(7.9%)がつづいています。

また、地域において生活困窮者・生活困窮世帯を認知している福祉施設・事業所の割合（全体から「見聞きしたことはない」と「不明・無回答」を引いた件数の割合）は52.3%となっています。なお、該当ケースを知った場合に対応した割合※は85.7%となっています。

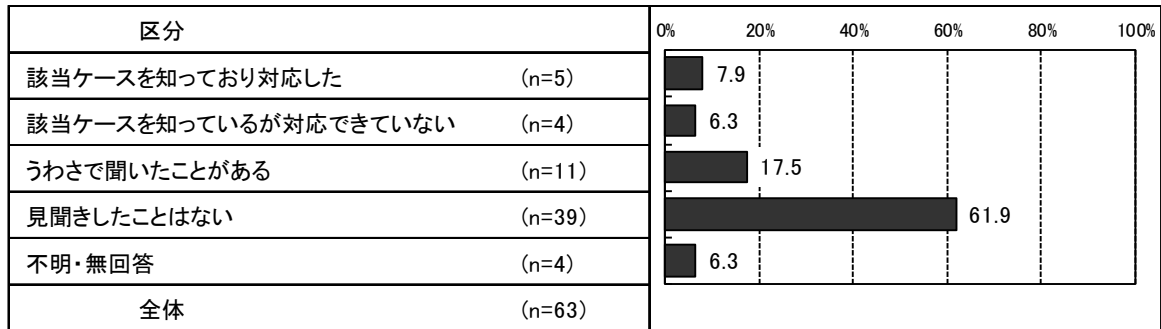


※「該当ケースを知った場合に対応した割合」＝「該当ケースを知っており対応した」件数 ÷ （「該当ケースを知っており対応した」件数 + 「該当ケースを知っているが対応できていない」件数）

#### ④消費者被害を受けた高齢者・障がい者

- 消費者被害を受けた高齢者・障がい者については、「見聞きしたことはない」が61.9%で最も多く、「うわさで聞いたことがある」(17.5%)、「該当ケースを知っており対応した」(7.9%)がつづいています。

また、地域において消費者被害を受けた高齢者・障がい者を認知している福祉施設・事業所の割合(全体から「見聞きしたことはない」と「不明・無回答」を引いた件数の割合)は31.8%となっています。なお、該当ケースを知った場合に対応した割合※は55.6%となっています。

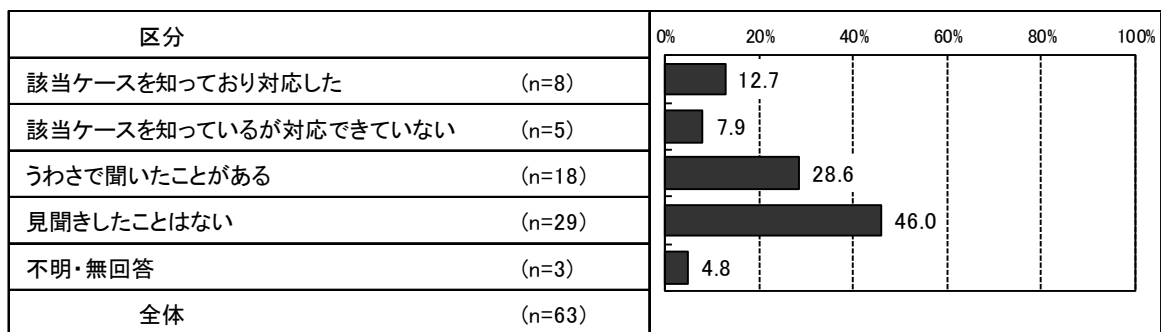


※「該当ケースを知った場合に対応した割合」＝「該当ケースを知っており対応した」件数 ÷ (「該当ケースを知っており対応した」件数 + 「該当ケースを知っているが対応できていない」件数)

#### ⑤若年層のひきこもりの方

- 若年層ひきこもりの方については、「見聞きしたことはない」が46.0%で最も多く、「うわさで聞いたことがある」(28.6%)、「該当ケースを知っており対応した」(12.7%)がつづいています。

また、地域において若年層のひきこもりの方を認知している福祉施設・事業所の割合(全体から「見聞きしたことはない」と「不明・無回答」を引いた件数の割合)は49.2%となっています。なお、該当ケースを知った場合に対応した割合※は61.5%となっています。

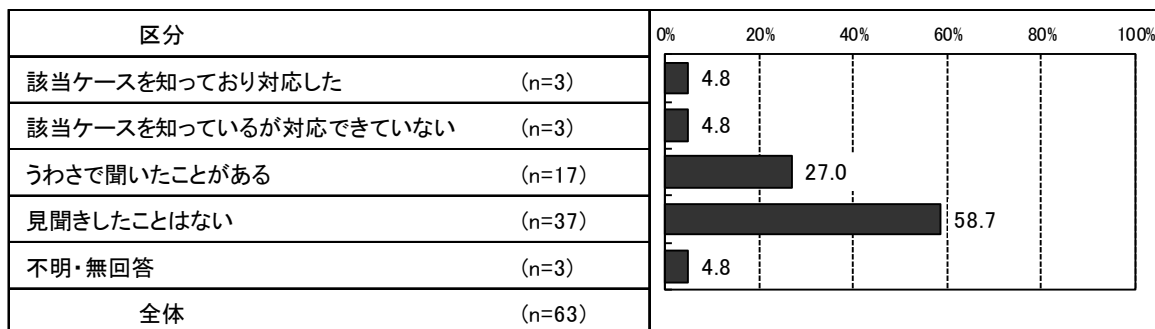


※「該当ケースを知った場合に対応した割合」＝「該当ケースを知っており対応した」件数 ÷ (「該当ケースを知っており対応した」件数 + 「該当ケースを知っているが対応できていない」件数)

## ⑥障がいのある人・家族への差別

- 障がいのある人・家族への差別については、「見聞きしたことはない」が 58.7%で最も多く、「うわさで聞いたことがある」(27.0%)、「該当ケースを知っており対応した」と「該当ケースを知っているが対応できていない」がともに 4.8%がつづいています。

また、地域において障がいのある人・家族への差別を認知している福祉施設・事業所の割合（全体から「見聞きしたことはない」と「不明・無回答」を引いた件数の割合）は 36.5%となっています。なお、該当ケースを知った場合に対応した割合※は 50.0%となっています。

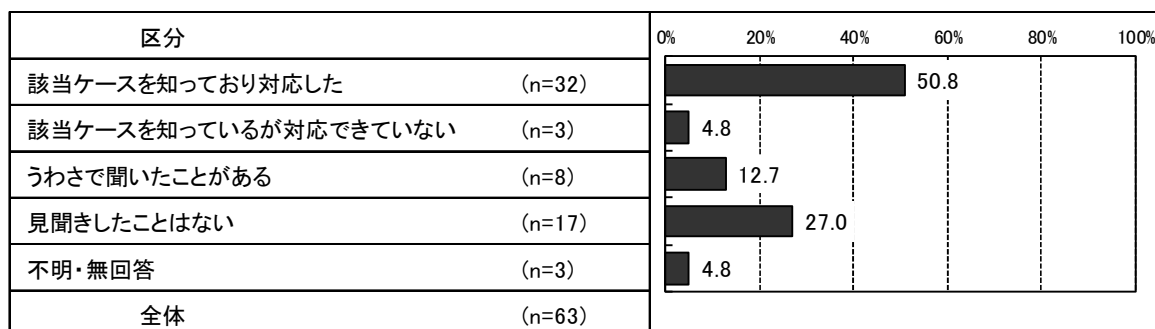


※「該当ケースを知った場合に対応した割合」＝「該当ケースを知っており対応した」件数 ÷ （「該当ケースを知っており対応した」件数 + 「該当ケースを知っているが対応できていない」件数）

## ⑦家族介護が負担になっている世帯

- 家族介護が負担になっている世帯については、「該当ケースを知っており対応した」が 50.8%で最も多く、次いで「見聞きしたことはない」(27.0%)、「うわさで聞いたことがある」(12.7%)がつづいています。

また、地域において家族介護が負担になっている世帯を認知している福祉施設・事業所の割合（全体から「見聞きしたことはない」と「不明・無回答」を引いた件数の割合）は 68.2%となっています。なお、該当ケースを知った場合に対応した割合※は 91.4%となっています。

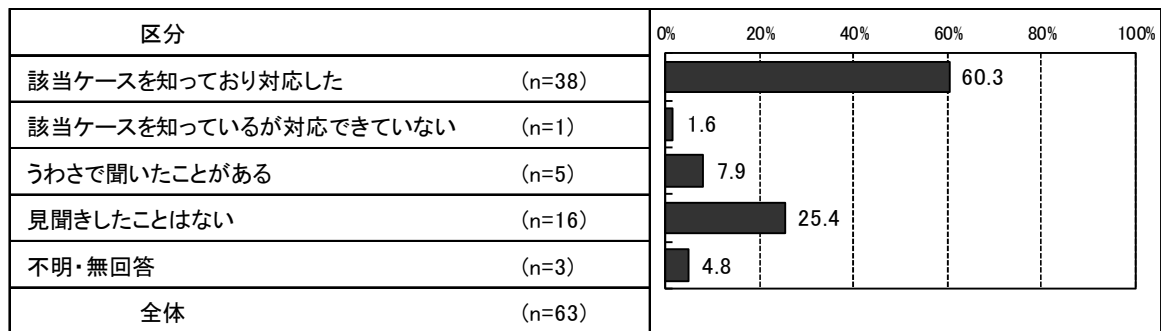


※「該当ケースを知った場合に対応した割合」＝「該当ケースを知っており対応した」件数 ÷ （「該当ケースを知っており対応した」件数 + 「該当ケースを知っているが対応できていない」件数）

## ⑧本人の判断能力が不十分な方

- 本人の判断能力が不十分な方については、「該当ケースを知っており対応した」が 60.3%で最も多く、「見聞きしたことはない」(25.4%)、「うわさで聞いたことがある」(7.9%)が つづいています。

また、地域において本人の判断能力が不十分な方を認知している福祉施設・事業所の割合(全体から「見聞きしたことはない」と「不明・無回答」を引いた件数の割合)は 69.8%となっています。なお、該当ケースを知った場合に対応した割合※は 97.4%となっています。

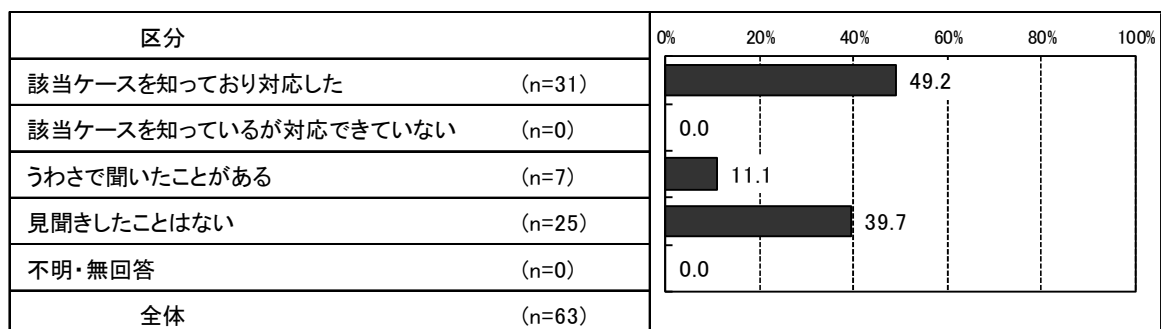


※「該当ケースを知った場合に対応した割合」=「該当ケースを知っており対応した」件数 ÷ (「該当ケースを知っており対応した」件数 + 「該当ケースを知っているが対応できていない」件数)

## ⑨子どもや高齢者、障がい者、配偶者・恋人等への虐待に関する事案

- 子どもや高齢者、障がい者、配偶者・恋人等への虐待に関する事案については、「該当ケースを知っており対応した」が 49.2%で最も多く、「見聞きしたことはない」(39.7%)、「うわさで聞いたことがある」(11.1%)が つづいています。

また、地域において子どもや高齢者、障がい者、配偶者・恋人等への虐待に関する事案を認知している福祉施設・事業所の割合(全体から「見聞きしたことはない」と「不明・無回答」を引いた件数の割合)は 60.3%となっています。なお、該当ケースを知った場合に対応した割合※は 100.0%となっています。

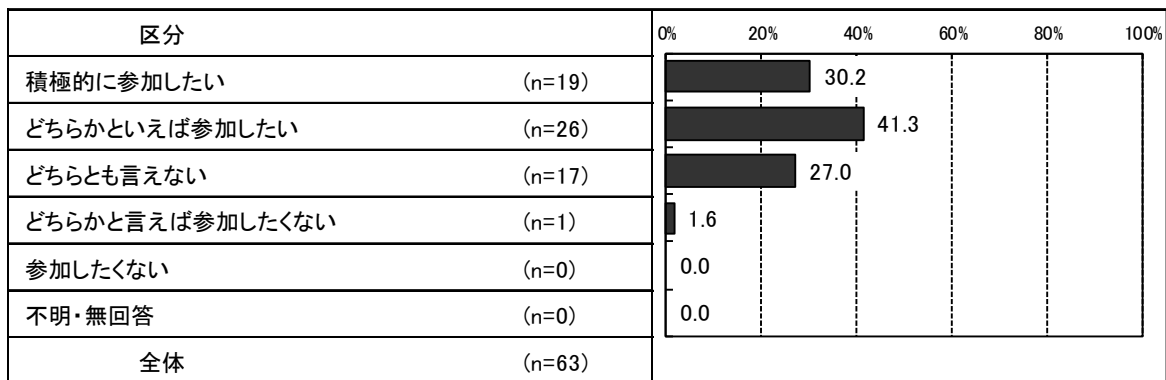


※「該当ケースを知った場合に対応した割合」=「該当ケースを知っており対応した」件数 ÷ (「該当ケースを知っており対応した」件数 + 「該当ケースを知っているが対応できていない」件数)

### 3. 貴事業所の取り組みなどについて

#### 3-1 貴事業所では、地域で課題、住民ニーズ等を共有し、解決策・対応策を一緒に考える場に、今後、機会があれば参加したいですか。【〇は1つだけ】

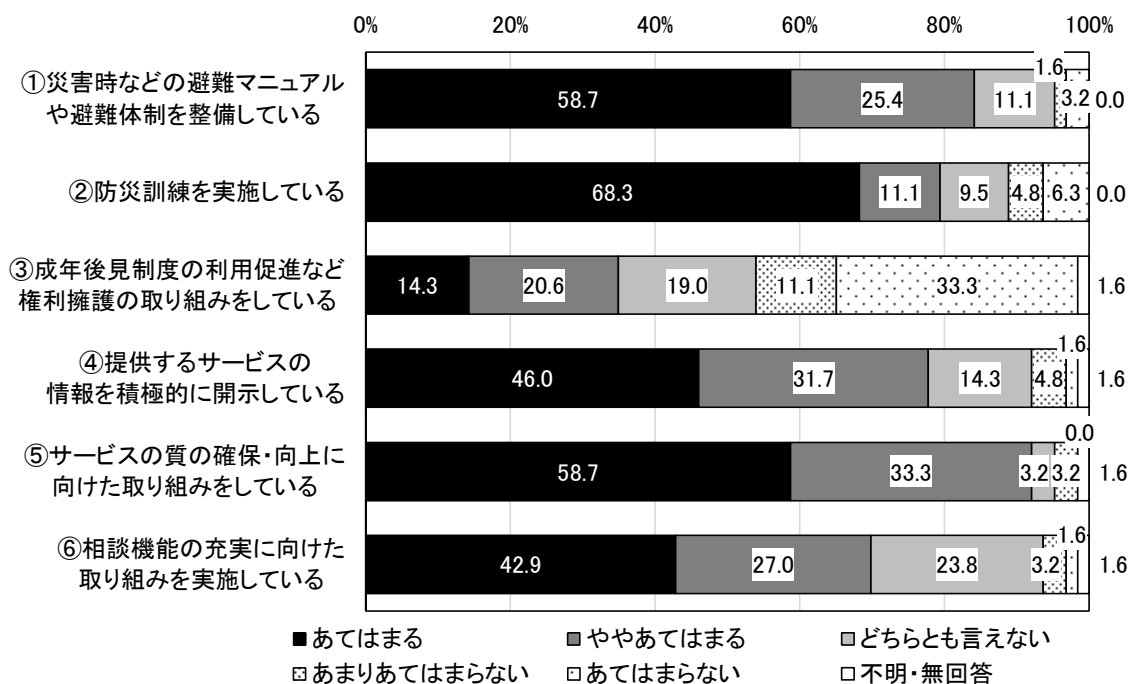
■ 地域で課題、住民ニーズ等を共有し、解決策・対応策を一緒に考える場への参加については、「どちらかといえば参加したい」が41.3%で最も多く、「積極的に参加したい」(30.2%)、「どちらとも言えない」(27.0%)がつづいています。また、そのような場への参加意向(「積極的に参加したい」+「どちらかといえば参加したい」)を持つ事業所は71.5%となっています。



#### 3-2 貴事業所では、以下の取り組みを実施していますか。【①～⑥それぞれで、〇を1つだけ】

■ 「③成年後見制度の利用促進など権利擁護に関する取り組みを実施している」では「あてはまらない」、それ以外の取り組みについては「あてはまる」が最も多くなっています。

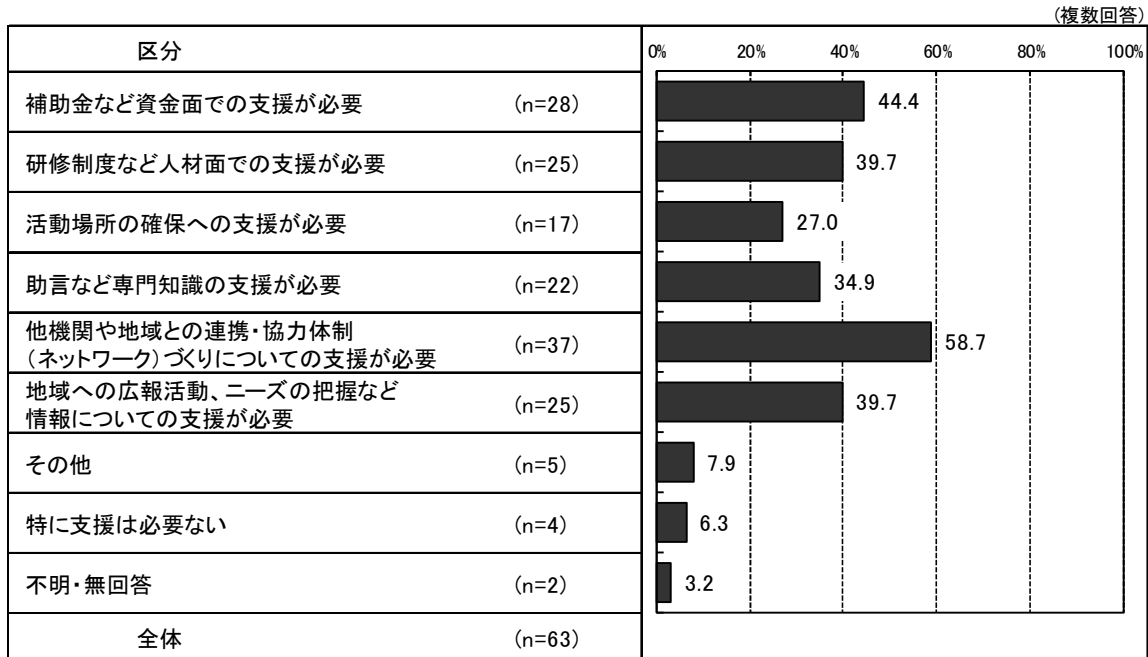
また、実施されている取り組み(「あてはまる」+「ややあてはまる」)については、「⑤サービスの質の確保・向上に向けた取組をしている」が92.0%で最も多く、「①災害時などの避難マニュアルや避難体制を整備している」や「②防災訓練を実施している」「④提供するサービスの情報を積極的に開示している」が8割程度でつづいています。



## 4. 今後の取り組みに向けて

### 4-1 貴事業所が必要とする支援は何ですか。【〇はいくつでも】

- 事業所が必要とする支援については、「他機関や地域との連携・協力体制（ネットワーク）づくりについての支援が必要」が58.7%で最も多く、「補助金など資金面での支援が必要」（44.4%）、「研修制度など人材面での支援が必要」と「地域への広報活動、ニーズの把握など情報についての支援が必要」がともに39.7%でつづいています。



## IV. 地区意見交換会

### 地区意見交換会の概要

#### 1. 目的

- 地域福祉の担い手（活動者）の意識、抱える課題などの把握
  - 地域福祉の担い手（活動者）から見た地域・住民や支援が必要な方などの状況の把握
- 上記の結果を、第4期地域福祉計画策定の基礎資料として活用させて頂くとともに、整理した結果を各地区に提供することで、それぞれ地区、参加者の活動につなげて頂く。

#### 2. 参加者

- 各地区（8地区）の支え合いづくり協議会関係者、福祉委員等（10～20人程度）

#### 3. 開催内容

1. はじめに（開会あいさつ+オリエンテーション）
2. 高砂市の現状等の共有 統計データや市民アンケート調査結果から、高砂市の地域福祉に関する現状を参加者と共有。
3. 地区の現状と課題に関する意見交換 グループに分かれて、以下のテーマで意見交換を行います。 テーマ1：担い手（活動者）が地域活動を進める上での課題や活動による成果 テーマ2：担い手（活動者）から見た地域・住民の状況（参加者が考える地域・住民の課題等）
4. まとめ 各グループでの意見交換の結果の発表を行い、全体で共有。（複数グループの場合）

- 開催時間は1時間半程度。
- 意見交換については、参加者が10人以内のグループに分かれ、テーマを踏まえた意見・アイデア等を付箋に書き出し、個々で発表。発表された意見については、ファシリテータがホワイトボード上で整理を行いつつ、参加者と共有を図る。



#### 4. 開催状況

開催地区	開催日	参加者数	グループ数
高砂地区	令和4年1月21日	12人	1グループ
荒井地区	令和4年1月19日	17人	3グループ
伊保地区	令和4年1月28日	7人	1グループ
中筋地区	令和3年12月3日	18人	2グループ
曾根地区	令和4年2月16日	9人	2グループ
米田地区	令和4年1月26日	10人	2グループ
阿弥陀地区	令和4年1月15日	17人	2グループ
北浜地区	令和4年2月7日	13人	2グループ

## 地区毎の意見整理

### 高砂地区

#### 1) 担い手（活動者）の抱える課題・不安など

■：課題、★：アイデア

担い手・リーダーの不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>■担い手が少ない</li> <li>■担い手の後継者不足</li> <li>■役のなり手がいない（自治会、PTAなど）</li> </ul>
担い手の負担の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>■役が増える（負担増）</li> </ul>
地域団体の存続の危機	<ul style="list-style-type: none"> <li>■老人会の会員減少</li> </ul>
地域活動参加者の固定化・減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>■男性が参加が少ない</li> </ul>

#### 2) 担い手（活動者）からみた地域・住民の状況など

■：課題、★：アイデア

支援が必要な人の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>■独居高齢者の増加</li> </ul>
地域のつながりの希薄化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■外から入ってきた人ともともと暮らしていた人との接点、交流がない</li> <li>★新住民が増えたらいい（新旧の交流）</li> <li>★駅前広場をみんなが集える場に</li> <li>★内外問わず集まって交流できる場づくり</li> </ul>
身近な活動の場・居場所の不足、使いづらい等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■集い、憩いの場所がない</li> <li>■子どもと高齢者が安全に集まれる場所が少ない</li> <li>■近くに住んでいる方々が集まる機会が少ない</li> </ul>
交通が不便・移動困難	<ul style="list-style-type: none"> <li>■コミュニティバスが不便</li> </ul>
買物が不便（買物弱者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日常の買い物が困難</li> <li>■高砂町の買物難民をどうにかしてほしい</li> <li>■近場に買物するところがない</li> <li>★既存の店舗に依頼</li> <li>★小売店からのシャトルバス</li> </ul>
空き家問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■空き家、空き地の問題</li> <li>■住宅住み替え時の特例（住みたいように建てられない）</li> </ul>
防災・災害時対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>■災害時の対応（避難所、避難方法）</li> <li>■災害時、自助・共助ができるか不安</li> </ul>

荒井地区

1) 担い手（活動者）の抱える課題・不安など

■：課題、★：アイデア

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
担い手・リーダーの不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>■活動の担い手の不足</li> <li>■後任が見つからない</li> <li>★民生委員、福祉推進委員などの現状の制度のままで大丈夫？</li> <li>★有償ボランティアでもよいのでは？</li> <li>★ターゲットは 50～60 歳代（子育て世代は難しいのでは）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■民生委員の次のなり手がいない</li> <li>■世話役などのキーマンが不足・いない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■福祉推進委員の担い手不足</li> <li>■退職の年齢が上がり、担い手になるころには高齢になっている</li> </ul>
負担の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>■支援が必要な人の増加、支援しづらさなどで負担増</li> <li>■後任が見つからないことが負担</li> </ul>	—	—
地域団体の存続の危機	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■婦人会、老人会などがなくなり、交流する場がない（減少）</li> <li>■自治会の減少（合併なども必要）</li> <li>■福祉推進委員のことが知られていない（認識不足）</li> <li>■隣保、自治会の必要性が低下</li> </ul>
地域の団体間の連携	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■団体間の連携不足</li> </ul>	—
支援が共有できない、情報が共有しづらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>■個人情報保護の関係で個々の住民の情報把握が困難</li> <li>■支援を必要とする人が支援を拒否</li> <li>■急な入院で状況がわからないケースがある</li> <li>★地域の気づきから支援につながるケースあり→地域で気づく力の醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★継続的な声かけ、何度でもチャレンジ、情報の共有</li> <li>★地域で気になること・ひとなどを地域で共有し、支援の輪を大きくする→そのためには担い手・協力者も増やす必要あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■プライバシーの壁</li> <li>■プライバシーを気にする人が増え、活動がしにくい</li> </ul>
地域活動参加者の固定化・減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域活動の参加者の固定化（決まった人しか参加しない、本当に参加してほしい人ほど参加しない）</li> <li>■男性をどうにかしなくては！（早い段階から男性と地域をつないでおく必要あり）</li> <li>★対象者のニーズ把握+選択肢の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■体（足など）が悪い方への対応</li> <li>■人任せ・甘えがある</li> <li>■高齢者同士の人間関係も難しい</li> <li>★対象者の状況にマッチした活動が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■マンション住人の参加少ない</li> <li>■サロン、地域行事の参加者が少ない（特に男性）</li> <li>■何をしたら喜んでもらえるのかわからない（年齢・体調等）</li> <li>★工夫して活動を展開中（お菓子、DVD、訪問など）</li> <li>★来るだけじゃない参加型サロン</li> </ul>

2) 担い手（活動者）からみた地域・住民の状況など

■：課題、★：アイデア

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
地域のつながりの希薄化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■60歳代以下（若い人）の情報がないので、つながりが持てない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域の現状がわからない</li> <li>■知らない間の死亡、入院、異動</li> <li>■自治会加入率の低下（自治会に加入するメリットがない）</li> <li>★秋祭りなど行事を一緒に行うことで意思疎通が図れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■住民の多様化により、みんなが関心を持てることがない</li> <li>■年代で価値観が違う</li> <li>■地域の情報が入らない</li> <li>■親の世代で関係が切れる</li> </ul>
交通が不便・移動困難	<ul style="list-style-type: none"> <li>■通院の足がない（移動手段がない）</li> </ul>	—	—
買物が不便（買物弱者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■買物が不便</li> </ul>	—	—

## 伊保地区

### 1) 担い手（活動者）の抱える課題・不安など

■：課題、★：アイデア

担い手・リーダーの不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>★担い手とお世話される側を分けない活動が必要</li> <li>★地域での活動の好事例を知ってもらえたら、担い手の活動に賛同してもらえる</li> </ul>
地域団体間の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>★担い手間・団体間の情報共有、話し合う場が必要</li> <li>★団体間での支援が必要な人、SOSに関する情報の共有</li> </ul>
支援がしづらい、情報が共有できない・不足している	<ul style="list-style-type: none"> <li>■SOSが出せない人・支援を拒否する人がいる</li> <li>■SOSを出してくれたら支援できるのに（市・社協等との連携で解決につないだケースもある）</li> <li>■個人情報の共有ができない</li> <li>★支援につなぐためには担い手間・団体間の情報共有、話し合う場が必要</li> </ul>
地域活動参加者の固定化・減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域活動の参加者の固定化</li> <li>■地域活動に参加したいが、年齢等のギャップが生まれている</li> <li>★対象者のニーズ・状況等にマッチした多様な活動が必要</li> <li>★地域活動を知ってもらう機会、情報発信等が必要</li> <li>★情報発信に向けて市・社協からICT活用に関する支援が必要</li> </ul>

### 2) 担い手（活動者）からみた地域・住民の状況など

■：課題、★：アイデア

地域のつながりの希薄化	<ul style="list-style-type: none"> <li>★みんなで支え合うためには小さな単位の方が良い（自治会単位、隣保単位）</li> </ul>
-------------	---

中筋地区

1) 担い手（活動者）の抱える課題・不安など

■：課題、★：アイデア

	Aグループ	Bグループ
担い手・リーダーの不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>■担い手が不足している</li> <li>★「役になる」キッカケの活用（役になった人が「楽しい」「またやりたい」と思えるように）</li> <li>★ポイント制（インセンティブ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■担い手が不足している（最も重要な課題）</li> <li>★自ら参加したい意識づくり</li> <li>★一人ひとりが興味を持てる内容</li> </ul>
担い手の負担の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>■担い手の負担が大きい（参加しないといけないプレッシャー）</li> <li>■役になれば負担が大きい</li> <li>■次のなり手を探すのが大変</li> </ul>	—
地域団体の存続の危機	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域団体の解散（老人クラブ、婦人会がなくなる）</li> </ul>	—
支援がしづらい、情報が共有できない・不足している	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■支援が必要な人の情報の共有化が問題</li> <li>■地域活動に必要な情報が把握できない</li> </ul>
地域活動参加者の固定化・減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>■イベント等の参加者の固定化</li> <li>■誘っても参加してくれない</li> <li>★イベントでお弁当などを配ったら参加者が増えた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■若い人の参加が少ない</li> <li>■新住民の参加が少ない</li> </ul>

2) 担い手（活動者）からみた地域・住民の状況など

■：課題、★：アイデア

	Aグループ	Bグループ
支援が必要な人の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>■支援が必要な人の増加（団地での高齢者のひとり暮らしなど）</li> </ul>	—
地域のつながりの希薄化	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■近所づきあいが薄い</li> <li>■地域の現状がわからない</li> <li>■新旧住民の交流が少ない</li> </ul>
身近な活動の場・居場所の不足、使いづらい等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■身近な拠点の問題（集会所のバリアフリー等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■場の不足（集会所が使いづらい、高齢者が出て来られる場がない、身近にない）</li> <li>★空き家の活用</li> </ul>
交通が不便・移動困難	<ul style="list-style-type: none"> <li>■移動手段がない（コミュニティバスの使い勝手が悪い、免許返納後の移動手段）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■交流、居場所等へのアクセス</li> </ul>
空き家問題	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■空き家の問題</li> </ul>
コロナ禍の影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>■コロナ禍でイベントができない</li> </ul>	—

曽根地区

1) 担い手（活動者）の抱える課題・不安など

■：課題、★：アイデア

	Aグループ	Bグループ
担い手・リーダーの不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>■担い手の層が薄い</li> <li>■民生委員の確保が難しい（次のなり手を見つけるのが大変）</li> <li>★やりがいを持てるような工夫が必要</li> <li>★原因・要因を明確にし、解決に向けて具体的に動く必要あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地元の人ほど、役をお願いしても断られる</li> <li>■する人、しない人の二極化</li> </ul>
担い手の負担の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>■民生委員の負担が大きい</li> <li>■自治会の役になると大変</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■引継ぎが不十分</li> <li>★活動を改革（青少協のメンバーを増やし盆踊り実行委員会をつくる、青少協会長任期を複数年にするなど）</li> </ul>
地域団体の存続の危機	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域組織に加入しない人の増加</li> <li>■子ども会の解散</li> <li>■婦人会の解散</li> <li>■老人会の加入者の減少</li> <li>★原因・要因を明確にし、解決に向けて具体的に動く必要あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子ども会に入会する世帯が減少</li> </ul>
地域団体間の連携	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域と学校との連携（クリーンキャンペーン等）</li> <li>★地域と学校のマッチング</li> </ul>
支援がしづらい、情報が共有できない・不足している	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■プライバシー（個人情報保護）もあり聞きにくい</li> </ul>
地域活動参加者の固定化・減少		<ul style="list-style-type: none"> <li>■グランドゴルフに参加する小学生が減少</li> <li>■地域参加の場が少ない</li> </ul>

2) 担い手（活動者）からみた地域・住民の状況など

■：課題、★：アイデア

	Aグループ	Bグループ
支援が必要な人の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>■高齢者のひとり暮らし世帯の増加</li> <li>■高齢者のひとり暮らしは今後支援が必要になる可能性が大きい</li> <li>★訪問時のマニュアルなどがあれば（対象者と話ができるような質問リストなど）</li> <li>★緊急通報システム等の拡充</li> </ul>	—
地域のつながりの希薄化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自治会に加入しない住民の増加（特に若い人が加入しない）</li> <li>→理由：自治会に加入してもメリットがない、役が回ってくるのが嫌、役になると負担が重い</li> <li>★原因・要因を明確にし、解決に向けて具体的に動く必要あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■近所づきあいの低下（いつの間にか亡くなっていて、空き家に）</li> <li>■能動的な相互扶助の精神が必要</li> <li>■世代間交流が必要</li> <li>■新しい人・新住民への声かけ</li> <li>■祭りでつながりを広げている</li> <li>★東西南北の地区の交流</li> </ul>

	Aグループ	Bグループ
身近な活動の場・居場所の不足、使いづらい等	—	■高齢者の居場所づくり
空き家問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■空き家が増加（特に中心地区で）</li> <li>■空き家を放置することで防犯、防火上の不安がある</li> <li>■崩壊寸前の壁、伸び放題の庭木</li> <li>■市に依頼して対応してもらったこともあるが、時間がかかる</li> </ul>	—
コロナ禍の影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>■コロナの影響でみんなが集まる活動ができていない</li> <li>■コロナで祭りが無い</li> <li>■コロナの影響で祭りなどが開催できず、今後もっとつながりがなくなるのではないか…</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■コロナで見守り（訪問）に行きにくい</li> <li>■コロナで盆踊りができなかった</li> <li>■コロナで集まりにくい</li> <li>■福祉委員の活動ができない</li> </ul>
防災・災害時対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>■災害など緊急時に向けた取組、避難訓練が必要</li> <li>■平常時からの取組が必要</li> </ul>	—



米田地区

1) 担い手（活動者）の抱える課題・不安など

■：課題、★：アイデア

	Aグループ	Bグループ
担い手・リーダーの不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>■65歳以上でも就業中の人が多く、担い手の確保が困難</li> <li>■働く人の年齢が高くなり、担い手の年齢も高く、実働できる人が減少</li> <li>■役をやってくれない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■担い手不足</li> <li>■後継者がいない</li> <li>■「祭りが無い」「子ども会に加入しなくてもよい」ので転入してきたのに、役を割り当てられても困ると言われる</li> </ul>
担い手の負担の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市の窓口・担当がバラバラで、色々な会合に出席しないといけない</li> <li>■必要な情報が得られず活動が困難（負担大）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■役割が集中する</li> <li>■暇な人を見ると羨ましい</li> </ul>
地域団体の存続の危機	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地縁組織（自治会、老人クラブ、婦人会等）の入会者の減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子ども会がなくなる→自治会の負担増</li> <li>■何もかも自治会におまかせ</li> </ul>
支援がしづらい、情報が共有できない・不足している	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子どもの見守り時に子どもの情報がわからず緊急時対応が大変</li> <li>■住民等の把握が困難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■個人情報の制約があり困っている</li> <li>■70歳以上の高齢者の情報が不足</li> <li>■行政から情報がほしい</li> </ul>
地域活動参加者の固定化・減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新たな人が参加しづらい地域活動（新しい住民が参加しづらい、祭りには新しい人は入ってこられないなど）</li> <li>★参加するきっかけ・口実</li> <li>★参加する場をコツコツ継続</li> <li>★参加者の間口の拡大</li> <li>★みんなでプロセスを共有する（祭りも準備があるからイイ！）</li> <li>★つながるために共同作業</li> <li>★祭など既存取組の活用・改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■参加者が集まりにくい</li> <li>■同じ顔ぶればかり</li> <li>■参加者は実入りを求めすぎる（モノを求める）</li> <li>■参加する人と参加しない人の二極化</li> <li>■参加して人の満足度は高い</li> </ul>

2) 担い手（活動者）からみた地域・住民の状況など

■：課題、★：アイデア

	Aグループ	Bグループ
支援が必要な人の増加	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ひとり暮らし高齢者が3倍くらい増加した</li> <li>■支援を受けた人の満足度は高い</li> </ul>
地域のつながりの希薄化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■集合住宅が増加し、隣保の形成が難しい</li> <li>■单身向けアパートでは、自治会費は管理会社が集めるが人とのつながりが無い（掃除当番など）</li> <li>■子どもの頃から地域とのつながりが形成されにくい（学校が地域に開かれていない）→子どもを通じた近所づきあいが難しい</li> <li>■清掃活動、祭りは地域がつながる機会になっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■アパート・集合住宅・ワンルームマンションの方々とコンタクトがとれない</li> <li>■人任せになっている</li> <li>■新旧住民のコミュニケーションがとりにくい</li> <li>■自治会に入らない</li> <li>■自治会加入にあたりメリットを求められる</li> </ul>
身近な活動の場・居場所の不足、使いづらい等	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■活動の場が少ない（物理的、広さ）</li> </ul>
コロナ禍の影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>■祭りが顔を合わす機会になっていたが、コロナの関係で縮小。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■コロナで委員会が減少</li> </ul>

## 阿弥陀地区

### 1) 担い手（活動者）の抱える課題・不安など

■：課題、★：アイデア

	Aグループ	Bグループ
担い手・リーダーの不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>■担い手・リーダーの不足</li> <li>★地域活動が生きがいになっている担い手もいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自治会の高齢化</li> <li>■班長、役員のなり手がいない</li> <li>■自治会長、リーダーがいない</li> <li>■担い手がいない</li> <li>■民生委員がいない</li> </ul>
担い手の負担の増加	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■役員になりたくないのに老人会などに参加しない人が増えた</li> </ul>
地域団体の存続の危機	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子ども会の解散</li> </ul>
地域団体間の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各団体間の交流が課題</li> <li>■各団体間がつながる活動の推進が必要</li> </ul>	—
支援がしづらい、情報が共有できない・不足している	<ul style="list-style-type: none"> <li>■支援が必要な人がわかりにくい（貧困など支援の枠から漏れる人がいる）</li> <li>■支援を受けられていない人がいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■かかわり方、助け方、支援の方法がわからない</li> <li>■プライバシーに立ち入りにくい</li> </ul>
地域活動参加者の固定化・減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>■若い世代が地域活動に参加できていない</li> <li>★若い人を巻き込むには若い人のアイデアが必要</li> <li>★若年層の地域活動への参加を促進する活動（防災訓練、消防団など）→活動の成果・資源の有効活用による検討・実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★サロンでお弁当などを配っているが喜ばれている</li> </ul>

### 2) 担い手（活動者）からみた地域・住民の状況など

■：課題、★：アイデア

	Aグループ	Bグループ
支援が必要な人の増加	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■独居が増えた</li> </ul>
地域のつながりの希薄化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■住民の多世代交流が必要</li> <li>■新旧住民の交流が必要</li> <li>★地域での交流・活躍の場づくり（とんど、声かけ運動、長尾楽笑村組合など）→活動の成果・資源の有効活用による検討・実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域・地域福祉への関心が低い、普段の付き合いがない</li> <li>■自治会等に若い人が少ない</li> <li>■自治会脱会が目立つ</li> <li>■地域、各世帯の情報が入ってこない</li> </ul>
身近な活動の場・居場所の不足、使いづらい等	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地区集会所が狭い</li> <li>■気軽に集まれる場がほしい</li> </ul>
交通が不便・移動困難	<ul style="list-style-type: none"> <li>■移動手段がない（将来買い物難民？、免許返納で移動できなくなる、将来不安）</li> </ul>	—
空き家問題	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■空き家、空き地が増えた</li> </ul>
コロナ禍の影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>■コロナ禍による行事への参加減少＋意欲の低下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■コロナによる関係の希薄化</li> <li>■話す機会、行事・サロンなどが減った</li> </ul>
防災・災害時対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>★防災訓練で「消防車に子どもが乗れる」ようにしたら、親子の参加があった</li> <li>★防災・防犯の講習会を福祉推進委員会で開催し、役立っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■水害時に支援してくれる人が近所にいない</li> <li>■自主防災組織が機能していない</li> </ul>

北浜地区

1) 担い手（活動者）の抱える課題・不安など

■：課題、★：アイデア

	Aグループ	Bグループ
担い手・リーダーの不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>■活動の担い手がいらない</li> <li>■70歳前後の活動者の力量は高いが、若い担い手が少ない</li> <li>■民生委員は75歳定年</li> <li>■担い手が高齢になっても後継者がいない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■担い手の後継者がいない</li> <li>■色々な集まりのリーダーがほしい</li> </ul>
担い手の負担の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>■同じ人に役が偏っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■担い手の基本的な経費（ガソリン代等）が負担</li> </ul>
地域団体間の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域で課題を共有する仕組みができてきている</li> <li>■課題を解決できる仕組みづくりが必要</li> <li>★課題を解決するための組織化が必要 →支える側には課題解決の成功体験が必要</li> <li>★課題解決の取組を地域に知ってもらう →担い手づくり&amp;活性化につながる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域活動、担い手の連携</li> </ul>
支援がしづらい、情報が共有できない・不足している	<ul style="list-style-type: none"> <li>■個人情報の共有がしにくい</li> <li>★気になる人へのアプローチが必要（困りごとが話しやすい雰囲気づくり、訪問して話を聞くなど）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「助けて下さい」と声をあげられない人はどうするか</li> <li>■独居高齢者の増加</li> </ul>
地域活動参加者の固定化・減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>■同じ人しか参加しない</li> <li>■若者が参加しない</li> <li>■敬老の日に祝い品は受け取りに来るが、会には参加しない（滞留させる工夫が必要）</li> <li>■祭りがイベント化</li> <li>■これまでは祭りが地域のつながりの核だったのに</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域活動への理解が足りない</li> <li>■地域活動に関する情報発信が課題</li> </ul>

2) 担い手（活動者）からみた地域・住民の状況など

■：課題、★：アイデア

	Aグループ	Bグループ
地域のつながりの希薄化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新興住宅地の開発で人は増えたが、地域としてのつながり、まとまりに欠ける</li> <li>■地元の人から外から入った人を受け入れない地域性あり</li> <li>■祭りがつながりの核だったが…</li> <li>■連中によるつながりが希薄化</li> <li>★地区内での人と人のつながりの再構築（新住民・若い人のニーズ把握、昔からの仕組みの見直し等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■近所づきあいのあり方が変化</li> <li>■隣保に入らない</li> <li>■生活状況が把握しづらい</li> <li>■近所づきあいの再生をどうするか（隣保、町会など）</li> </ul>
交通が不便・移動困難	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■交通手段の問題（買物・通院）</li> <li>■コミュニティバスが、利用者の目的にマッチしていない</li> </ul>
買物が不便	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■買物の足がない</li> </ul>
コロナ禍の影響	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>■近所の人々の集まり、立ち話がコロナでできていない</li> </ul>

# 市全体の意見整理

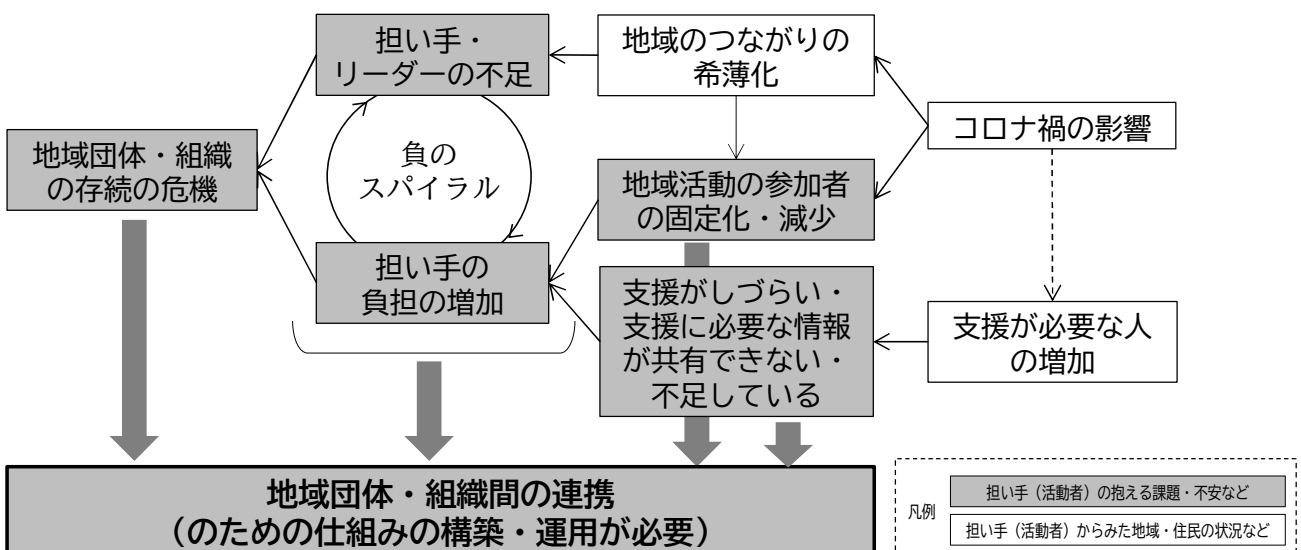
## 1) 担い手（活動者）の抱える課題・不安など

概要	(1) 担い手・リーダーの不足…15/15 (全8地区 15 グループ中、該当意見が挙げられたグループ数) (2) 地域活動の参加者の固定化・減少…14/15 (3) 支援がしづらい・支援に必要な情報が共有できない・不足している…12/15 (4) 担い手の負担の増加…10/15 (5) 地域団体・組織の存続の危機…8/15 (6) 地域団体・組織間の連携…6/15
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●依然として「担い手・リーダーの不足」が大きな課題であり、不安であり、負担。</li> <li>●「担い手の負担」⇔「担い手の不足」の負のスパイラルが発生。</li> <li>●「地域活動の参加者の固定化・減少」「支援のしづらさ」が「担い手の負担」を増幅。</li> <li>●「担い手の不足」から「地域団体・組織の存続の危機」が発生。そして、「担い手の負担」がさらに増幅。</li> <li>●だからこそ「地域団体・組織間の連携」が重要という認識に。</li> </ul>

## 2) 担い手（活動者）からみた地域・住民の状況など

概要	(1) 地域のつながりの希薄化（関心の低下等も含む）…14/15 (2) コロナの影響で活動ができない・つながりが希薄化している…8/15 (3) 交通が不便・移動困難、身近な活動の場・居場所の不足…ともに 6/15 (4) 支援が必要な人の増加…5/15 (5) 空き家問題、防災・災害時対応…ともに 4/15 (6) 買い物が不便…3/15
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「地域のつながりの希薄化」がひと際目立つ。これが、「担い手・リーダーの不足」「地域活動の参加者の固定化・減少」につながる。</li> <li>●「支援が必要な人の増加」は「支援のしづらさ」につながる。</li> <li>●「移動困難」「身近な活動の場・居場所の不足」「空き家問題」「防災」「買い物が不便」などは地区毎で異なる。</li> </ul>

【市全体の意見整理のイメージ】



**第4期高砂市地域福祉計画策定に向けた  
アンケート調査・地区意見交換会 結果報告書**

発行年月日 令和4年3月

編集・発行 高砂市 福祉部 人権福祉室  
地域福祉課

〒676-8501 兵庫県高砂市荒井町千鳥1丁目1番1号  
TEL : 079-441-9006 FAX : 079-443-3144